C145-E460-03

VSP3601A　プリンタ装置

取 扱 説 明 書

FUJITSU

安全な使用のために

このマニュアルの取り扱いについて

　このマニュアルには，当製品を安全にご使用いただくための重要な情報が記載されています．当製品をご使用になる前に，このマニュアルを熟読してください．特に，このマニュアルに記載されている『安全上の注意事項』をよく読み，理解された上で当製品をご使用ください．また，このマニュアルは，当製品の使用中，いつでも参照できるように大切に保管してください．

　富士通は，お客様の生命，身体や財産に被害を及ぼすことなく安全に使っていただくために細心の注意を払っております．当製品をご使用する際は，本マニュアルの説明に従ってください．

は　じ　め　に

VSP3601Ａプリンタ装置は，グローバルサーバ，ビジネスサーバ（PRIMEPOWER，富士通Ｓ series ，ＧＰ7000D，PRIMERGY6000）に加え，Windows アプリケーションから印刷することが可能な VSP（Virtual System Printer）のラインプリンタです．

本書は，本装置を使用するシステム設計者およびオペレータの手引きにすることを目的として解説したものです．

本書の内容についてよくご理解いただいた上でご使用ください．特に，オペレータの方は「第３章操作説明」をご一読の上ご使用ください．

2012年１月

警告表示について

本書では，お客様の身体や財産に損害を与えないよう，以下の警告表示をしています．

⚠ 警告

「⚠警告」は，正しくご使用にならない場合，死亡する，または重傷を負うことがあり得ることを示しています．

⚠ 注意

「⚠注意」は，正しくご使用にならない場合，軽傷，または中程度の傷害を負うことがあり得ることと，当該製品自身またはその他の使用者などの財産に，損害が生じる危険性があることを示しています．

本製品のハイセイフティ用途での使用について

本製品は，一般事務用，パーソナル用，家庭用，通常の産業用などの一般的用途を想定して設計・製造されているものであり，原子力施設における核反応制御，航空機自動飛行制御，航空交通管制，大量輸送システムにおける運行制御，生命維持のための医療用機器，兵器システムにおけるミサイル発射制御など，極めて高度な安全性が要求され，仮に当該安全性が確保されない場合，直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途（以下「ハイセイフティ用途」という）に使用されるよう設計・製造されたものではございません．お客様は，当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく，本製品を使用しないでください．ハイセイフティ用途に使用される場合は，弊社の担当営業までご相談ください．

この装置は，クラスA情報技術装置です．この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります．
この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります．

VCCI-A

警告マークについて

本書では，安全上の注意事項を記述した箇所に，警告表示とともにその内容を示す警告マークを配置して一目でわかるように配慮しています．

使用している警告マークの意味は以下のとおりです．内容をよく理解したうえで，お読みください．


感電注意

感電する危険性について記述していることを示します．


高温注意

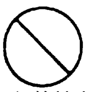
高温による傷害の危険性について記述していることを示します．


発火注意

発火する危険性について記述していることを示します．


接触禁止

触れることによって障害が起こる可能性について記述していることを示します．


一般的禁止

一般的な禁止事項を記述していることを示します．


一般的注意

一般的な注意事項を記述していることを示します．

安全上の注意事項

警告

感電注意

- 電源プラグは，濡れた手で持たないでください．また，電源プラグの抜き差しは，装置の電源スイッチを切断してから行ってください．
  感電や火災のおそれがあります．
- LAN ケーブルや電源ケーブルを接続するときは，必ず本装置の電源を切断してください．
  感電や火災のおそれがあります．
- コネクタの端子に手を触れないでください．
  感電のおそれがあります．
- 清掃時は電源スイッチを切断し，電源ケーブルを抜いてください．
  感電のおそれがあります．
- LAN ケーブルや電源ケーブルを傷つけたり，加工したりしないでください．
  感電や火災のおそれがあります．
  LAN ケーブルや電源ケーブルの上に物を載せたり，からみつけたり，足を引っかけたりしないように注意してください．
- 指定された電源電圧以外では使用しないでください．
  感電や火災のおそれがあります．
- 装置を分解したり，改造したりしないでください．
  感電や火災のおそれがあります．
  また，内部に高電圧部分があります．

発火注意

- 万一装置から発熱・発煙・異臭・異常音が発生したら，すぐに電源を切断し，かつ電源ケーブルをコンセントから抜いた後，担当保守員に連絡してください．
  感電や火災のおそれがあります．
- アース付きのコンセントに必ず接続してください．
  感電や火災のおそれがあります．
  電源コンセントに平行 2P，接地極付きを使用してアースを確実に接続してください．
- 異物が装置内に入ったら，すぐに電源を切断し，かつ電源ケーブルをコンセントから抜いた後，担当保守員に連絡してください．
  感電や火災のおそれがあります．

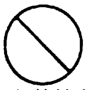
高温注意

- 印字ヘッドやモータには触れないでください．
  火傷のおそれがあります．



接触禁止

- 動作中にカバーを開けて手や指や顔を入れないでください．
  ケガ（指挟みなど）のおそれがあります．
- 歯車・ベルトなどの可動部に衣服の袖やネクタイ，髪を近づけないようにしてください．
  巻き込まれるおそれがあります．



一般的禁止

- 直射日光の当たる所や暖房機の近く，湿気，ホコリの多い場所に置かないでください．
  感電や火災のおそれがあります．
- 通風孔をふさがないでください．
  装置内部が高温になり，火災のおそれがあります．
- 装置の上に重いものを置いたり，装置の上で作業しないでください．
  転倒，落下のおそれがあります．
- 不安定な場所に置かないでください．
  転倒のおそれがあります．



一般的注意

- 電源ケーブルは，プラグ部分を持って抜いてください．
  感電や火災のおそれがあります．

目　次

第 1 章　　概　要

本章では，本装置の概要，特長，接続形態，各部の名称，仕様，オプション，Windows/Unix 環境で使用するソフトウェアおよび機能面・運用面における注意事項について説明します．

1.1　装置概要

本装置は，グローバルサーバ，ビジネスサーバ（PRIMEPOWER, 富士通 S series ,GP7000D）に加え，Windows パソコン（FMV シリーズ）のアプリケーションからの印刷が可能なネットワークプリンタ装置です．また，オプションの拡張出力機構を使用すれば，ビジネスサーバ（PRIMERGY6000）からの印刷が可能になります．LAN 接続された複数のクライアントサーバ混在のシステム環境において，それぞれのシステムのプリンタ装置として共有できます．

本装置の外観を図 1.1 に示します．

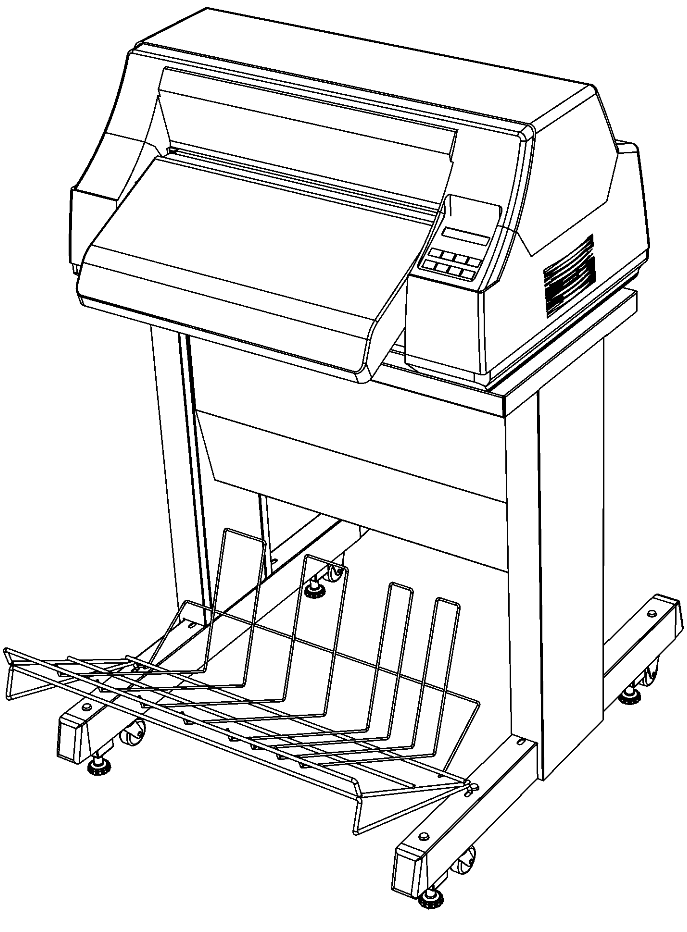


図 1.1　外　観

1.2　プリンタの特長

1）　ラベル帳票が使えます．
用紙仕様詳細については，「第７章　用紙仕様および帳票設計」を参照してください．

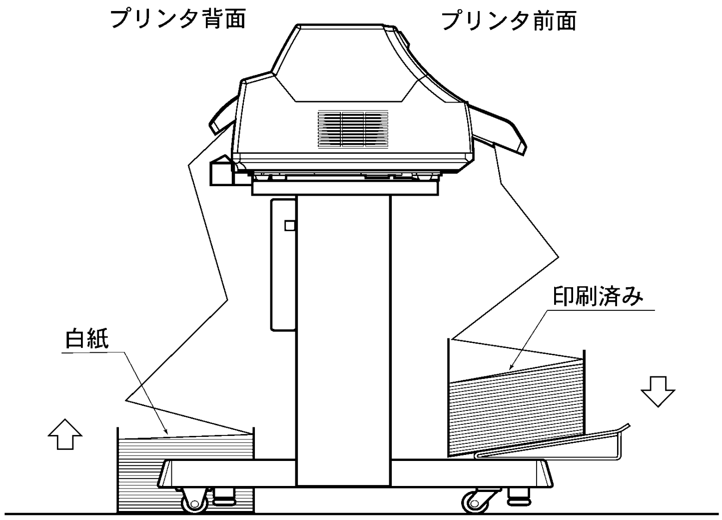
2）　印刷速度と複写紙の複写濃度が選べます．
スイッチ操作で，印刷速度と複写紙の複写濃度を切り替えることができます．印刷速度を切り替えた場合，印刷密度が変わります．
なお，電源投入時は「高品位」モードです．印刷モードの切替えについては「3.3　セットアップ」を参照してください．

印刷モード	印刷密度	印刷速度（注 1）	特長と用途
高品位	160dpi	２００LPM	きれいな印刷を必要とする場合にご使用ください．
通　常	107dpi	２４０LPM	印刷の品質は「高品位」よりも若干低下しますが，少し処理を早く行いたい場合にご使用ください．
高　速	80dpi	２８０LPM	印刷の品質よりも高速処理をお望みの場合にご使用ください．

注 1）印刷速度は接続の本体装置やアプリケーションによって異なる場合があります．
注 2）6P～8P をご使用の場合は「高複写」モードを使用することにより複写濃度は濃くなりますが，印字ヘッドの寿命が 50～80%に短くなります．

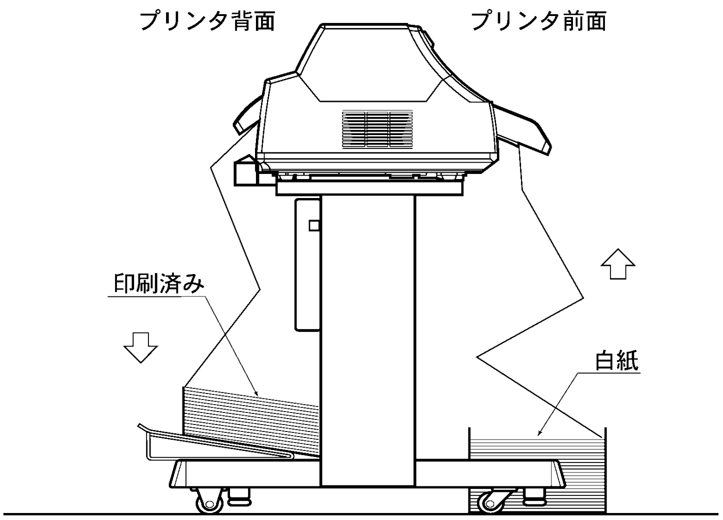
3)　用紙のセット方法が選べます.

　a)　押込み印刷



・用紙のセット／退避がスイッチひとつでできます.
・1 枚目の用紙がムダになりません.
・印刷済用紙が手前に排出されるため，用紙ミシン目のカットが容易に行えます.

　b)　引張り印刷



・いろいろな連帳用紙に対して，精度の良い印刷ができます.

4)　機能設定が容易に行えます.
　本装置がもつ様々な機能を，操作パネルで容易に設定できます.

5) 高度な印刷管理機能を利用できます．
本装置に添付の印刷管理ソフトウェア（PrintWalker/PM）をインストールすることによって，印刷出力中に発生したエラー内容をパソコンに表示したり，信頼性の高いエラーリカバリ機能など高度な印刷環境を実現できます．

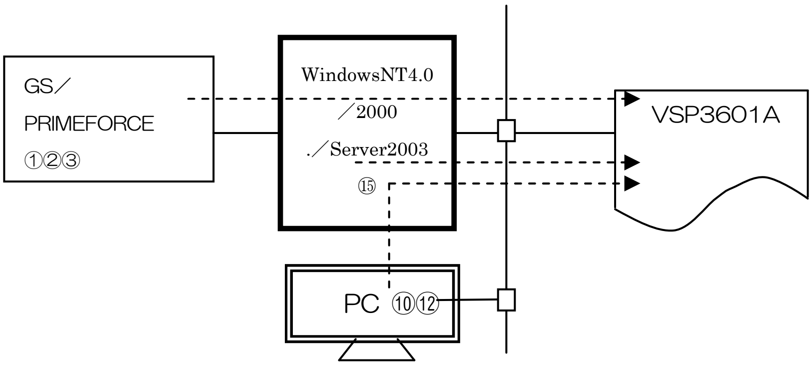
（注意）・本装置で印刷されるデータの解像度は，印刷モードが「高品位」の場合は 160dpi ですが，印刷モードが「通常」になっている時は装置内で 107dpi に変換されて印刷されます．また，装置の印刷モードが「高速」になっているときは 160dpi の印刷データを間引いた印刷結果になります．このことは「高複写」モードとの組合せにおいても同様です．
・プリンタのバーコードや OCR 近似文字の印刷を行う場合は，印刷モードを「高品位」にしてください．
・イメージ（バーコード含む）を精度良く印字する場合は，印刷モードを「高品位」にしてください．「通常」は間引き印刷のため印刷結果が多少異なる場合があります．
・一度印刷した用紙を裏返して再度印刷すると，インクが転写して装置の損傷の原因となりますので，おやめください．

1.3　接続形態

本装置は，複数の異なるシステムと接続できます．それぞれのシステムとの接続形態について説明します．

「設定」の番号は，「3.4.1　LAN 接続するための基本設定」の表の項番に対応します．

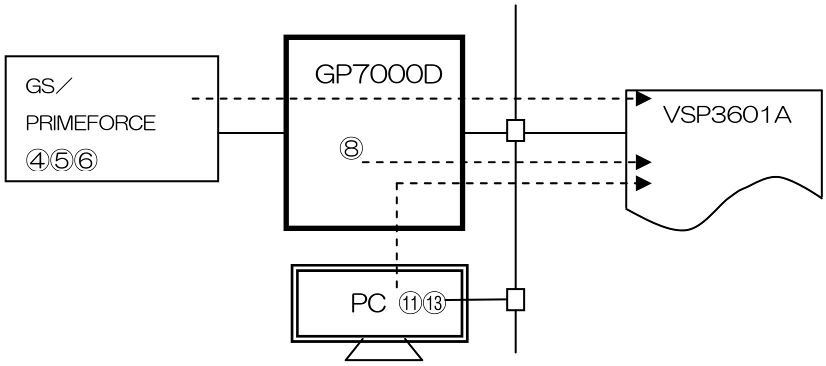
(1) WindowsNT/2000/Server2003 サーバ接続



ホスト	サーバ		プリンタ		設定
			エミュレーション	サポートサーバ／伝送経路	
GS／ PRIMEFORCE	WindowsNT4.0 /2000 /Server2003	HOST PRINT DS-LINK	66XX	サポートサーバ：6680-NMC 伝　送　経　路：DS-LINK	②
		HOST PRINT TCP/IP	66XX	サポートサーバ：HOST PRINT 伝　送　経　路：TCP/IP	①
		HOST PRINT PrintWalker/PM TCP/IP	66XX	サポートサーバ：PrintWalker 伝　送　経　路：TCP/IP	③
PC 注 1)	WindowsNT4.0 /2000 /Server2003	PrintWalker/PM TCP/IP	66XX	サポートサーバ：PrintWalker 伝　送　経　路：TCP/IP	⑩ ⑫
WindowsNT4.0 /2000 /Server2003	－	PrintWalker/PM TCP/IP	66XX	サポートサーバ：PrintWalker 伝　送　経　路：TCP/IP	⑮

注 1)OS が Windows Server2003/ XP/2000/NT4.0/ Me/98/95 であること．

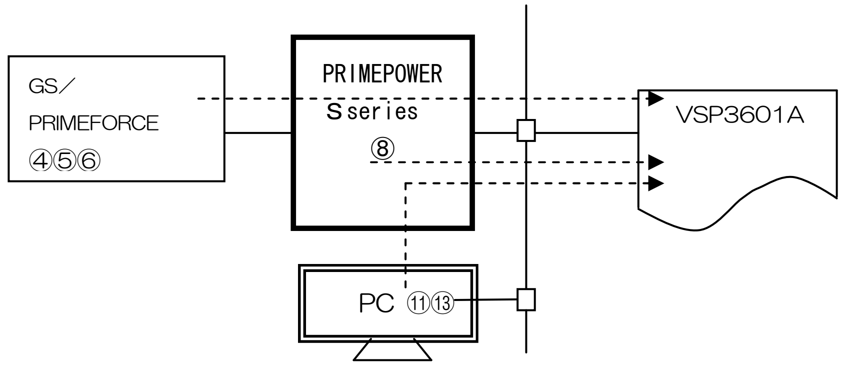
(2) GP7000D 接続



ホスト	サーバ		プリンタ		設定
			エミュレーション	サポートサーバ／伝送経路	
GS／ PRIMEFORCE	GP7000D	NMC-LAN ゲートウェイ DS-LINK	66XX	サポートサーバ：6680-NMC 伝　送　経　路：DS-LINK	⑤
		NMC-LAN ゲートウェイ TCP/IP	66XX	サポートサーバ：HOST PRINT 伝　送　経　路：TCP/IP	④
		PrintWalker/BSNPS, CJMS TCP/IP	66XX	サポートサーバ：PrintWalker 伝　送　経　路：TCP/IP	⑥
PC 注 1)	GP7000D	PrintWalker/BSNPS TCP/IP	66XX	サポートサーバ：PrintWalker 伝　送　経　路：TCP/IP	⑪ ⑬
GP7000D	—	PrintWalker/BSNPS TCP/IP	66XX	サポートサーバ：PrintWalker 伝　送　経　路：TCP/IP	⑧

注 1)OSが Windows Server2003/XP/2000/NT4.0/Me/98/95 であること.

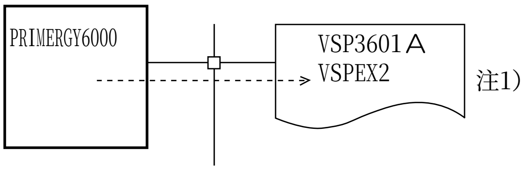
⑶ PRIMEPOWER, 富士通 S series 接続



ホスト	サーバ		プリンタ		設定
			エミュレーション	サポートサーバ／伝送経路	
GS/ PRIME-FORCE	PRIME-POWER S series	Netcompo NMC サーバ DS-LINK	66XX	サポートサーバ：6680-NMC 伝　送　経　路：DS-LINK	⑤
		Netcompo NMC サーバ TCP/IP	66XX	サポートサーバ：HOST PRINT 伝　送　経　路：TCP/IP	④
		PrintWalker /BPC, CJMS TCP/IP	66XX	サポートサーバ：PrintWalker 伝　送　経　路：TCP/IP	⑥
PC 注 1)	PRIME-POWER S series	PrintWalker /BPC TCP/IP	66XX	サポートサーバ：PrintWalker 伝　送　経　路：TCP/IP	⑪ ⑬
PRIME-POWER S series	―	PrintWalker /BPC TCP/IP	66XX	サポートサーバ：PrintWalker 伝　送　経　路：TCP/IP	⑧

注 1）OS が Windows Server2003/XP/2000/NT4.0/Me/98/95 であること.

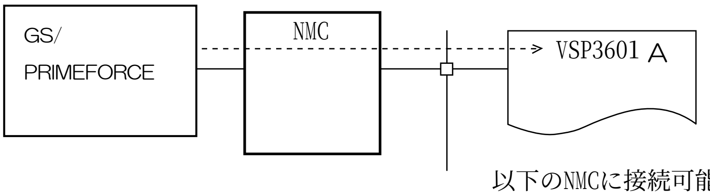
⑷ PRIMERGY6000 接続



ホスト	サーバ		プリンタ		設定
			エミュレーション	サポートサーバ／伝送経路	
PRIMERGY-6000	――	LAN プリンタ制御オプション TCP/IP	69XX	サポートサーバ：PrintWalker 伝　送　経　路：TCP/IP	⑨

注 1）本接続形態時は拡張出力機構オプションが必須となります.

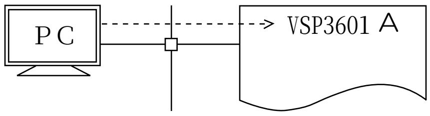
(5) NMC 接続



以下のNMCに接続可能
・F6681A/A2/S/S2/S3/M ディスプレイ制御装置

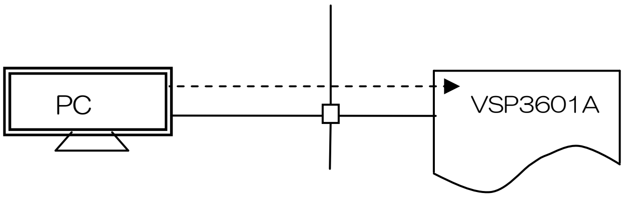
ホスト	サーバ		プリンタ		設定
			エミュレーション	サポートサーバ／伝送経路	
GS/ PRIME- FORCE	NMC	DS-LINK	66XX	サポートサーバ： 6680-NMC 伝　送　経　路：DS-LINK	⑦

(6) PC 接続



ホスト	サーバ		プリンタ		設定
			エミュレーション	サポートサーバ／伝送経路	
Windows XP/Me/98/ 95	－	PrintWalker/PM TCP/IP	66XX	サポートサーバ： PrintWalker 伝　送　経　路：TCP/IP	⑭

(7) Linux 接続



ホスト	サーバ		プリンタ		設定
			エミュレーション	サポートサーバ／伝送経路	
PC(Linux)	－	PrintWalker/LXE TCP/IP	66XX	サポートサーバ： PrintWalker 伝　送　経　路：TCP/IP	⑯

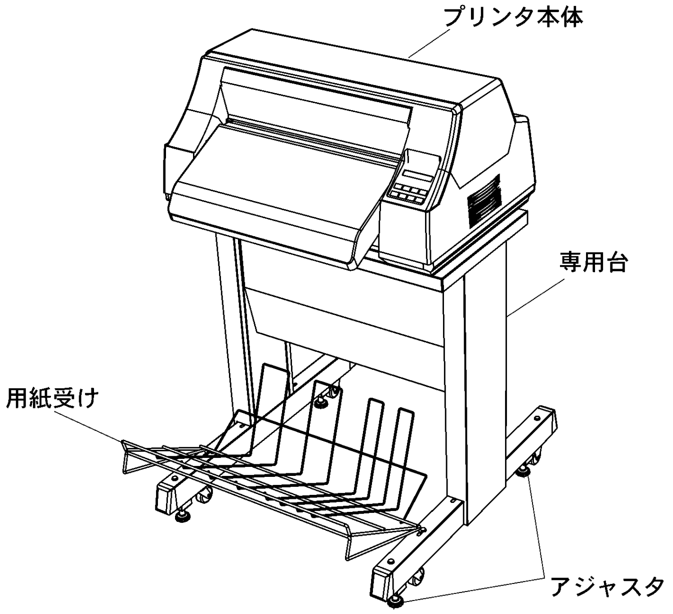
注１）詳細は付録９．４を参照ください.

1.4　各部の名称

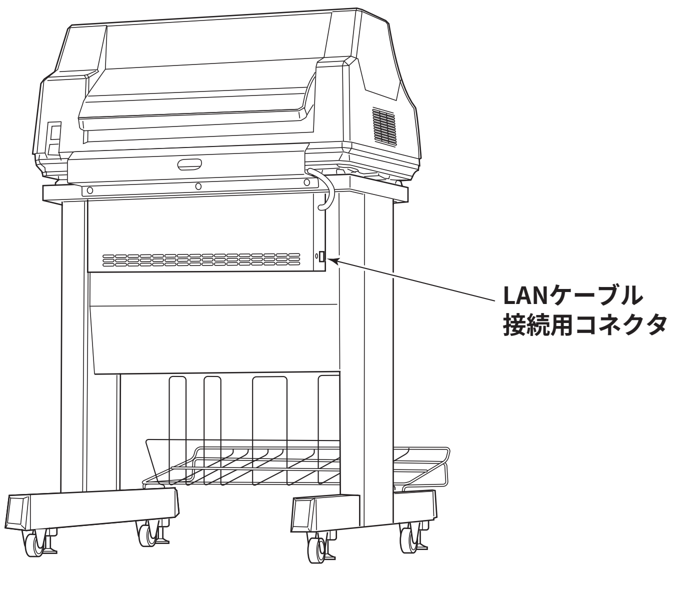
装置各部の名称を以下に示します.

1.4.1　装置全体

前面

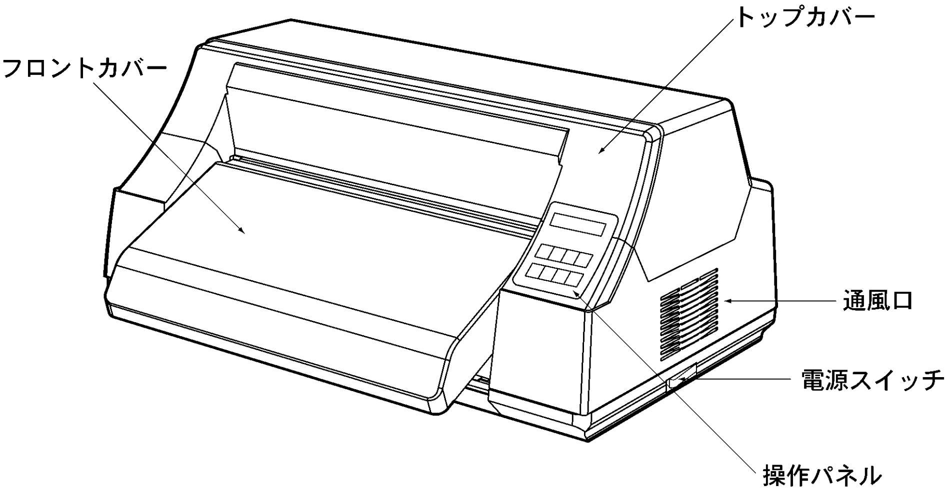


後面

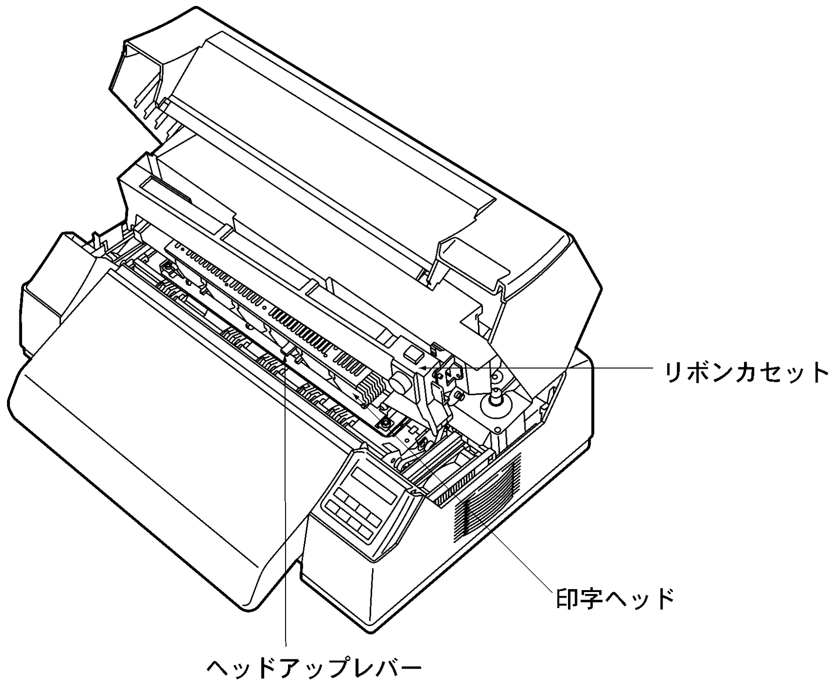


1.4.2　プリンタ前面

トップカバーを閉じた状態

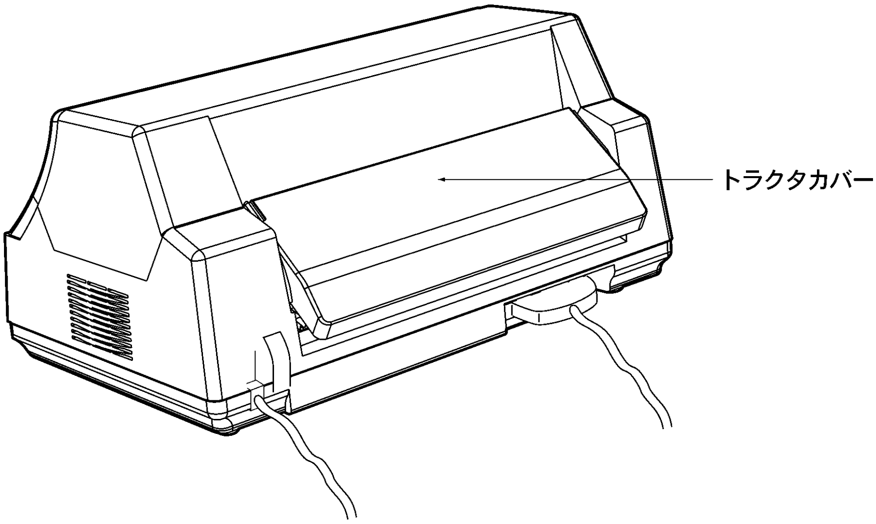


トップカバーを開けた状態

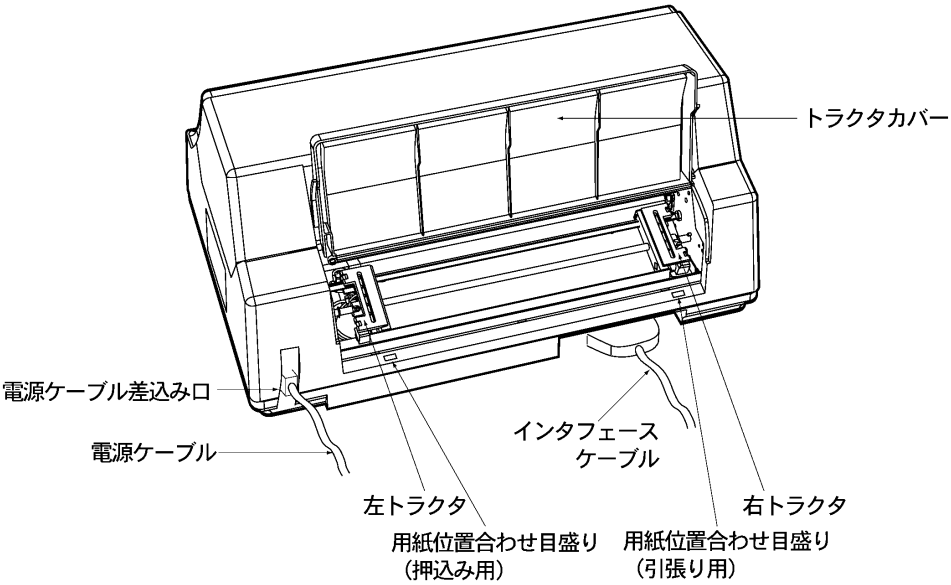


1.4.3　プリンタ背面

トラクタカバーを閉じた状態



トラクタカバーを上方に回転させた状態



1.5 仕 様

本装置の仕様について説明します．

1.5.1 基本仕様

項　　目		仕　　　様
印字方式		インパクトドットマトリックス方式
印字ヘッド		24 ピン（ピン径φ0.2）×6 個
解像度		160dpi（縦）×160dpi（横）
用紙厚調整		自動調整
印字速度（注 1）		高品位モード　　　　：200LPM 通常モード　　　　　：240LPM 高速モード　　　　　：280LPM 高複写・高品位モード：160LPM 高複写・通常モード　：200LPM 高複写・高速モード　：240LPM
印字方向		両方向／片方向切替可能
用紙送り方式		押込みトラクタ方式 引張りトラクタ方式
用　紙	種　類	スプロケット穴付連続帳票用紙：45kg～110kg（連量）
	幅	3.5～16 インチ（88.9～406.4mm）
	複写枚数	オリジナル＋4P（高複写・高品位モード時：オリジナル＋7P）
消耗品寿命		インクリボン：ANK ドラフト 1200 万字
装置寿命（注 2）		3000 万行または５年　早い方（60 行／シートで 50 万シート）
定期交換部品寿命（注 2）		印字ヘッド：3 億打／ピン プラテンローラ：2000 万行
インターフェース		LAN（Ethernet 10Base-T, 100Base-TX）
LAN プロトコル		TCP／IP, DS－LINK
エミュレーション（注 3）		JEF（F66XX, F69XX）

注 1）・1 分間に印字可能な行数で表します．
　　　・接続の本体装置または印刷内容によっては印刷速度が低下する場合があります．

注 2）装置の設置環境や運用条件により，装置寿命期間内に交換が必要となる部品があります．これらの部品は有償もしくは保守契約の対象として交換を行います．

注 3）エミュレーションにおける JEF（F69XX）は，拡張出力機構オプションが必須となります．

1.5.2　F66XXエミュレーション機能仕様

本装置の F66XX エミュレーション機能仕様を表 1.1 に示します.

表 1.1　F66XX エミュレーション機能仕様

項　　目	仕　　　様
印刷文字種	・明朝体 　２バイト文字：JIS 非漢字，第 1 水準／第２水準漢字，半角，書式文字 　１ バイト文字：ANK　４ セット（設定により OCR-B フォント切り換え可能） ・ゴシック体 　未サポート
印字桁数	・漢字　：　90 桁（文字ピッチ３／20 インチ時） ・ANK　：136 桁（文字ピッチ１／10 インチ時）
文字間隔	・漢字　：1／5，1／6, 3／20 インチ ・ANK　：1／10，1／12，1／13.3，1／15 インチ
文字拡大	長体，平体，倍角　3～32 倍
行間隔	3, 4, 6, ８ 行／インチ
イメージ印刷	データ形式：非圧縮，MH，MR，MMR 形式
図形印刷	文字，線，円，面塗りなどの描画
バーコード印刷 （注３）	種類：NW－7，標準 JAN，短縮 JAN，　CODE ３ of 9, 　　Industrial 2 of 5，Interleaved 2 of 5，物流系 　　カスタマバーコード　（注２）

（注１）

・Windows アプリケーションからの印刷では，デバイスフォントを指定する以外はイメージデータとなります.

・プリンタドライバでイメージ圧縮を指定する場合は，拡張出力機構オプションが必要となります.

・Windows アプリケーションからバーコードを印刷する場合は，イメージデータとして印刷されるため，運用に先立ち十分な読み取りテストを実施してください.

（注２）

・カスタマバーコードの印刷仕様は以下のとおりです.
　BAR 高さ(最大)：２２ドット
　BAR 幅　：３ドット ／ SPACE 幅：４ドット
　横書きのみサポート

・カスタマバーコード印刷は，拡張出力機構オプションが必要となります.

・カスタマバーコードは，GS／PRIMEFORCE からの印刷時のみサポートしています.

・読み取り可能な印刷条件は,「付録９．５　カスタマバーコードの印刷条件」を参照してください。

（注３）

・バーコード印刷は，運用前に十分な読み取りテストを実施してください.
　また，インクリボンは新しいものを使用してください.

（注４）

・バーコード，ＯＣＲ－Ｂの読み取りは印刷用紙の最上部の１枚目のみ可能です．２枚目以降の読み取りは保証できません.

1.5.3　F69XXエミュレーション機能仕様

本装置の F69XX エミシュレーション機能仕様を表 1.2 に示します．

表 1.2　F69XX エミュレーション機能仕様

項　　目	仕　　　　様
印刷文字種	・明朝体 　２バイト文字：JIS 非漢字，第１水準／第２水準漢字，半角，書式文字 　１バイト文字：ANK　４セット（設定により OCR-B フォント切り換え可能） ・ゴシック体
印字桁数	・漢字　：90 桁（文字ピッチ３／20 インチ時） ・ANK　：136 桁（文字ピッチ１／10 インチ時）
文字間隔	・漢字　：1／5，3／20 インチ ・ANK　：1／10，1／12 インチ
文字拡大	長体，平体，倍角，ラベル文字
行間隔	6, 8, 12 行／インチ
イメージ印刷	データ形式：非圧縮,MH,MR,MMR 形式
図形印刷	文字，線，円，面塗りなどの描画
バーコード印刷 （注３）	種類：NW-7，標準 JAN，短縮 JAN，CODE 3 of 9， Industrial 2 of 5，Interleaved 2 of 5 カスタマバーコード（注２）

（注１）

・本エミュレーション機能を使用する場合は，拡張出力機構オプションが必要となります．

（注２）カスタマバーコードの印刷仕様は以下です．

・BAR 高さ(最大)：２２ドット

・BAR 幅　：３ドット ／ SPACE 幅：４ドット

・横書きのみ

・読み取り可能な印刷条件は，「付録９．５　カスタマバーコードの印刷条件」を参照してください．

（注３）バーコード印刷は，運用前に十分な読み取りテストを実施してください．
またインクリボンは新しいものを使用してください．

（注４）バーコード，OCR-B の読み取りは印刷用紙の最上部の１枚目のみ可能です．
２枚目以降の読み取りは保証できません．

1.6　オプション

本装置のオプションについては以下の通りです.

品　名	概　　　要
VSPEX2 拡張出力機構	ラベル拡大文字，範囲指定バーコード（4 方向への回転が可能，物流標準／物流拡張は範囲指定バーコードでのみ可能など）の印刷および図形，イメージ印刷機能使用時に必要です. また，PRIMERGY6000 連携時には必須です．本オプション搭載時にはプリンタドライバでイメージデータを圧縮して転送することができます．装置への取り付けは担当保守員にご依頼ください.
PrintWalker /BSNPS VSPPWBS	UXP/DS システムから LAN(Ethernet TCP/IP)接続されたネットワークプリンタ VSP シリーズへの印刷制御を行うソフトウェア

1.7　Windows環境で使用するソフトウェア

本装置には，Windows ネットワーク環境で信頼性の高い印刷と高度な機能を実現するため，以下の関連ソフトウェアが標準添付されています．ぜひともこれらのソフトウェアをインストールして，ネットワークプリンタ機能をご利用ください.

(1) PrintWalker/PM

本装置へ印刷出力中に発生したエラー内容を Windows パソコンに表示し，信頼性の高いエラーリカバリ機能および高度の印刷環境を実現するソフトウェアです.

本装置に添付の CD-ROM(版数Ｅ１１Ｖ０１以降)内の PrintWalker/PM を使用してください.

VSP シリーズの他のプリンタ装置に添付されているもので版数の古いものは，本装置では動作保証できません.

インストール手順は「2.9　ソフトウェアのインストール」を参照してください.

(2) VSP プリンタドライバ

Windows パソコンから印刷を行う場合に必要なプリンタドライバです.

Windows Server2003/XP/2000/NT4.0 および Windows Me/98/95 用があります.

インストール手順は「2.9　ソフトウェアのインストール」を参照してください.

(3) VSP リクエスタ

Windows Server2003/2000/NT サーバと本装置間のやり取りを行うソフトウェアです.

Windows Server2003/2000/NT サーバにインストールします.

詳しくは，添付の CD-ROM（PrintWalker）内の Kankyomo フォルダにあるテキストファイルをご覧ください．VSP3600 用の VSP リクエスタが使用できます.

(4) PrintWalker/RS

VSP/VS シリーズのプリンタ運用管理をリモートで行うソフトウェアです.

詳しくは，添付の CD-ROM（PrintWalker）内の RemoteSV フォルダにある PrintWalker/RS 導入マニュアル（Manual.htm）および「9.3　PrintWalker/RS のご紹介」をご覧ください.

1.8 Unix環境で使用するソフトウェア

PrintWalker/BPC は，Unix 環境で使用する場合に有効な「ソフトウェア」です.

(1) PrintWalker/BPC（標準添付）
VSP プリンタへの出力中に発生したエラー内容を Solaris に表示し，信頼性の高いエラーリカバリ機能および高度な印刷環境を実現したソフトです.

(2) PrintWalker/BSNPS（オプションソフト）
1.6 項を参照ください.（UXP/DS 用）

1.9　機能面・運用面における注意事項

(1) 本プリンタは，MS-DOS からの直接印刷には対応していません．

(2) PRIMEPOWER，富士通 S series，GP7000D サーバ接続
本装置は，JEF プリンタであり，PRIMEPOWER，富士通 S series，GP7000D サーバに接続されている既存プリンタとは互換の無い新しいプリンタであることに注意してください．
本装置は，PRIMEPOWER，富士通 S series，GP7000D サーバが既にサポートしている FM プリンタとは，解像度／文字サイズ／文字の形／指定可能な文字ピッチや行ピッチの値などが異なります．特に既設の FM のインパクトプリンタと併設する場合は注意が必要です．

- ANK，漢字のポイント指定はできません．ポイントを指定しても標準サイズ（10 ポイント相当）で印刷されます．
- ANK の文字ピッチは，10/12/13.3/15cpi が指定できます．これ以外の指定がされた場合，プリンタ装置の設定値に従って印刷されます．
- 漢字の文字ピッチは，5/6/6.7cpi が指定できます．これ以外の指定がされた場合，プリンタ装置の設定値に従って印刷されます．
- 行ピッチは 6/8lpi が指定できます．これ以外が指定された場合，プリンタ装置の設定値に従って印刷されます．
- 漢字基準線指定はできません．常に下端に合わせて印刷されます．
- 上つき，下つき指定はできません．全角で印刷されます．
- ANK，漢字の縦書き指定はできません．横書きで印刷されます．
- 書体指定はできません．明朝体で印刷されます．
- 1 回の垂直タブで 1 改行します．
- 1 回の水平タブで ANK8 文字分を右へシフトします．

(3) PRIMEGY6000 サーバ接続

① PRIMEGY6000 サーバと PC 端末の環境では互換機能をサポートしていますが，K1600 αシリーズ（SX/G）からの印刷はサポートしていません．
SX/G から印刷した場合はライタによって保留されます．

② 線画メディアサービスを使用したプログラムからの印刷はできません．
線画メディアサービスを使用したプログラムを実行した場合は，実行時にエラーになります．

③ リモートパワーオフ機能は，未サポートです．

④ 以下の点が FMG 接続の多目的プリンタとは異なるため注意が必要です．（F9680M4 との比較）

1) 12lpi を指定した場合に次の制限があります．
・印刷速度が遅くなります．
・強調印字（重ね打ち）ができません．

2) ANK 文字書体が異なります．
・ドラフトパターンで印字

F9680M4：	イメージ／グラフなしの場合，ドラフトパターン イメージ／グラフありの場合，JEF 明朝半角パターンまたは F6680ANK パターン

3) ラベル文字の補間は行われません（書式文字で線がつながりません）．
また，ラベル文字のスムージングは行われません．

F9680M4：	同一ページ内に SMED 罫線，またはグラフデータが存在する場合は指定が無効．一行中に一項目のみ有効です． ラベル文字行の長体，倍角は無効（全角，平体になります）．

4) 飾り文字の指定はサポートしていません.
5) バーコードの基本モジュール幅＝1 はサポートしていません.（基本モジュール幅＝2で印刷）
（F9680M4：基本モジュール幅＝1.5 で印刷）
バーコードは 1 行中に 14 項目まで有効です.
高速モードで印刷する場合は，バーコードも間引きされるため，読み取りは保証されません.
範囲指定バーコードをサポートしていますが，印刷方向に 90°，180°，270°を指定しても 0°で印刷されます.
6) グラフ内文字の更新ピッチは，ANK 横書は 16 ドット，ANK 縦書／漢字横書／漢字縦書は 24 ドットです.

（F9680M4： ANK 横書は 16 ドット，ANK 縦書／漢字辞書／漢字縦書は 32 ドット）

グラフ内文字（ANK）の書体はドラフトパターンで印字します.
（F9680M4：F6680ANK パターン）
7) イメージの拡大，縮小率が 1/8～8 倍のため，印字結果が表示ファイルの組み込みメディア項目の項目領域からはみ出る，または余白ができる場合があります.
8) 線画データ印刷では，表示ファイルの組み込みメディア項目にてファイル名の指定のみ可能です.
9) 両面印刷はサポートしていません.

⑤ PRIMERGY6000 と連携するには，拡張出力機構（VSPEX2）が必須となります.

(4) NMC（NMC 代替）接続
NMC および NMC 代替（Netcompo NMC サーバ，NMC-LAN ゲートウェイ，HOST PRINT など）による接続を行うための設定を本プリンタに行った場合は,その接続形態の専用プリンタとしてのみ動作します. 他の接続を行うためには設定の変更が必要となります.

(5) CJMS 連携時の注意事項
セットアップ項目中の装置設定において，印字桁数設定を変更することにより，行の右端での折り返し位置が変化します. その結果，PRIMEPOWER，富士通 S series，GP7000D 上の BSNPS とプリンタとの間でページの概念に相違が発生し，リカバリページが乱れるおそれがあるため，注意が必要となります.
GS/M 上とプリンタの間で，行の折り返し位置の統一をとるようにしてください.

(6) JOB キャンセル時の注意事項
① NMC および NMC 代替（HOST PRINT，NMC-LAN ゲートウェイ，Netcompo NMC サーバ）による接続
GS/M 上で JOB キャンセルを行った場合，プリンタは受信データを印刷後，その位置で止まります. このため，次の印刷を開始する前に用紙位置を再設定する必要があります.【改ページ】スイッチを押すことにより，プリンタ装置内の行管理情報をページの先頭に戻してから用紙位置に設定してください.
1 ページ内に 6/8lpi が混在しているデータを印刷時に JOB キャンセルを行い，その後【改ページ】スイッチを押すと，用紙位置がミシン目に合わなくなるおそれがあるため，注意が必要となります. 印刷途中でオフライン状態にした場合も，次の印刷を開始する前に【改ページ】スイッチを押し，用紙位置を再設定する必要があります.
② Windows Server2003/2000/NT 上の HOST PRINT（帳票管理サービス）を使用した PrintWalker/PM による接続（GS/M 連携の印刷）

PRIMEPOWER，富士通 S series，GP7000D サーバ上の CJMS を使用した BSNPS による接続（GS/M 連携の印刷）

1） オンライン状態での JOB キャンセル
PrintWalker/PM および BSNPS から JOB キャンセルを行った場合，プリンタは JOB キャンセルを認識した時点で受信データを破棄し，改ページ動作を行った後に止まります．このため，次のデータを受信しても用紙位置を再設定することなく印刷を再開することができます．
1 ページ内に 6/8lpi が混在しているデータを印刷時に JOB キャンセルを行った場合，用紙位置がミシン目に合わなくなるおそれがあるため，注意が必要となります．

2） オフライン状態およびエラー発生状態での JOB キャンセル
PrintWalker/PM および BSNPS から JOB キャンセルを行った場合，プリンタは受信データを破棄します．このため，次の印刷を開始する前に用紙位置を再設定する必要があります．プリンタ内の行管理情報もクリアされています．
1 ページ内に 6/8lpi が混在しているデータを印刷時にオフライン状態にし，【改ページ】スイッチを押すと，用紙位置がミシン目に合わなくなるおそれがあるため，注意が必要となります．

③ Windows 上の PrintWalker/PM による接続
PRIMEPOWER，富士通 S series，GP7000D サーバ上の BSNPS による接続（PRIMEPOWER，富士通 S series，GP7000D サーバ上のアプリケーションからの印刷）
PRIMERGY6000 サーバ上の LAN プリンタ制御オプションによる接続

1） オンライン状態での JOB キャンセル
PrintWalker/PM，BSNPS および LAN プリンタ制御オプションから JOB キャンセルを行った場合，プリンタは JOB キャンセルを認識した時点で受信データを破棄し，改ページ動作を行った後に止まります．このため，次のデータを受信しても用紙位置を再設定することなく印刷を再開することができます．

2） オフライン状態およびエラー発生状態での JOB キャンセル
PrintWalker/PM，BSNPS および LAN プリンタ制御オプションから JOB キャンセルを行った場合，プリンタは受信データを破棄します．このため，次の印刷を開始する前に用紙位置を再設定する必要があります．プリンタ内の行管理機能もクリアされています．

〔注意〕VSP2600/3700/3801 で設定可能なページ合わせ設定機能（JOB 間および JOB キャンセル時のページ位置合わせを行うタイミングの設定）は，本プリンタにはありません．

⑺ 保護機能

1） 印字デューティが高い場合，3 分割印字により，印字ヘッドおよび電源を保護します．
2） 印字ヘッドの温度が規定値以上になると，3 分割印字により温度上昇を防止します．

⑻ 印字制限条件

1） 連続改行は，1 分間以上行わないでください．
2） 5 桁（パイカピッチ）以下の連続印字またはスペース動作は，5 分間以上行わないでください．
3） 50%デューティ以上のパターンの連続印字は，1 分以上行わないでください．
4） 横罫線等の特定ドットの連続印字は，1 分以上行わないでください．

⑼ GS/PRIME FORCE からの印刷時の注意事項

GS/PRIME FORCE からの印刷時，接続形態により印刷後の【改ページ】スイッチの動作に違いがあるため注意が必要です．

1） NMC および NMC 代替（HOST PRINT の VSP サービス，NMC-LAN ゲートウェイ，Netcompo NMC サーバなど）による連携

・LU タイプ１
ホストからページ長／改行ピッチ情報が指定された場合，【改ページ】スイッチはその値に従って動作します．

・LU タイプ３
【改ページ】スイッチはプリンタ装置の設定値に従って動作します．

2) HOST PRINT の帳票管理サービス，PRIMERPOWER，富士通 S series，GP7000D の CJMS を使用した連携
【改ページ】スイッチはプリンタ装置の設定値に従って動作します．

(10) プリンタに標準装備していない文字を使用する場合
プリンタに標準装備していない文字を帳票で使用した場合は，印刷処理中にプリンタ側から文字フォント要求を通知し，上位装置から文字フォントのダウンロードが行われます．このため，性能が低下しますので運用に先立ち十分な確認が必要です．
［GS/M 連携，PRIMEPOWER 連携，富士通 S series 連携，GP7000D 連携］

・プリンタ内に標準装備している文字
JEF 非漢字，JEF 第一水準／第二水準，書式文字

・上位装置からダウンロードを行う文字
JEF 拡張非漢字／拡張漢字
ユーザ定義文字

［PRIMERGY6000 連携］

・プリンタ内に標準装備している文字
JEF 非漢字（明朝体），JEF 第一水準／第二水準（明朝体），書式文字

・上位装置からダウンロードを行う文字
JEF 拡張非漢字／拡張漢字（明朝体）
JEF 非漢字（ゴシック体），JEF 第一水準／第二水準（ゴシック体）
JEF 拡張非漢字／拡張漢字（ゴシック体）
ユーザ定義文字

(11) LAN-WAN-LAN 環境で使用する場合
VSP はサーバとの接続を維持するため，VSP～サーバ間で定期パケットを送受信することによってポーリング処理やリトライ処理を行っています．
これらの定期パケットは VSP とサーバとの接続形態にもよりますが，約 30 秒間隔で送信されるものや，約 2～3 分間隔で送信されるもの等いくつか存在します．
そのため VSP～サーバ間は常時接続状態が維持されることになるため，回線接続維持に課金がされる WAN 等が，VSP～サーバ間のネットワーク環境に存在する場合は接続費用が発生します．
上記の課金を防止するためには，VSP～対象サーバ間は必ず課金のかからないネットワーク環境（同一セグメント，専用線等）としてください．
なお，上記の定期パケットは 100～200 バイト程度であり，LAN トラフィックに大きな影響を及ぼすことはありません．

(12) 印字速度（通常／高速モード）
通常／高速モードは，印刷すべきドットを単純に間引いて，高速性を実現しています．
従って高品位モードと比較して，印字品質が粗くなりますので注意願います．
特に複写伝票に印刷する場合は，印刷濃度が低下しますので注意願います．
図形／イメージ印刷時は使用しないでください．
OCR，バーコード等の読み取りは出来ません．

(13) 印刷可能領域について
1) 印刷可能領域外への印刷における印刷品質は保証できません．
2) 印刷可能領域外へ印刷を行うと，印字ヘッドの損傷等プリンタ装置の故障の原因となる恐れがあります．

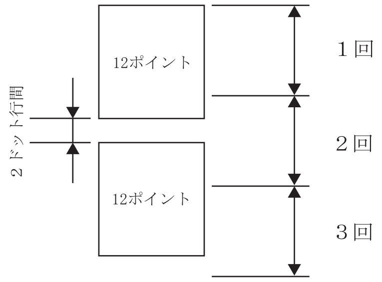
3) 下端近くに印刷を行いますと，プリンタ装置が用紙切れを検出し，印刷が失敗することがありますので，印刷可能領域内に印刷してください．余白を設定できないアプリケーションの場合は，以下の操作を行ってください．
OS が Windows NT4.0/2000/XP/Server2003 の場合：
『プリンタ』フォルダのメニューから『ファイル』メニューの『サーバーのプロパティ』にて余白を考慮した用紙を作成し，ご使用ください．
OS が Windows 95/98/Me の場合：
プリンタドライバのプロパティにて，ユーザ定義サイズを余白を考慮した用紙の設定にしてください．

(14) 印字ヘッド動作方向設定について
印字ヘッド動作方向の初期値は，両方向印字になっています．
このため，バーコード，図形，イメージなどを印刷する場合，正逆印字ずれが発生することがあります．
これらの印刷を行う場合は，セットアップの印字ヘッド動作方向設定で片方向印字に設定することを推奨します．

(15) PrintWalker/PM の印刷ページ操作について
印刷中に【スタート／ストップ】スイッチを押して印刷を停止させ，PrintWalker/PM の「操作」ボタンを押してから印刷ページを操作した場合，プリンタは受信済のデータを破棄します．このため，次の印刷を開始する前に以下の手順で用紙位置を再設定する必要があります．プリンタ内の行管理情報もクリアされます．
［用紙位置の再設定手順］
【微調送り△／▽】スイッチを押して，印刷開始位置を調整する．

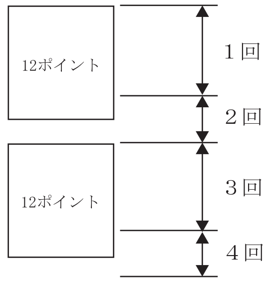
(16) Windows 印刷時の印刷品質と印刷時間について
本装置は，印字ヘッドが左右に移動して印字を行う方式のドットラインプリンタです．
この方式では Windows アプリケーションからのイメージ印刷の場合，印字ヘッドの印刷方向（右→左，左→右）によるズレや改行乱れにより，若干の文字崩れが発生する場合があります．
この文字崩れは，Windows アプリケーションからのイメージデータを 24 ドット（印字ヘッドの縦方向最大印字ドット数）ずつ，黒白データにかかわらず順に印刷するため，文字が上下に分割されることにより発生します．
本装置は，このような文字崩れを無くすために，印字ヘッドの 1 回の移動で印字可能な文字（11 ポイント以下）は，分割しない制御を行い，きれいな印字を実現しています．
この印刷方式は，プリンタドライバの設定画面（注）において，「デバイスフォント」を＜**使用しない**＞かつ「空白イメージのスキップ」を＜**有効**＞に設定した場合に有効となります．
さらにプリンタドライバの設定画面において，「印字方向」を＜**連続域片方向印字**＞に設定すると印字ヘッドの１回の移動で印字不可能な文字（11 ポイントを越える文字）や罫線などを印刷する場合は，印字ヘッドの 1 回の移動で印字できない部分のみ片方向印刷（右→左の繰り返しまたは左→右の繰り返し）を行い，大きな文字や罫線などもきれいに印刷することができます．
なお本方式では，よく使用されている文字サイズ（11 ポイント以下）での帳票印刷では従来方式よりも印刷時間は短くなりますが，印刷パターンによっては，従来方式よりも印刷時間が長くなる場合があります．
例えば 12 ポイント文字が２ドット分ほどの行間で配置されたパターンでは，従来方式では３回の印字ヘッド動作で終了していたものが，本方式では４回となり，印刷時間が長くなります．
このような場合において，印刷品質よりも印刷速度を優先される場合は，プリンタドライバの設定画面の「デバイスフォント」を＜**使用する**＞に設定してください．
「デバイスフォント」を＜**使用する**＞にすると，従来方式の印刷を行います．
なおこの場合は，「**空白イメージのスキップ**」と「**印字方向**」の設定は無効となります．

＜従来印刷方式＞



・デバイスフォント＜使用する＞
・印字方向の設定は無効

＜本印刷方式＞



・デバイスフォント＜使用しない＞
・空白イメージのスキップ＜有効＞
・印字方向＜連続域片方向印字＞
　　上図の１，２回目および３，４回目を
　　片方向で印刷する.
　＜装置設定に従う＞
　　プリンタ装置のセットアップの設定に従い
　　印刷する.

（注）：プリンタドライバの設定画面は，下記のとおりです.

- ・Windows 2000/XP/Server2003 の場合　：[印刷設定]の[詳細設定]
- ・Windows NT4.0 の場合　：[ドキュメントの既定値]の[詳細]
- ・Windows Me/98/95 の場合　：[プロパティ]の[拡張機能]

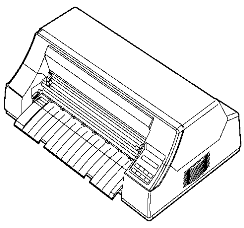
第 2 章　準　備

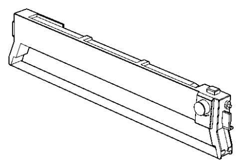
本章では，本装置の納品物の確認，リボンカセットの取り付け，各ユニットの取り付け，取り外し，インタフェースケーブル，電源ケーブル，LAN ケーブルの接続およびソフトウェアのインストールについて説明します．

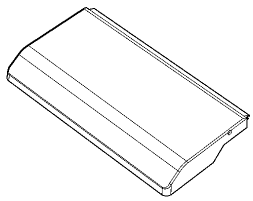
（注意）　・装置の設置作業は担当保守員が行います．

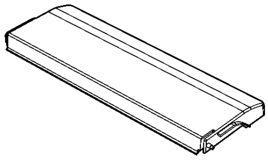
2.1　納品物の確認

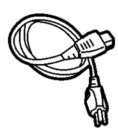
プリンタ装置の梱包箱を開けると，以下に示す納品物が収納されています．すべてそろっているかどうかお確かめください．
万一，欠品，損傷がありましたら，恐れ入りますが，販売員または保守員にお問い合わせください．

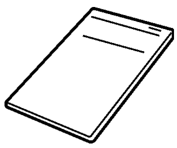

1. プリンタ装置本体

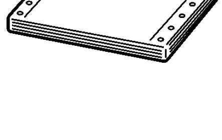

2. リボンカセット

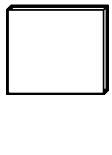

3. フロントカバー

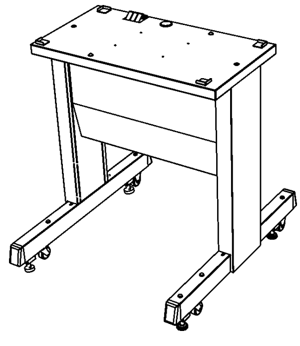

4. トラクタカバー

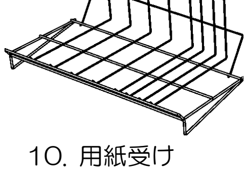

5. 電源ケーブル

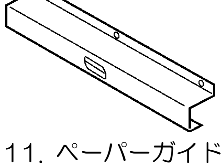

6. 取扱説明書（本書のことです）


7. 連帳用紙


8 .CD－ROM（Print Walker）


9. 専用台


10. 用紙受け

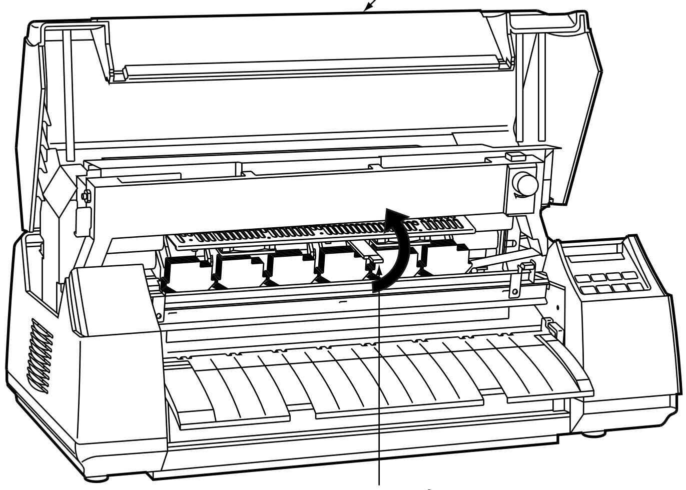

11. ペーパーガイド


12. 固定ネジ（3 個）

2.2　リボンカセットの取り付け

1）トップカバーを開きます．

2）ヘッドアップレバーを持ち上げます．

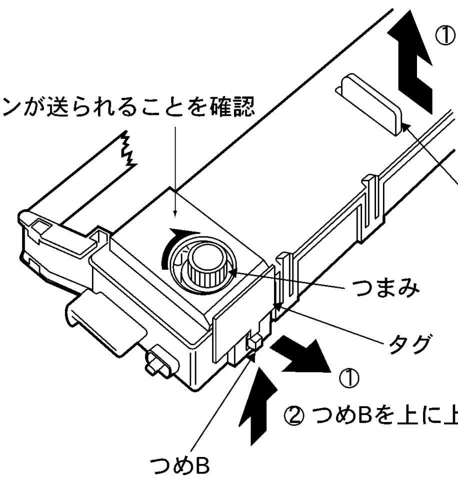


3）添付のリボンカセットを準備します．

① リボンカセットの中には，輸送時にリボンが乱れないよう，輸送用タブとタグが入っています．使用する前に，輸送用タブとタグを矢印方向に抜き取ります．

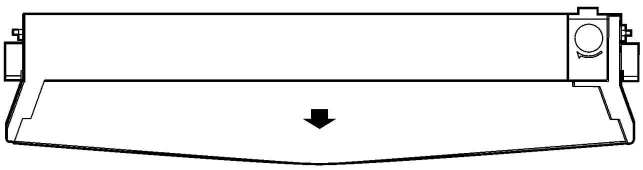
② つめ B を矢印方向に動かしてロックを外します．

③ リボンカセットのつまみを矢印方向に回して，リボンが送られることを確認してください．

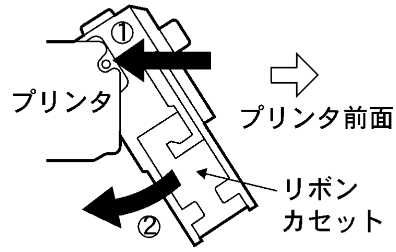


（注意）　・輸送用タブを取り外した後は，リボンが乱れないよう丁寧に取り扱ってください．
・リボンカセットのつまみを矢印と反対方向に回さないでください．

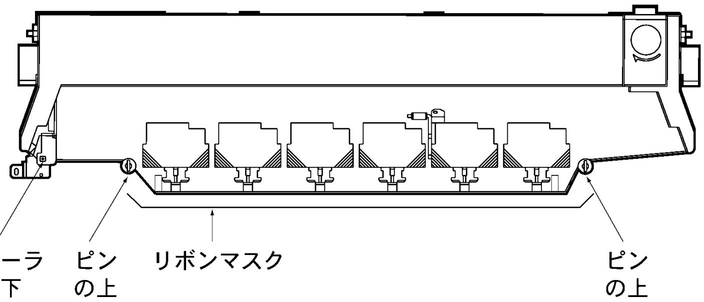
4)　リボンカセットを取り付けやすくするためにリボンを少したるませせます．



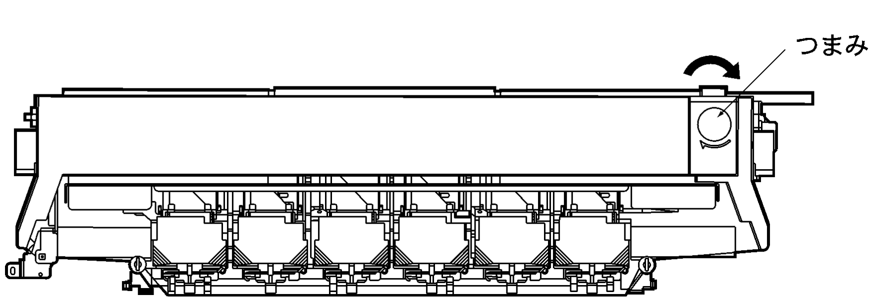
5)　リボンカセットの両側の突起をフレームの溝に入れ（①），そこを支点にしてカチッと音がするまで後方へ押し込んで取り付けます（②）．



6)　リボンを図のルートのように通します．

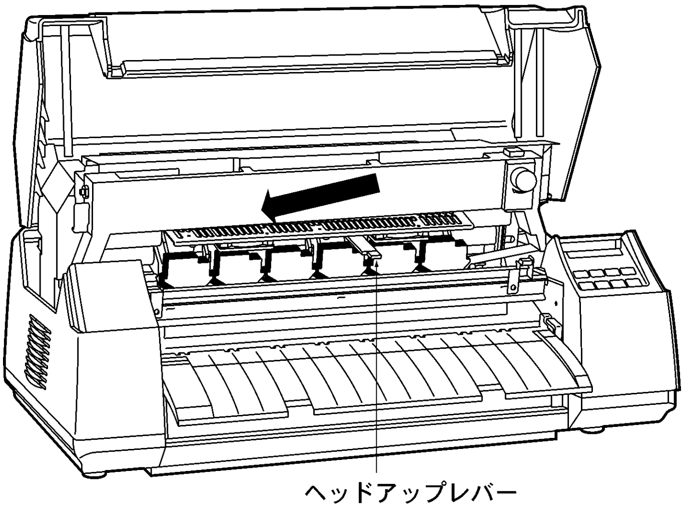


7)　リボンカセットのつまみを矢印（時計）方向に回してリボンのたるみをとってください．



（注意）リボンカセットのつまみを矢印と反対方向に回さないでください．
リボンカセットおよびプリンタの故障の原因になります．

8)　ヘッドアップレバーを左下へ動かすと，印字ヘッドのアップ状態が解除されます．

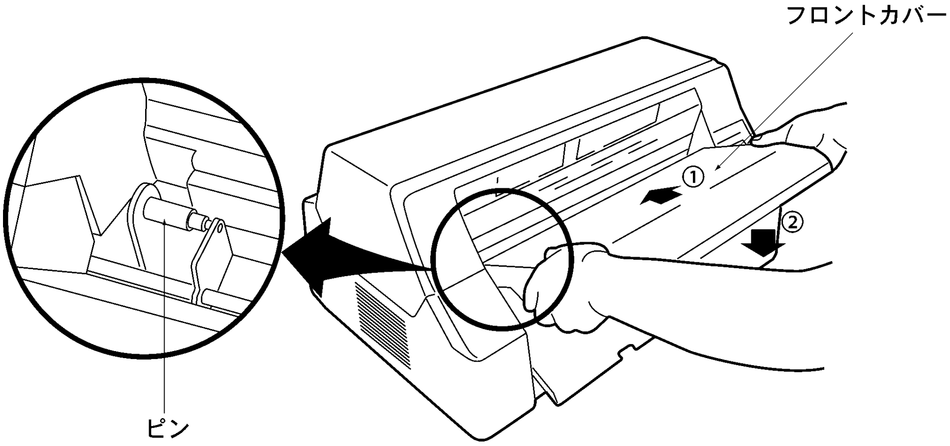


9)　トップカバーを閉じます．

2.3　フロントカバーの取付け方・取外し方

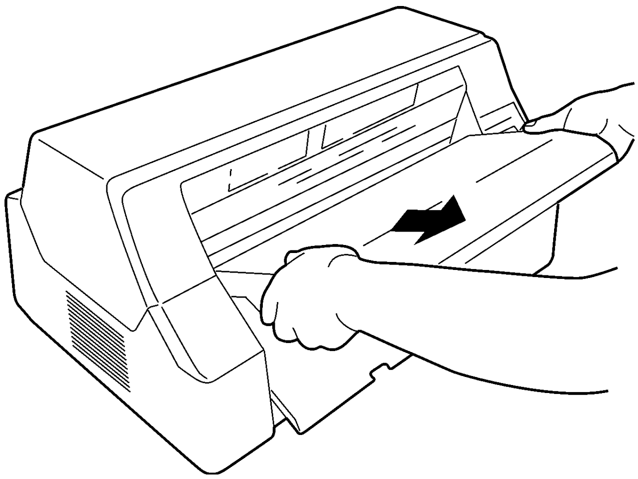
取付け方

フロントカバーを両手で持ち，斜め上（水平から約 50°）からフロントカバー側の左右の引っ掛け部を，プリンタ側の左右のピンに押し込んで（①），ゆっくりと下に置きます（②）．



取外し方

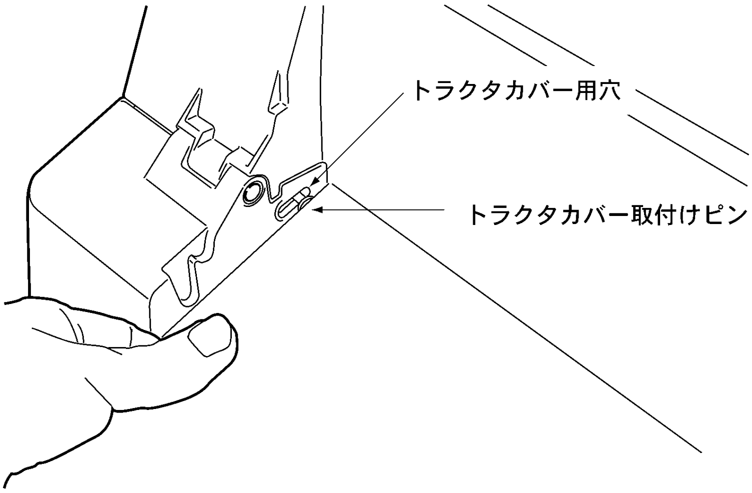
フロントカバーを両手で持ち，ゆっくりと斜め上（水平から約 50°）に引きながら外します．



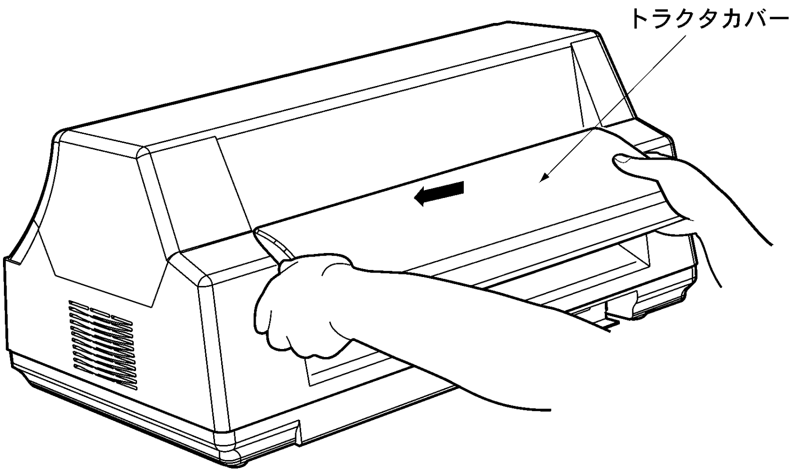
2.4　トラクタカバーの取付け方・取外し方

取付け方

左側のトラクタカバー用穴にトラクタカバー取付けピンを差し込みます．
（本説明はプリンタ背面から見たときを基準として記載されています．）



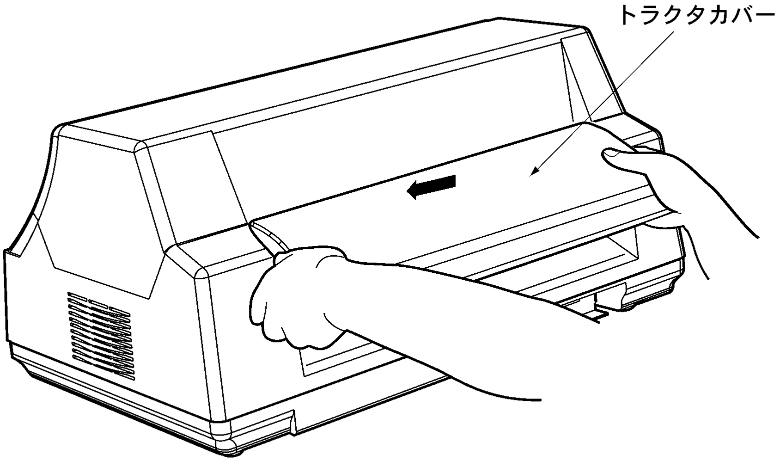
トラクタカバーを左に押し付けながら，装置後方から見て右側のトラクタカバー用穴に，トラクタカバー取付けピンを差し込みます．



取外し方

トラクタカバーを左に押し付けながら，プリンタ左右のトラクタカバー用穴からトラクタカバーを外します．

（本説明はプリンタ背面から見たときを基準として記載されています．）



2.5　プリンタと専用台の取付け

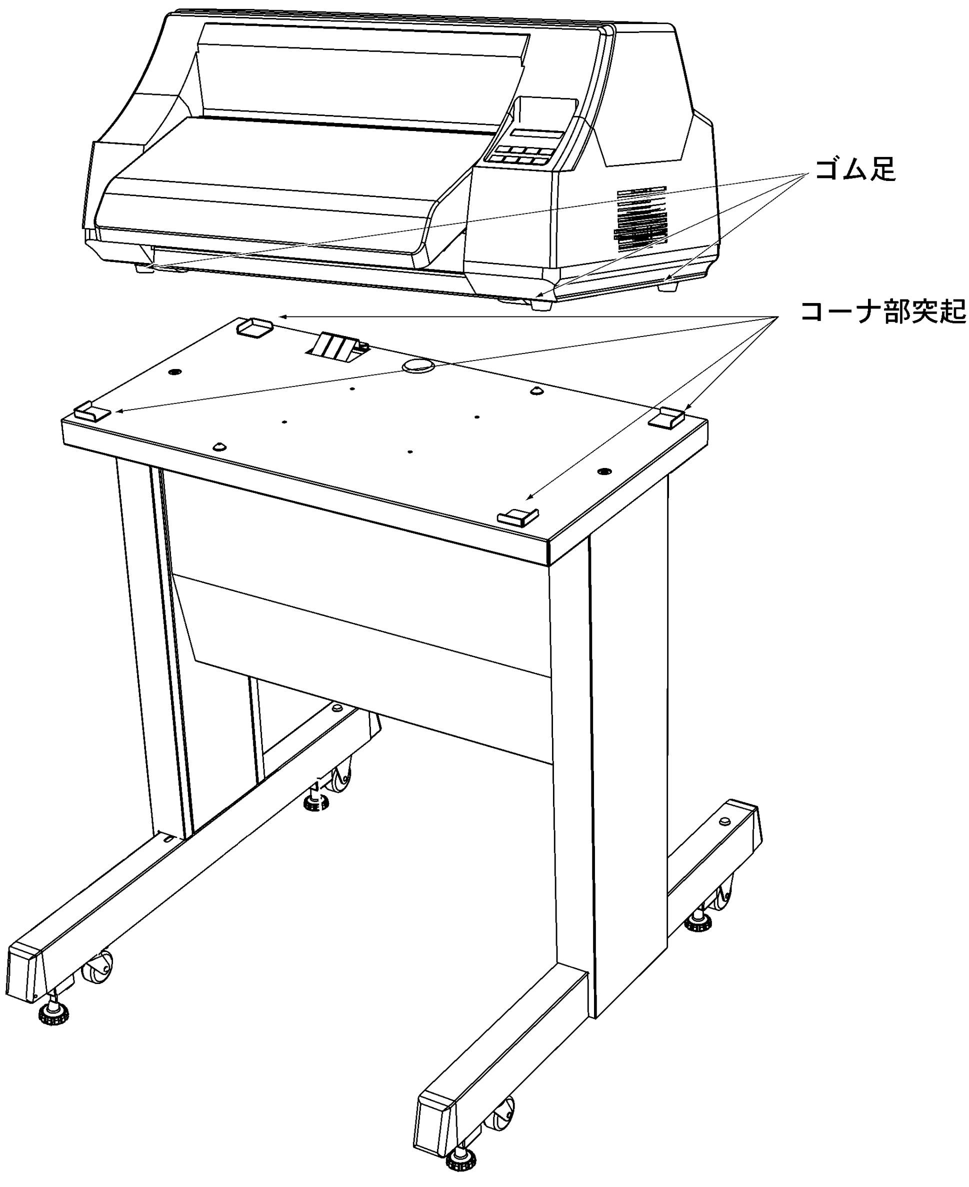
▲ 警告



プリンタは重量物です.
　２人以上で作業を行ってください.

1)　プリンタを専用台の上に載せます.
　　プリンタ底部の４個のゴム足が，専用台の４個のコーナ部突起に合うようにしてプリンタを載せます.

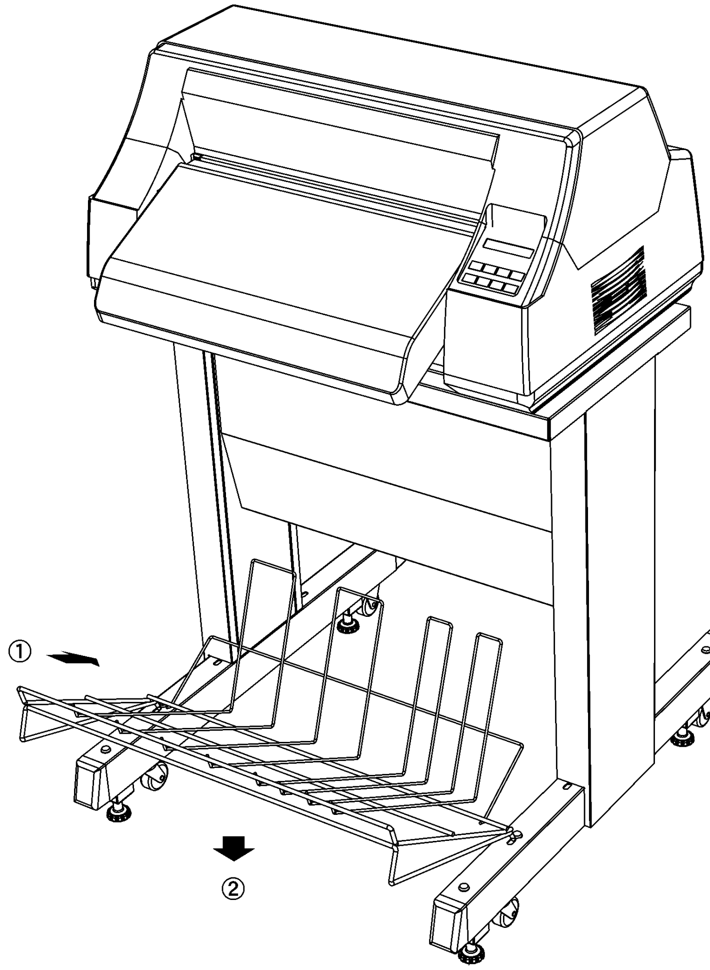
（注意）専用台左右の足の長い方が，プリンタ手前側ですので，プリンタと専用台の向きを間違えないように注意してください.



2)　用紙受けを専用台に付けます.

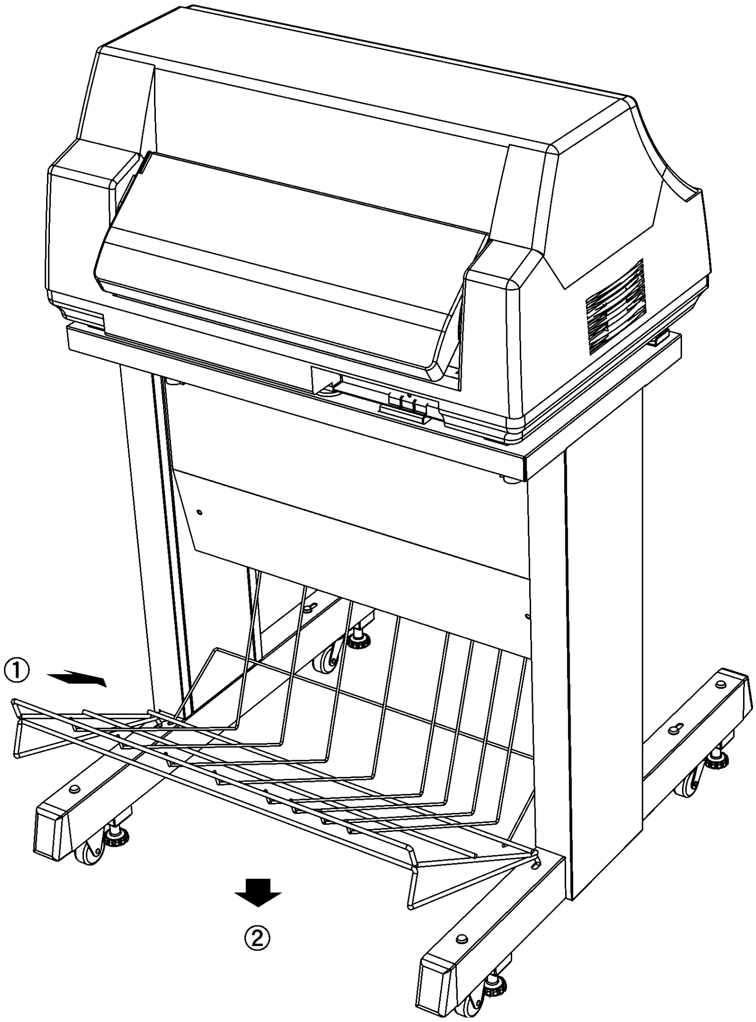
2-1）押込み印刷の場合

用紙は装置背面から前面に送られますので，用紙受けは装置前面にセットします．用紙受けの両側を持ち，斜めにしながら専用台の手前側穴に挿入してください．（取外しは取付けの逆の操作を行ってください．）

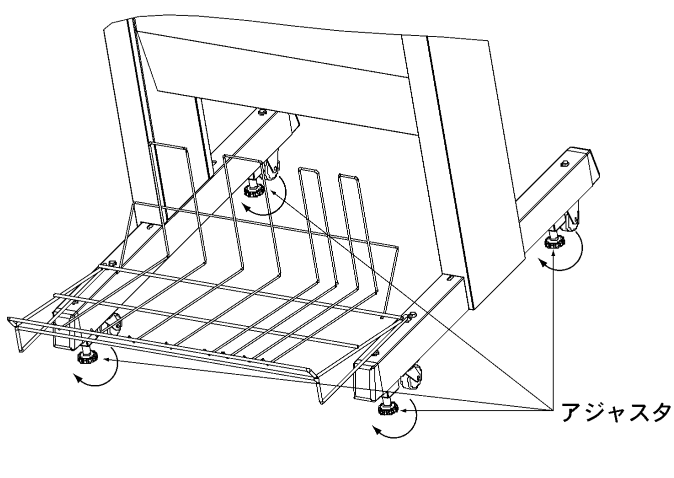


2-2) 引張り印刷の場合

用紙は装置前面から背面に送られますので，用紙受けは装置背面にセットします．用紙受けの両側を持ち，斜めにしながら専用台の穴に挿入してください．（取外しは取付けの逆の操作を行ってください．）



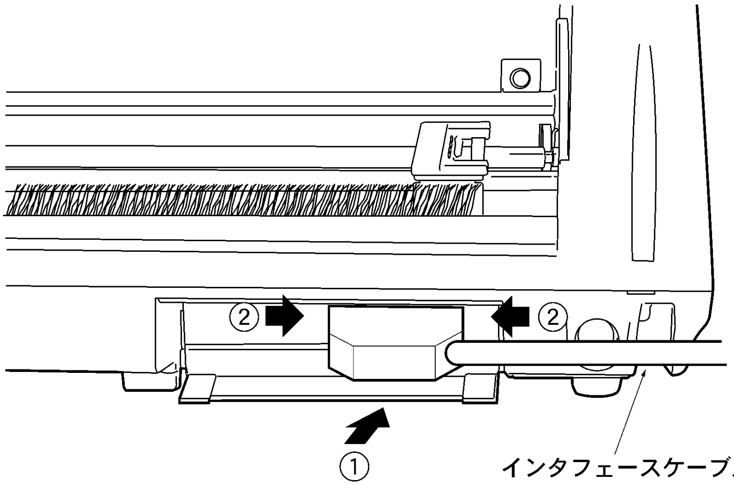
2-3) 専用台を設置場所に移動した後，4 個のアジャスタを時計方向に回して床に設置します．



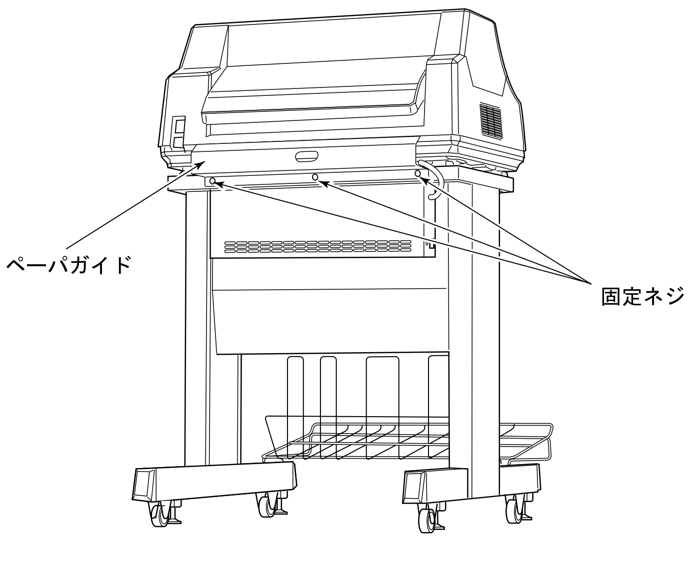
2.6　インタフェースケーブルの接続

▲ 警告	一般的注意	必ず電源スイッチを切ってから作業を行ってください.

1）プリンタ背面のインタフェースケーブルコネクタにインタフェースケーブルをしっかりと差し込み（①），左右の固定用金具を内側に倒して固定します.（②）



2）ペーパガイドを取り付けます.
インタフェースケーブルを接続後，ペーパガイドを添付の固定ネジにより，取り付けます.



2.7　電源ケーブル（プリンタ本体−電源コンセント間，プリンタ本体−専用台間）の接続

▲ 警告

感電注意

電源ケーブル接続時は次の点を厳守してください．これを守らないときは感電死や重傷を負う事故となる場合があります．

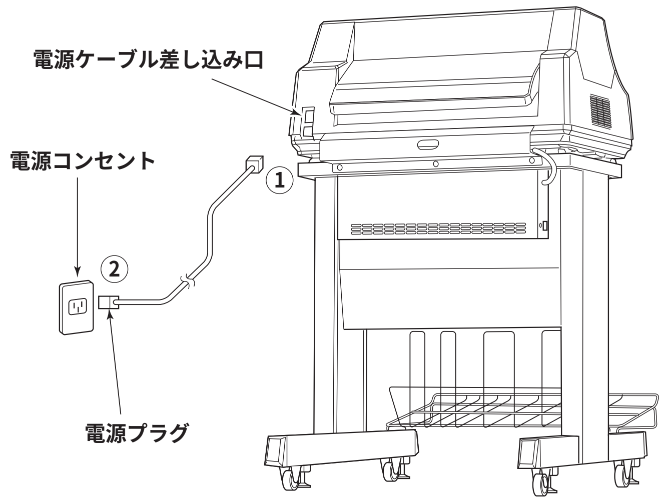
- 電源は必ず付属の電源ケーブルを使用してください．
- 電源ケーブルを抜き差しするときは，必ずプラグ部分を持って使用してください．
- 電源ケーブルを重いものの下に敷いたり，はさんだり，ねじったりして傷を付けないようにしてください．
- 電源スイッチが ON の状態で，電源ケーブルのプラグを抜いたり，本装置を移動したりしないでください．
- 延長コードの使用はおやめください．

▲ 警告

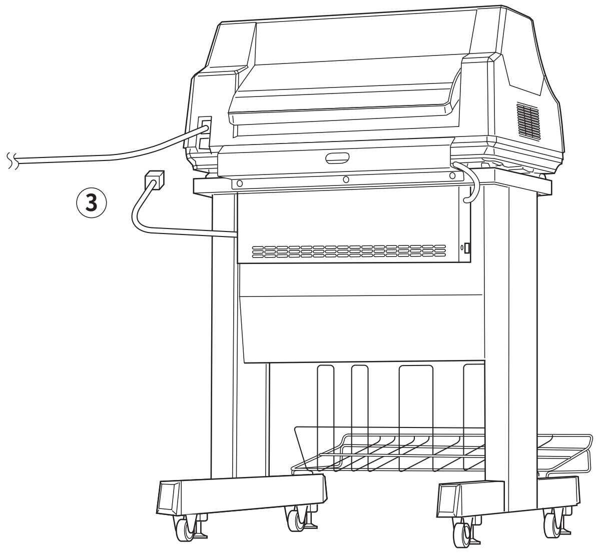
一般的注意

必ず電源スイッチを切ってから作業を行ってください．

1）プリンタ背面の電源ケーブル差込口に電源ケーブルをしっかりと差し込みます．
2）電源ケーブルの電源プラグを電源コンセントに差し込みます．



3)　プリンタ背面の電源ケーブル差込口に専用台からの電源ケーブルをしっかりと差し込みます.



2.8　LANケーブルの接続

LAN ケーブルを本装置に接続することにより，ネットワークと接続できます．

▲ 警告



感電注意

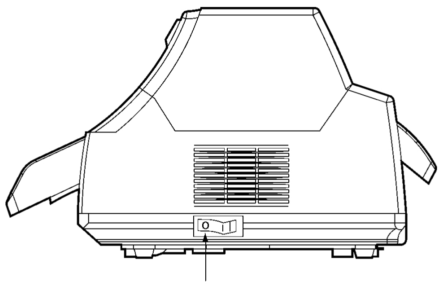
●LAN ケーブルを接続するときは，必ず本装置の電源を切断してください．
　感電や火災のおそれがあります．



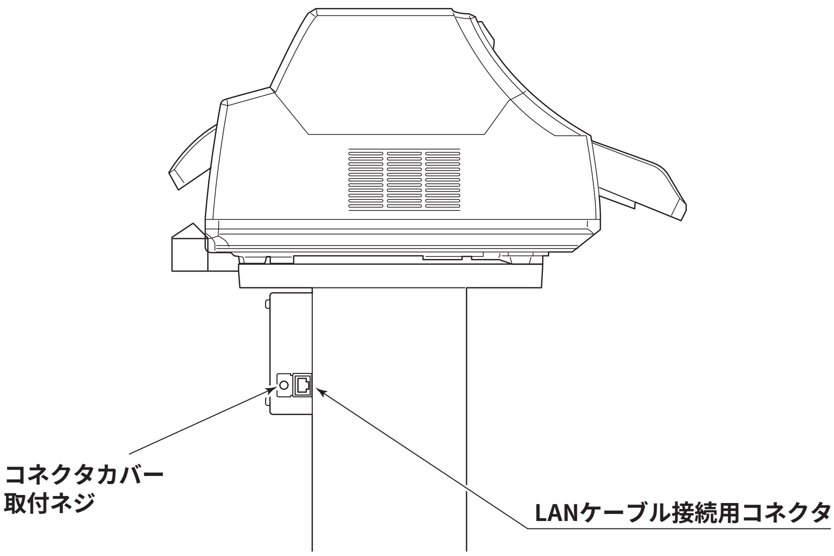
接触禁止

●コネクタの端子に手を触れないでください．
　感電や静電気のためプリンタが破損するおそれがあります．

1)　電源が切断されていることを確認します．（電源スイッチが「○」側に倒れている状態です．）



2)　コネクタカバー取付ネジを外してコネクタカバーを取り外してから，LAN ケーブルを，装置左側面の LAN ケーブル接続用コネクタに接続します．



3)　コネクタカバーを取り付けます．

2.9　ソフトウェアのインストール

接続形態によっては，Windows へ PrintWalker/PM と VSP プリンタドライバをインストールする必要があります．インストールする手順はご使用の OS 環境によって異なります．
Windows95/98/Me 環境では「2.9.1　Windows95/98/Me へのインストール手順」を
WindowsNT4.0 環境では「2.9.2　WindowsNT4.0 へのインストール手順」を
Windows2000/XP /Server2003 環境では「2.9.3　Windows2000/XP /Server2003 へのインストール手順」をご覧になり正しくインストールを行ってください．

2.9.1　Windows95/98/Meへのインストール手順

Step1. PrintWalker/PM のインストール

注）Windows のアップグレードは，インストールされている PrintWalker/PM をアンインストールしてから行ってください．
すでに旧版（CD-ROM 版数：E05V03 以前）の VSP/VS プリントモニタ（PrintWalker/PM の旧名称）がインストールされている場合，アンインストールしてから PrintWalker/PM をインストールしてください．

1. Windows を起動し，装置添付の CD-ROM（PrintWalker）を CD-ROM ドライブにセットします．

2. Autorun が有効の場合，“PrintWalker Install Selector”の画面が表示されますので，［PrintWalker/PM-Windows9X 版のインストール］を選択してから［インストール］ボタンをクリックすると，確認画面が表示されますので，［はい］ボタンをクリックします．
Autorun が無効の場合，3 項の手順を行ってください．

3. アプリケーションの追加を手動で行います．
   (1) タスクバーから[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]を選択し[コントロールパネル]を開き，[アプリケーションの追加と削除]のアイコンをダブルクリックします．
   (2) ［インストール（セットアップ）と削除］タブシートの［インストール（セットアップ）］ボタンをクリックします．“フロッピーディスクまたは CD-ROM からのインストール（セットアップ）”の画面が表示されますので，［次へ］ボタンをクリックします．
   (3) “インストール（セットアップ）プログラムの実行”の画面が表示されましたら，［インストール（セットアップ）プログラムのコマンドライン］に以下を入力し，［完了］ボタンをクリックします．
   D:¥PRINTMON¥9XSERVER¥SETUP.EXE　（D は CD-ROM ドライブ名）

4. インストールを開始します．
   (1) インストール初期画面“PrintWalker/PM Install”が表示されますので，［次へ］ボタンをクリックします．
   (2) インストール先の選択画面が表示されますので，［次へ］ボタンをクリックします．
   (3) インストール開始確認画面が表示されますので，［次へ］ボタンをクリックします．
   (4) コピー経過表示画面が表示されます．
   途中，“メッセージ操作動作環境設定”および“メッセージ到着通知パネルのスタートアップへの登録”の設定画面が表示されますので，［次へ」ボタンをクリックします．
   その後，［PATH 環境変数］の追加の確認画面が何度か表示されますので，［はい］ボタンをクリックします．
   (5) インストール終了後，コンピュータを再起動してください．

以上で，PrintWalker/PM のインストールは終了です．
引き続き，VSP プリンタドライバをインストールしてください．

Step2. VSP プリンタドライバのインストール

1. プリンタの追加を行います．
  (1) タスクバーから[スタート]→[設定]→[プリンタ]を選択して[プリンタ]フォルダを開き，[プリンタの追加]のアイコンをダブルクリックします．
  (2) “プリンタウィザード”または“プリンタの追加ウィザード”の画面が表示されますので，[次へ]ボタンをクリックします．
  プリンタの接続先を選択する画面が表示されますので，[ローカルプリンタ]を選択して[次へ]ボタンをクリックします．（環境によってはこの選択画面は表示されない場合があります．）
  (3) プリンタの製造元とモデルを設定する画面が表示されますので，[ディスク使用]ボタンをクリックします．
  (4) “（フロッピー）ディスクからインストール”の画面が表示されましたら，[配布ファイルのコピー元]に以下を入力し，[OK]ボタンをクリックします．
  D:¥PRINTDRV¥VSP3XXX¥WIN9X　　（D は CD-ROM ドライブ名）
  (5) プリンタの一覧が表示されますので，“FUJITSU VSP3601A”をクリックし，[次へ]ボタンをクリックします．
  (6) プリンタの接続ポートを指定する画面が表示されますので，仮に LPT1:を選択し，[次へ]ボタンをクリックします．このポートは２項で変更します．
  (7) プリンタ名（任意の名前で可），通常のプリンタの設定を必要に応じて行い，[完了]ボタンをクリックします．プリンタドライバがコピーされます．
  (8) コピー中に Windows の CD-ROM を要求するメッセージが表示されますので，Windows の CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットして[OK]ボタンをクリックします．
  (9) “ファイルのコピー”画面が表示されましたら，[ファイルのコピー元]に下記を入力し，[OK]ボタンをクリックします．残りのファイルがコピーされます．
  D:¥WINXX　　（D は CD-ROM ドライブ名）
  　　　　　　（XX 名は OS 名）

2. 印刷先のポートを変更します．
  (1) [プリンタ]フォルダに追加したプリンタのアイコンをクリックしてから，[ファイル]メニューの[プロパティ]をクリックします．
  (2) “プロパティ”画面の[詳細]タブを開き，[ポートの追加]ボタンをクリックします．
  (3) “ポートの追加”画面で[その他]を選び，“追加するポートの種類”のリストの中から，[VSP Network Port]を選択します．
  (4) “ポート追加”の画面が表示されます．
  [ポート名]と[アドレス]（接続先のプリンタの IP アドレス）を入力して，[OK]ボタンをクリックします．
  “論理プリンタ”の設定は，[プリンタ 1]（デフォルトの設定）のまま変更しないでください．
  (5) [スプールの設定]ボタンをクリックして，“プリンタスプールの設定”画面の[全ページ分のデータをスプールしてから，印刷データをプリンタに送る]を選択し，[OK]ボタンをクリックします．
  (6) “プロパティ”画面に戻りますので，[OK]ボタンをクリックして“プロパティ”画面を閉じます．

注) WindowsNT4.0/2000/Server2003 サーバに接続する場合は，印刷先のポートを WindowsNT4.0/2000/Server2003 サーバ上の共有プリンタに変更してください．
VSP プリンタドライバの詳細は，CD-ROM 内の¥PRINTDRV¥VSP3XXX¥WIN9X フォルダにあるテキストファイルをご覧ください．

以上で，VSP プリンタドライバのインストールは完了です．

2.9.2　WindowsNT4.0 へのインストール手順

Step1.　PrintWalker/PM のインストール

注）Windows のアップグレードは，インストールされている PrintWalker/PM をアンインストールしてから行ってください．
すでに旧版（CD-ROM 版数：E05V03 以前）の VSP/VS プリントモニタ（PrintWalker/PM の旧名称）がインストールされている場合，アンインストールしてから PrintWalker/PM をインストールしてください．
インストール時は［Spooler］サービスが起動されている必要があります．

1. Windows NT4.0 を起動し，管理者グループのユーザーとしてログオンして装置添付の CD-ROM（PrintWalker）を CD-ROM ドライブにセットします．

2. Autorun が有効の場合，“PrintWalker Install Selector”の画面が表示されますので，［PrintWalker/PM-WindowsNT 版のインストール］を選択してから［インストール］ボタンをクリックすると，確認画面が表示されますので，［はい］ボタンをクリックします．
Autorun が無効の場合，３項の手順を行ってください．

3. アプリケーションの追加を手動で行います．
 (1) タスクバーから[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]を選択し[コントロールパネル]を開き，[アプリケーションの追加と削除]のアイコンをダブルクリックします．
 (2) ［インストールと削除］タブシートの［インストール］ボタンをクリックします．
“フロッピーディスクまたは CD-ROM からのインストール”の画面が表示されますので，［次へ］ボタンをクリックします．
 (3) “インストールプログラムの実行”の画面が表示されましたら，［インストールプログラムのコマンドライン］に以下を入力し，［完了］ボダンをクリックします．
D:¥PRINTMON¥NTSERVER¥SETUP.EXE　　（D は CD-ROM ドライブ名）

4. インストールを開始します．
 (1) インストール初期画面“PrintWalker/PM Install”が表示されますので，［次へ］ボタンをクリックします．
 (2) インストール方法の選択画面が表示されますので，“フルインストール”または“カスタムインストール”を選択してから［次へ］ボタンをクリックします．
インストール先を変更したい場合は［ディレクトリ］ボタンをクリックしてからディレクトリ名を入力します．
注）インストール先変更にあたって，下記条件があります．
・ディレクトリ名は８文字以内の英数字で指定してください．
・指定するドライブ内に存在しないディレクトリ名を入力してください．
・ディレクトリはドライブ直下に作成してください．

 (3) “カスタムインストール”を選択した場合はインストールするコンポーネントの選択画面が表示されますので，Web メッセージ管理を使用したい時はチェックしてから［次へ］ボタンをクリックします．
注）Web メッセージ管理とは，Web ブラウザ上でプリンタに発生したエラーなどを表示する機能です．
詳細は，CD-ROM 内の¥PRINTMON フォルダにあるテキストファイル（Rdwebmsg.txt）をご覧ください．

⑷ インストール開始確認画面が表示されますので，［次へ］ボタンをクリックします．
⑸ コピー経過表示画面が表示されます．
途中，“メッセージ操作動作環境設定”および“メッセージ到着通知パネルのスタートアップへの登録”の設定画面が表示されますので，［次へ］ボタンをクリックします．
その後，［PATH 環境変数］の追加の確認画面が何度か表示されますので，［はい］ボタンをクリックします．
⑹ インストール終了後，コンピュータを再起動してください．

以上で，PrintWalker/PM のインストールは終了です．
引き続き，VSP プリンタドライバをインストールしてください．

Step2. VSP プリンタ ドライバのインストール

1. プリンタの追加を行います．
⑴ タスクバーから[スタート]→[設定]→[プリンタ]を選択して[プリンタ]フォルダを開き，［プリンタの追加]のアイコンをダブルクリックします．
⑵ “プリンタの追加ウィザード”で[このコンピュータ]を選択し，［次へ]ボタンをクリックします．
（環境によってはこの選択画面は表示されない場合があります．）
⑶ プリンタの接続ポートを指定する画面が表示されますので，［ポートの追加]ボタンをクリックします．
⑷ “プリンタポート”の画面の“利用可能なプリンタポート”の中から［VSP Network Port］を選択してから，［新しいポート］ボタンをクリックします．
⑸ “ポート追加”の画面が表示されます．
［ポート］名と［アドレス］（接続先のプリンタの IP アドレス）を入力して，［OK］ボタンをクリックします．
“論理プリンタ”の設定は，［プリンタ 1］（デフォルトの設定）のまま変更しないでください．
⑹ “プリンタポート”の画面に戻りますので，［閉じる］ボタンをクリックします．
⑺ ［次へ］ボタンをクリックすると，プリンタの製造元とモデルを設定する画面が表示されますので，［ディスク使用]ボタンをクリックします．
⑻ “フロッピーディスクからインストール”の画面が表示されましたら，[配布ファイルのコピー元]に以下を入力し，[OK]ボタンをクリックします．
D:¥PRINTDRV¥VSP3XXX¥WINNT40　　（D は CD-ROM ドライブ名）
⑼ プリンタの一覧が表示されますので，“FUJITSU VSP3601A”を選択し，[次へ]ボタンをクリックします．
⑽ プリンタ名（任意の名前で可），通常使うプリンタの設定を必要に応じて行い，［次へ]ボタンをクリックします．
⑾ プリンタの共有の設定を必要に応じて行い，［次へ]ボタンをクリックします．
⑿ テストページの印刷は[いいえ]を選択して，［完了］ボタンをクリックします．
プリンタドライバがコピーされます．

2. プリンタのプロパティを変更します．
⑴ ［プリンタ]フォルダに追加したプリンタのアイコンをクリックしてから，[ファイル]メニューの[プロパティ]をクリックします．
⑵ “プロパティ”画面の[スケジュール]タブを開き，［全ページ分のデータをスプールしてから，印刷データをプリンタに送る]を選択して，［OK]ボタンをクリックします．
⑶ プリンタの“プロパティ”画面に戻りますので[OK]ボタンをクリックして“プロパティ”画面を閉じます．

注） VSP プリンタドライバの詳細は，CD-ROM 内の¥PRINTDRV¥VSP3XXX¥WINNT40 フォ

ルダにあるテキストファイルをご覧ください.

以上で，VSP プリンタドライバのインストールは完了です.

2.9.3　Windows2000/XP/Server2003 へのインストール手順

Step1. PrintWalker/PM のインストール

注）Windows のアップグレードは，インストールされている PrintWalker/PM をアンインストールしてから行ってください.

1. Windows を起動し，管理者グループのユーザーとしてログオンして装置添付の CD-ROM（PrintWalker）を CD-ROM ドライブにセットします.

2. Autorun が有効の場合，“PrintWalker Install Selector”の画面が表示されますので，[PrintWalker/PM-Windows2000/XP/Server2003 版のインストール]を選択してから[インストール] ボタンをクリックすると，確認画面が表示されますので，[はい] ボタンをクリックします.
   Autorun が無効の場合，3 項の手順を行ってください.

3. アプリケーションの追加を手動で行います.
   (1) タスクバーから[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]を選択し[コントロールパネル]を開き，[アプリケーションの追加と削除]のアイコンをダブルクリックします.
   (2) [プログラムの追加] → [CD またはフロッピー] ボタンをクリックします.
   “フロッピーディスクまたは CD-ROM からのインストール”の画面が表示されますので，[次へ] ボタンをクリックします.
   (3) “インストールプログラムの実行”の画面が表示されましたら，[インストールプログラムのコマンドライン] に以下を入力し，[完了] ボダンをクリックします.
   D:¥PRINTMON¥W2SERVER¥SETUP.EXE　　（D は CD-ROM ドライブ名）

4. インストールを開始します
   (1) インストール初期画面“PrintWalker/PM Install”が表示されますので，[次へ] ボダンをクリックします.
   (2) インストール方法の選択画面が表示されますので，“フルインストール” または “カスタムインストール”を選択してから [次へ] ボタンをクリックします.
   インストール先を変更したい場合は [ディレクトリ] ボタンをクリックしてからディレクトリ名を入力します.
   注）インストール先変更にあたって，下記条件があります.
   ・ディレクトリ名は 8 文字以内の英数字で指定してください.
   ・指定するドライブ内に存在しないディレクトリ名を入力してください.
   ・ディレクトリはドライブ直下に作成してください.

   (3) “カスタムインストール”を選択した場合はインストールするコンポーネントの選択画面が表示されますので，Web メッセージ管理を使用したい時はチェックしてから [次へ] ボタンをクリックします.
   注）Web メッセージ管理とは，Web ブラウザ上でプリンタに発生したエラーなどを表示する機能です.
   詳細は，CD-ROM 内の¥PRINTMON フォルダにあるテキストファイル（Rdwebmsg.txt）をご覧ください.

(4) インストール開始確認画面が表示されますので，［次へ］ボタンをクリックします．
(5) コピー経過表示画面が表示されます．
途中，“メッセージ操作動作環境設定”および”メッセージ到着通知パネルのスタートアップへの登録”の設定画面が表示されますので，［次へ」ボタンをクリックします．
その後，［PATH 環境変数］の追加の確認画面が何度か表示されますので，［はい］ボタンをクリックします．
(6) インストール終了後，コンピュータを再起動してください．

以上で，PrintWalker/PM のインストールは終了です．
引き続き，VSP プリンタドライバをインストールしてください．

Step2. VSP プリンタドライバのインストール

1. プリンタの追加を行います．
(1) タスクバーから[スタート]→[設定]→[プリンタ]を選択して[プリンタ]フォルダ(WindowsXP/Server2003 では[プリンタと FAX]フォルダ)を開き，[プリンタの追加]のアイコンをダブルクリックします．
(2) “プリンタの追加ウィザードの開始”画面が表示されますので[次へ]ボタンをクリックします．
(3) プリンタの接続形態として[ローカルプリンタ]を選択し，[プラグアンドプレイプリンタを自動的に検出してインストールする]のチェックはしないで，[次へ]ボタンをクリックします．

2. 手動設定を行います．
(1) 使用するプリンタポートを選択する画面が表示されますので，［ポートの追加]ボタンをクリックします．
(2) “プリンタポート”の画面が表示されますので，“利用可能なポートの種類”の中から［VSP Network Port］を選択します．
(3) “ポート追加”の画面が表示されます．
［ポート］名と［アドレス］（接続先のプリンタの IP アドレス）を入力します．
“論理プリンタ”の設定は，［プリンタ 1］（デフォルトの設定)のまま変更しないでください．
［OK］ボタンをクリックしますと“プリンタポート”の画面に戻りますので，［閉じる］ボタンをクリックします．
(4) ［次へ］ボタンをクリックすると，プリンタの製造元とモデルを設定する画面が表示されますので，[ディスク使用]ボタンをクリックします．
(5) “フロッピーディスクからインストール”の画面が表示されましたら，[製造元のファイルのコピー元]に以下を入力し，[OK]ボタンをクリックします．

Windows2000 は	D:¥PRINTDRV¥VSP3XXX¥WIN2000
WindowsXP は	D:¥PRINTDRV¥VSP3XXX¥WINXP
WindowsServer2003 は	D:¥PRINTDRV¥VSP3XXX¥WIN2003
	（D は CD-ROM ドライブ名）

(6) プリンタの一覧が表示されますので，“FUJITSU VSP3601A”をクリックし，[次へ]ボタンをクリックします．
(7) プリンタ名（任意の名前で可)，通常使うプリンタの設定を必要に応じて行い，[次へ]ボタンをクリックします．
(8) プリンタの共有の設定を必要に応じて行い，［次へ]ボタンをクリックします．
(9) テストページの印刷は[いいえ]を選択して，［次へ］ボタンをクリックします．
(10) “プリンタの追加ウィザードを完了しています”の画面になりますので，［完了]ボタンをクリックします．プリンタドライバがコピーされます．
この時，『デジタル署名が見つかりませんでした』の警告画面が表示されますが，[はい]ボタンをクリックしてインストールを続行してください．
(11) コピーが終了しますと『プリンタの追加は正常に終了しました．』の確認メッセージが表示さ

れますので，[OK]ボタンをクリックした後，３項へ進んでください.

3. プリンタのプロパティを変更します.

⑴ [プリンタ]フォルダに追加したプリンタのアイコンをクリックしてから，[ファイル]メニューの[プロパティ]をクリックします.

⑵ “プロパティ”画面の[詳細設定]タブを開き，[全ページ分のデータをスプールしてから，印刷データをプリンタに送る]を選択して，[適用]ボタンをクリックします.

⑶ [OK]ボタンをクリックして“プロパティ”画面を閉じます.

注) VSP プリンタドライバの詳細は，CD-ROM 内の¥PRINTDRV¥VSP3XXX¥WIN2000 (WINXP,WIN2003)フォルダにあるテキストファイルをご覧ください.

以上で，VSP プリンタドライバのインストールは完了です.

第 3 章　操作説明

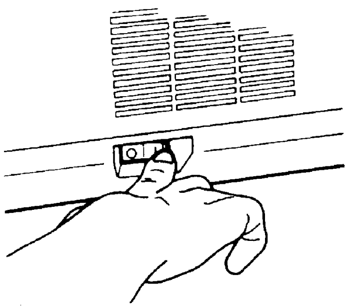
本章では，本装置の電源の投入と切断，操作パネルの配置と機能，セットアップ，LAN 接続および印刷時の操作について説明します．

3.1　電源の投入と切断

3.1.1　電源の投入

▲ 注意	一般的注意	はじめに上位装置の電源を投入し，次に本装置の電源を投入してください． また，切断後の再投入は，3 秒間時間をあけてください．

プリンタ装置の右側面にある電源スイッチを「|」側に押します．



電源を入れると，操作パネル上の“電源”ランプが点灯します．

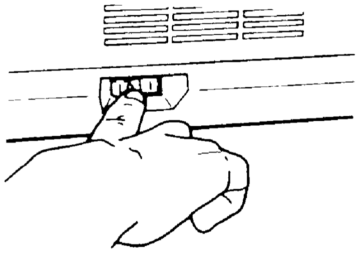
電源を入れても，“電源”ランプが点灯しないときは，3 秒以上待ってからもう一度「|」側に押してください．

再度やり直しても“電源”ランプが点灯しないときは，保守員にご連絡ください．

（注意）　用紙がトラクタにセットされていないと，“ヨウシギレ”と表示されます．

3.1.2　電源の切断

プリンタ装置の右側面にある電源スイッチを「○」側に押します．



（注意）電源を切って，もう一度入れるときは，必ず３秒以上お待ちください．

3.2　操作パネルの配置と機能

本装置の操作パネルは，操作に必要なスイッチ（SW），ランプ（LED）および液晶ディスプレイ（LCD）で構成されています．

液晶ディスプレイには，装置の状態やエラーが発生した時のメッセージが表示されます．

3.2.1　操作パネル外観

操作パネルは装置前面に配置され，オペレータがその時の装置の状態を認識できるように LCD（LiquidCrystalDevice：液晶表示素子）があります．又，装置の設定状態表示の為に LED（発光ダイオード）があり，チェックは橙色，その他は緑色です．

オペレータが本装置を操作するスイッチは LED（発光ダイオード）付きのものを含み，８個が配置されています．

以下に操作パネル外観を示します．

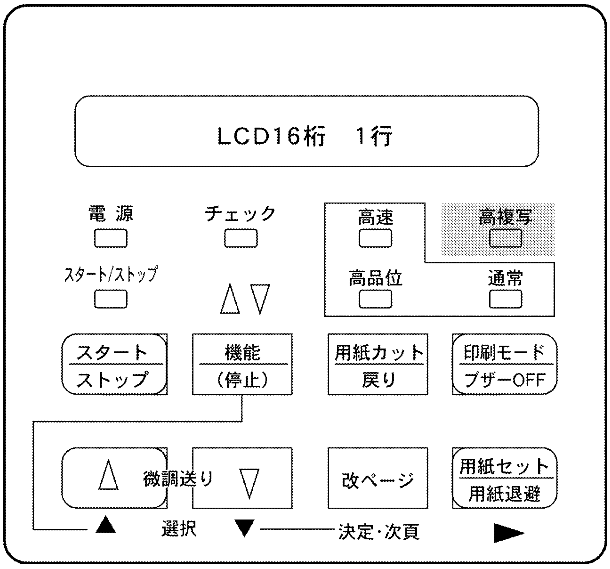


図 3.1　操作パネル外観

3.2.2　操作パネル上のスイッチ機能

操作パネルの各スイッチ及びランプについて，その種類及び用途をまとめます．

(1) スタート／ストップ（スイッチ＆ランプ）

- 本スイッチは押下する度にオフライン⇨オンライン⇨オフライン状態に遷移し，オンライン状態では“スタート／ストップ”ランプが点灯します．但し，チェック要因が発生している場合は押下によりリセット動作を行い，オフライン状態に遷移します．
- 印刷動作中に押下すると，現在印刷中の行又は次行の内容を完全に印刷後停止します．停止した後にオフライン状態となります．サポートサーバ設定が Print Walker の場合，印字データを装置内に保持している場合は液晶ディスプレイに印字データが残存している旨の表示を行います．この時，装置内の用紙長に影響を及ぼさないもの（印刷モード，微調送り，改ページ）は有効ですが，その他は無効です．
- “スタート／ストップ”ランプが消灯する要因は以下の通りです．
  ・本スイッチの押下
  ・チェック要因発生
  ・停止タイムアウト（サポートサーバ設定が Print Walker 時を除きます］
  ・セットアップモードの起動
- 押込み連帳が選択されている場合，装置内に用紙がなければ用紙吸入動作を行います．用紙があれば行いません．

- 引張り連帳が選択されている場合，装置内に用紙がなければ搬送通路を開放して用紙の挿入を可能とします．用紙があれば搬送通路が開放されている時（エラー発生後または用紙切替え後）にのみ用紙をページの 1 行目まで搬送します．

⑵ 用紙カット（スイッチ）
・押込み設定時，カット位置までの用紙搬送を行います．再押下で元の位置までの逆搬送を行います．
・引張り設定時は，無効です．
・オフライン状態でのみ有効となります．

⑶ 印刷モード：高品位／通常／高速／高複写（スイッチ＆ランプ）
・本スイッチ押下に従い，下記印刷モードに切り替わると同時にランプも連動して点灯します．

印刷モード	点灯 LED	備　考
高品位	高品位	デフォルト
通常	通常	高品位の 1.2 倍速となります
高速	高速	ドットの連続印刷を行わないことにより印字スピードを速くします
高品位＋高複写	高品位＋高複写	ヘッドピンの励磁力を上げることにより複写能力を向上させます
通常＋高複写	通常＋高複写	
高速＋高複写	高速＋高複写	

・オフライン／オンライン状態で有効です．
・ブザー音を停止するときにこのスイッチを押します．

⑷ 微調送り△／▽／▲／▼（スイッチ）
- 用紙セット時に用紙の先頭を合わせるのに使用します．
- 本機能による用紙の移動は，用紙のページ長管理に対して影響を与えません．
- 有効状態
  ・オフライン状態
  ・用紙終了状態
  ・停止状態（サポートサーバ設定が Print Walker 時を除きます）
- 押下し続けると，【△】スイッチは最初は僅かづつ改行を行い，次第に改行ピッチを増やし改行速度を速めます．【▽】スイッチは一定です．
- セットアップ／機能モードの時の設定値の変更を【▲／▼】スイッチにより行います．

⑸ 用紙セット／用紙退避（スイッチ）
・押込み設定時，ヘッド位置に用紙が存在する場合に用紙退避動作を行い，用紙が存在しない場合は用紙セット動作を行います．
・引張り設定時，搬送通路を開放し，用紙の挿入を可能とします．
・オフライン状態でのみ有効となります．
＜用紙セット：紙なし時＞
・押込み設定時，用紙を第 1 ページ 1 行目位置まで搬送します．
・引張り設定時，搬送通路を開放して用紙の挿入を可能とします．
＜用紙退避：紙あり時＞
・押込み設定時，用紙を 1 ページ分後退させます．
・引張り設定時，用紙のセット動作を行い，後退動作は行いません．

⑹ 改ページ／決定・次頁（スイッチ）
・1 回の操作で印刷位置を用紙の次のページの第 1 行，左マージン位置に移動します．
・オフライン状態でのみ有効です．
・サポートサーバが Print Walker で未印刷データが装置内にある場合は印刷データは消去され

ます．
・セットアップ／機能モード時の設定値の決定／選択を行います．

⑺ 機能（スイッチ＆ランプ）
・“機能”ランプは“押込み／引張り”ランプと兼用しており，以降に“機能”ランプと表記しているものは下記のランプを指します．
・押込み状態（“▽”ランプ点灯，“△”ランプ消灯）の場合は，“△”ランプを使用します．
・引張り状態（“△”ランプ点灯，“▽”ランプ消灯）の場合は，“▽”ランプを使用します．
（i） サポートサーバが 6680NMC，HOSTPRINT の場合
・オンライン状態では「停止」状態に遷移します．
LU1 モード時は PA キー画面へ遷移し，“機能”ランプを点滅させ，又 LU3 モード時はペーパアジャスト画面へ遷移し，“機能”ランプを点灯します．
・この状態を 10 分間以上継続すると，オフライン状態となり，テイシタイムアウト画面へ遷移します．
・オフライン状態では書式設定を行います．
この時，各種設定にて使用する機能には，【決定・次頁】，【▲／▼】スイッチ，テスト印字での【スタート／ストップ】スイッチ以外は無効となります．
ただし，テスト印字以外での【スタート／ストップ】スイッチ押下は LU1 モード時は PA キー画面へ遷移し，LU3 モード時はペーパーアジャスト画面へ遷移します．
・印字データを保持していない時のみ有効です．電源投入時はセットアップ値が設定されます．
（ii） サポートサーバが Print Walker の場合
・オンライン状態では無効です．
・“機能”ランプは点滅します．
・オフライン状態では書式設定を行います．
この時，各種設定にて使用する機能には，【決定・次頁】，【▲／▼】スイッチ，テスト印字での【スタート／ストップ】スイッチ以外は無効となります．
・印字データを保持していない時のみ有効です．電源投入時はセットアップ値が設定されます．

⑻ チェック（ランプ）
本装置に何らかの操作や介入が必要な時に点滅します．

⑼ 電源（ランプ）
電源が投入されている時に点灯します．

3.3 セットアップ

本装置は，導入する LAN 環境やシステム接続形態に応じたセットアップが可能です．セットアップの手順と，セットアップの構成およびセットアップの設定内容を説明します．

3.3.1　セットアップの手順

セットアップは操作パネルを使ってプリンタの各種設定を行います．
セットアップの操作手順を以下に示します．

電源投入

↓

99 → → → → → ・

↓

97 → → → → → ・

電源投入時に【用紙セット】スイッチと【機能】スイッチの同時押下によりセットアップモードに遷移します．

↓

セットアップ　ツウシン　1/5

セットアップメニューは，以下の 5 項目からなります．【▲】スイッチ，【▼】スイッチで選択し，【決定・次頁】スイッチで決定します．戻る場合は【戻り】スイッチを押します．

①ツウシン
②ソウチ
③ヨウシ
④インサツ
⑤ペーパーアジャスト

↓

セットアップシーケンス
（次項参照）

↓ 戻り SW

セットアップ　ツウシン　1/5

各項目選択後の遷移は，「3.3.2　セットアップの構成」を参照してください．セットアップが必要な項目は①ツウシン，②ソウチ，③ヨウシです．これらの設定値については「3.3.3 セットアップの設定内容」を参照してください．

↓

セットアップ　カキコミ

①ツウシン，②ソウチ，③ヨウシの設定が完了したら，設定した内容を有効にするため，【戻り】スイッチを押していき，書き込み画面に切り替えます．

↓

シテイチ　カキコミ　1/2

↓

スタート SW　ヲ　オス

【決定・次頁】スイッチを押し，次に【スタート】スイッチを押すと，設定がプリンタに保存されます．

↓

ジッコウチュウ

↓

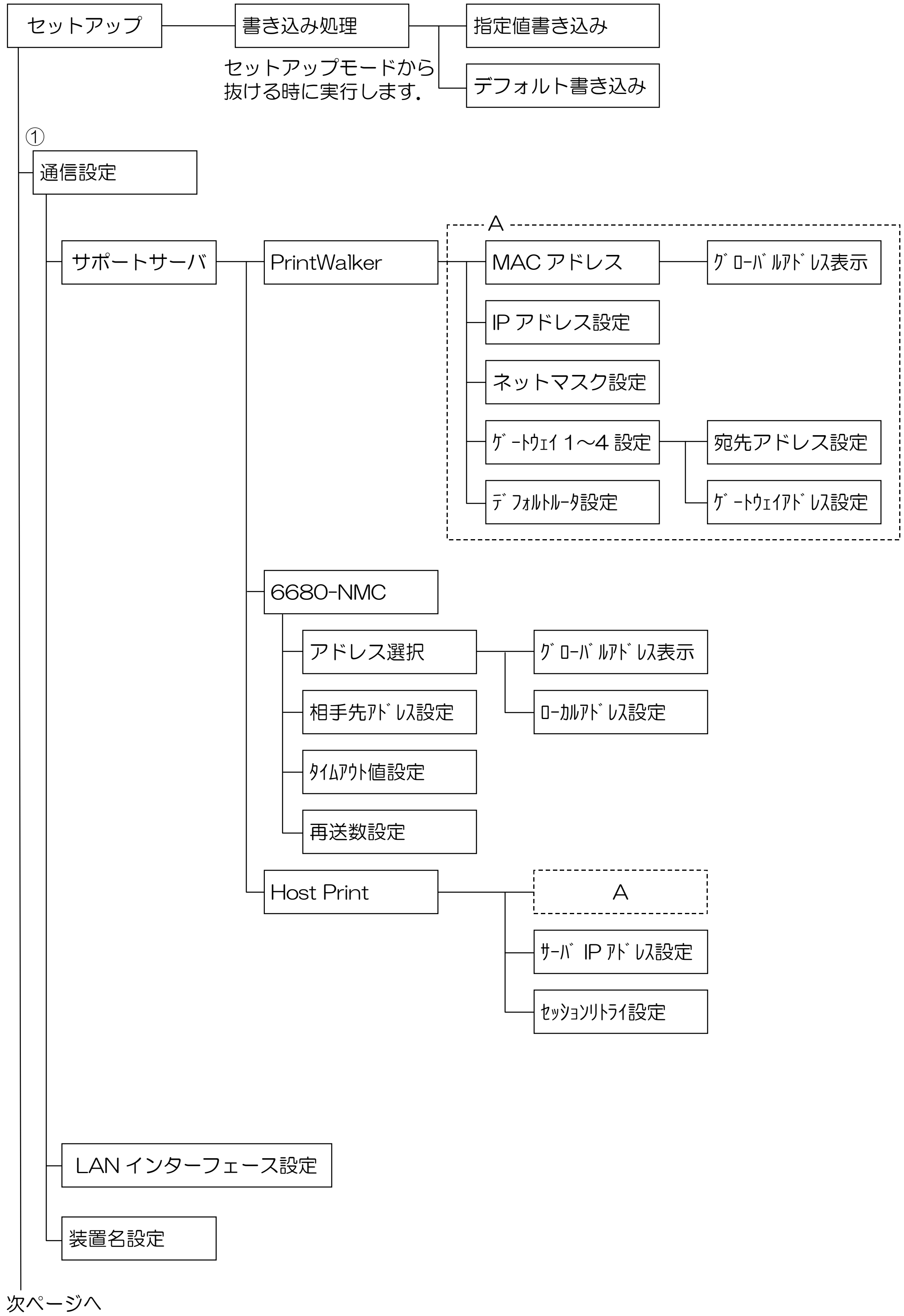
ローディング　1/2

設定の保存が正常終了するとローディング選択画面に移ります．【決定・次頁】スイッチを押すと，電源投入後の画面に移ります．

↓

電源投入後の画面へ遷移

3.3.2　セットアップの構成



前ページから

②
- 装置設定
  - EBCDIC
  - 印刷動作
  - 印刷モード
  - FF 有効位置
  - 右端＋NL
  - 右端＋CR
  - 未定義文字 注１
  - AN コード 注２
  - 印字桁数設定 注２
  - 用紙終了時
  - 印字ﾍｯﾄﾞ動作方向

（網掛けの枠）はサポートサーバ設定が PrintWalker の時表示されません．

注 1）サポートサーバ設定が Host Print 時は表示されません．（常時空白設定）
注 2）サポートサーバ設定が Print Walker 時は GS/M 連携時のみ設定値が有効となります．

③
- 用紙設定
  - 左マージン
  - ページ長
  - ロード位置
  - 漢字ピッチ
  - AN ピッチ
  - 改行ピッチ
  - 改行間隔

（破線の枠）：Windows クライアントからの印刷時は無効となります．

④
- セットアップ印刷　セットアップ情報を印刷します．

⑤
- ペーパーアジャスト　【△／▽】スイッチを押下することにより，セットアップモード中に，用紙の微調送りができます．

3.3.3　セットアップの設定内容

セットアップモードの設定内容を表 3.1 に示します．

項目の選択と設定値の変更は【▲】【▼】スイッチ押下で，桁の移動は【▶】スイッチ押下で，決定は【決定・次頁】スイッチ押下で行います．また，戻る場合は【戻り】スイッチを押します．

まず，現在の設定情報を印刷して確認してみます．セットアップモードの「セットアップインサツ」（「3.3.1　セットアップの手順」参照）を選択し，セットアップ印刷画面に入ります．用紙をセットしてから【スタート】スイッチを押下すると，現在の設定情報を印刷します．
（図 3.2 参照）

現在の設定情報と実際の使用環境とを比較して，セットアップの設定内容を変更する必要があります．表 3.1 を見ながら，セットアップモードで使用環境に応じた設定値に変更してください．

①通信の設定については，「3.5　LAN 接続」も合せて参照してください．

なお，設定変更を行った後は，「セットアップカキコミ」を選択して，設定した値をプリンタに保存してください．

表 3.1　セットアップの設定内容（続く）

		セットアップ情報種類	設定内容		備考
			初期値	設定可能値	
①通信設定（LAN関連の設定）	1	サポートサーバ設定	PrintWalker	PrintWalker 6680-NMC HOST PRINT	本機能でのみ設定可能
	2	LAN インターフェース	オート	オート/100M/10M	同上　注 1)
	3	装置名設定	不定	“-（ハイフン）”，“0” ～ “9”，“A” ～ “Z”，“_（アンダーバー）”，“a” ～ “z” 上記文字を用いて 45 文字以内が入力可能	同上 （文字の変更は【▲／▼】スイッチ，桁の移動は【▶】スイッチと【機能】スイッチ）
	サポートサーバが PrintWalker，HOST PRINT の場合				
	4	MAC アドレス	グローバルアドレス	グローバルアドレス	表示のみ
	5	IP アドレス設定	000.000.000.000	XXX.XXX.XXX.XXX	本機能でのみ設定可能
	6	ネットマスク設定	000.000.000.000	XXX.XXX.XXX.XXX	同上
	7	ゲートウェイ 1～4 設定（宛先アドレス）	000.000.000.000	XXX.XXX.XXX.XXX	同上
	8	ゲートウェイ 1～4 設定（ゲートウェイアドレス）	000.000.000.000	XXX.XXX.XXX.XXX	同上
	9	デフォルトルータ設定	000.000.000.000	XXX.XXX.XXX.XXX	同上
	10	サーバ IP アドレス設定	000.000.000.000	XXX.XXX.XXX.XXX	同上　注 2)
	11	セッションリトライ設定	0 回	XX：0～10 回	同上　注 2)
	サポートサーバが 6680-NMC の場合				
	12	アドレス選択	グローバルアドレス	グローバルアドレス ローカルアドレス	本機能でのみ設定可能
	13	ローカルアドレス設定	020000000000	XXXXXXXXXXXX └ ビット 2^1，2^0 は bit‘10’固定	同上
	14	相手先アドレス設定	020000000000	XXXXXXXXXXXX	同上
	15	タイムアウト値設定	2 秒	XX.X：0.1～25.5 秒	同上
	16	再送数設定	7 回	XX：1～15 回	同上

表 3.1　セットアップ設定内容（続き）

		セットアップ情報種類	設定内容		備考
			初期値	設定可能値	
②装置設定	1	EBCDIC フォント	標準	標準／OCR-B	本機能でのみ設定可能
	2	印刷動作で JEF コードのサポートの有無	JEF&AN	JEF&AN：JEF コード有り AN　　：JEF コード無し	同上
	3	印刷モード	高品位	高品位／通常／高複写 高品位＋高複写 通常＋高複写 高速＋高複写	操作パネルから設定可能
	4	FF 有効位置	ANY	ANY （どこでも有効） FIRST （行の先頭のみ有効）	本機能でのみ設定可能 注 2）
	5	右端+NL	2LF	2LF/1LF	同上　注 2）
	6	右端+CR	1LF	1LF/0LF	同上　注 2）
	7	未定義 JEF コード	空白	空白 HEX（16 進数印刷）	同上　注 3）
	8	AN コード設定	カナアリ	カナアリ（カナ付き） カナナシ（カナ無し） ASCII （EBCDIC ASCII） US（US ENGLISH）	同上
	9	印字桁数設定 （10cpi 時）	136 桁	136 桁（10cpi 時） 132 桁（10cpi 時） 桁長無制限	同上　注 4）
	10	用紙終了時の中断／継続	中断	中断：ホストからの再送必要 継続：本装置で継続印刷	同上　注 2）
	11	印字ヘッド動作方向設定	両方向	両方向／片方向	同上

注 1）本装置のデータレート固定設定は，半二重（Half）のみサポートしています．
　　お使いになるスイッチングハブの設定がオートネゴシエーション以外の場合は，プリンタに合わせて半二重（Half）に設定してください．
　　（本装置とスイッチングハブともに“オート”設定を推奨します）

注 2）サポートサーバ設定が PrintWalker の時，本設定はセットアップメニューとして表示されません．

注 3）サポートサーバ設定が PrintWalker，HOST PRINT の時，本設定はセットアップメニューとして表示されません．（常時空白設定）

注 4）GS/M 連携時，“桁長無制限”に設定すると，136 桁を越えたデータを印字しないまたは次行に印字します．（ホストの設定による）

表 3.1　セットアップ設定内容（続き）

		セットアップ情報種類	設定内容		備考
			初期値	設定可能値	
③用紙設定	1	左マージン	1	1～99 カラム	操作パネルからも設定可能
	2	ページ長	66	1～99 行	同上
	3	ロード位置	14.8mm	2～38mm （0.2 ごとに設定可能）	同上 （用紙先端から第 1 行目の文字中心までの距離）
	4	漢字ピッチ	1/5”	1/5”（5cpi） 1/6”（6cpi） 3/20”（6.7cpi）	同上
	5	AN ピッチ	1/10”	1/10”（10cip） 1/12”（12cpi） 3/40”（13.3cpi） 1/15”（15cpi）	同上
	6	改行ピッチ	6LPI	6LPI/8LPI	同上
	7	改行間隔	1LF	1LF/2LF	同上

セットアップ印刷　印刷結果例

VSP3601A　セットアップ印刷

装置名設定　　：VSP3601-XXXXXX
シリアルＮＯ　：XXXXXXXXXXXX
システム版数　：EXXVXXLXX
拡張出力機構　：なし

＜＜装置設定＞＞

EBCDICフォント：標準
印刷動作　　　：JEF&AN
印刷モード　　：高品位印刷
ＡＮコード　　：カナ有り
最大印字桁数　：136桁
ヘッド動作　　：両方向

＜＜用紙設定＞＞

　　　　　　　連帳
左マージン　　：01桁
ページ長　　　：066桁
ロード位置　　：14.8mm
漢字ピッチ　　：1/5 ”
ＡＮピッチ　　：1/10 ”
改行ピッチ　　：6LPI
改行間隔　　　：1LF

＜＜通信関連＞＞

サポートサーバ　　　　　：PrintWalker
ＬＡＮインターフェース　：LAN（オート）
ＭＡＣアドレス　　　　　：00000XXXXXX

＜＜ネットワークアドレス設定＞＞

ＩＰアドレス　　　　　　：000.000.000.000
ネットマスク　　　　　　：000.000.000.000
ゲートウェイアドレス１
　宛先アドレス　　　　　：000.000.000.000
　ゲートウェイアドレス　：000.000.000.000
ゲートウェイアドレス２
　宛先アドレス　　　　　：000.000.000.000
　ゲートウェイアドレス　：000.000.000.000
ゲートウェイアドレス３
　宛先アドレス　　　　　：000.000.000.000
　ゲートウェイアドレス　：000.000.000.000
ゲートウェイアドレス４
　宛先アドレス　　　　　：000.000.000.000
　ゲートウェイアドレス　：000.000.000.000
デフォルトルータ設定　　：000.000.000.000

注）印刷形式は，実際の印字結果と異なる場合があります．

図 3.2　現在の設定情報

3.3.4　印刷設定（機能モード）

オンライン状態から【機能】スイッチを押すことで，PA キー／用紙位置調整を行うことができます．（オンライン状態にするためには，用紙のセットが必要です．）

また，オンライン状態から【スタート／ストップ】スイッチを押しオフライン状態にしてから機能スイッチを押すことで，各種機能設定やテスト印字を行えます．

以下に，オンライン／オフラインからの印刷設定の遷移図を示します．

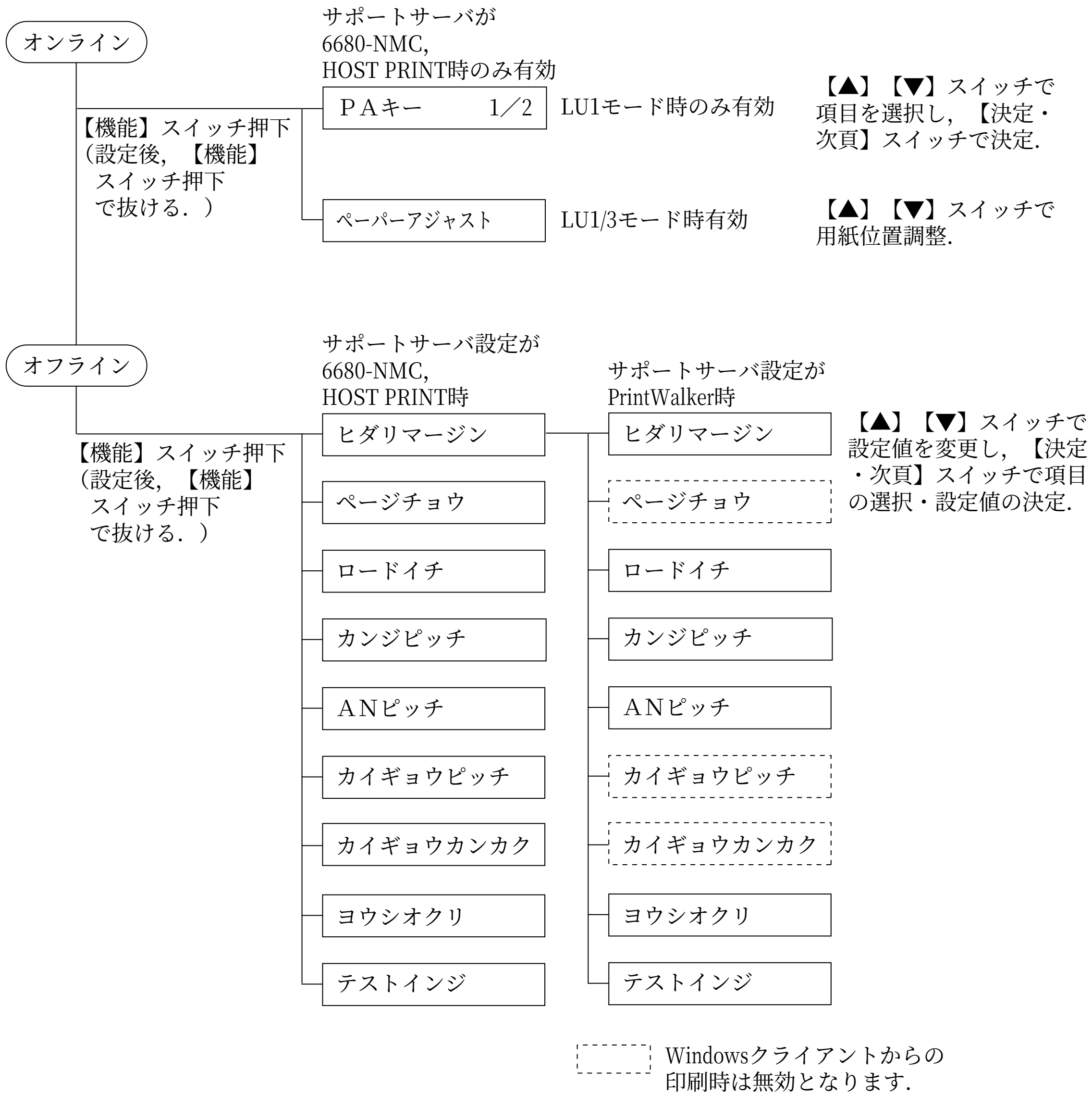
印刷設定の内容と設定値の有効範囲は，表 3.2 の通りです．

なお，機能モードで設定した値は，電源再投入後セットアップモードでの設定値に戻りますのでご注意ください．

表 3.2　機能モードの設定内容

設定項目	設　定　内　容		備　　考
	初期値	設定可能値	
左マージン	セットアップモードでの設定値	1～99 桁	設定する用紙の種類（押込み／引張り）は現在選択されている用紙
ページ長		1～99 桁	
ロード位置注）		2.0～38.0mm（0.2 ごとに設定可能）	
漢字ピッチ		1/5”，1/6”，3/20”	
AN ピッチ		1/10”，1/12”，3/40”，1/15”	
改行ピッチ		6LPI，8LPI	
改行間隔		1LF，2LF	
用紙送り		押込み，引張り	
テスト印字	――――――		“X”を 64 桁印字

注）「ロード位置」の設定値を変更する場合は，あらかじめ吸入されている用紙を取り除いてください．


オンライン
【機能】スイッチ押下
（設定後，【機能】
スイッチ押下
で抜ける．）
サポートサーバが
6680-NMC,
HOST PRINT時のみ有効
ＰＡキー　1／2
LU1モード時のみ有効
【▲】【▼】スイッチで
項目を選択し，【決定・
次頁】スイッチで決定.
ペーパーアジャスト
LU1/3モード時有効
【▲】【▼】スイッチで
用紙位置調整.
オフライン
【機能】スイッチ押下
（設定後，【機能】
スイッチ押下
で抜ける．）
サポートサーバ設定が
6680-NMC,
HOST PRINT時
サポートサーバ設定が
PrintWalker時
ヒダリマージン
ページチョウ
ロードイチ
カンジピッチ
ＡＮピッチ
カイギョウピッチ
カイギョウカンカク
ヨウシオクリ
テストインジ
【▲】【▼】スイッチで
設定値を変更し，【決定
・次頁】スイッチで項目
の選択・設定値の決定.
Windowsクライアントからの
印刷時は無効となります.

3.4　LAN接続

3.4.1　LAN接続するための基本設定

本装置をLAN 接続するための基本設定例を示します．

本装置の LAN 設定は，セットアップモードの「通信」で「サポートサーバ」の設定を行います．実際の設定内容については，「3.3.3　セットアップの設定内容」の LAN 関連の設定の欄を参照してください．

導入するLAN 環境や接続形態によって，プリンタの設定内容は異なってきます．

以下に，導入するホストとサーバ接続環境の組合せ毎に，プリンタの設定内容（サポートサーバの設定値）を示します．これを参考にしてセットアップモードの「通信」で「サポートサーバ」を設定してください．なお，設定した値は装置の IPL または電源再投入により有効となります．

注）IP アドレスは必ず“0.0.0.0”以外の値に設定してください．

項番	ホスト	サーバ				プリンタの設定
		ハード	ソフト	プロトコル	⇨	サポートサーバ
①	GS/PRIME-FORCE	Windows NT/2000/Server2003 サーバ	HOST PRINT	TCP/IP	⇨	HOST PRINT
②				DS-LINK	⇨	6680-NMC
③			HOST PRINT PrintWalker/PM	TCP/IP	⇨	PrintWalker
④		PRIMEPOWER S series GP7000D サーバ	NMC-LAN ゲートウェイ または Netcompo NMC サーバ	TCP/IP	⇨	HOST PRINT
⑤				DS-LINK	⇨	6680-NMC
⑥			BSNPS(注 1)，CJMS	TCP/IP	⇨	PrintWalker
⑦		NMC	ー	DS-LINK	⇨	6680-NMC
⑧	PRIMEPOWER S series GP7000D サーバ		BSNPS(注 1)	TCP/IP	⇨	PrintWalker
⑨	PRIMERGY6000 サーバ		LAN プリンタ制御オプション	TCP/IP	⇨	PrintWalker
⑩	Windows NT/2000/Server2003	Windows NT/2000/Server2003 サーバ	PrintWalker/PM	TCP/IP	⇨	PrintWalker
⑪		PRIMEPOWER S series GP7000D サーバ	BSNPS(注 1)	TCP/IP	⇨	PrintWalker
⑫	Windows 95/98/Me/XP	Windows NT/2000/Server2003 サーバ	PrintWalker/PM	TCP/IP	⇨	PrintWalker
⑬		PRIMEPOWER S series GP7000D サーバ	BSNPS(注 1)	TCP/IP	⇨	PrintWalker
⑭		ー	PrintWalker/PM	TCP/IP	⇨	PrintWalker
⑮	ー	Windows NT/2000/Server2003 サーバ	PrintWalker/PM	TCP/IP	⇨	PrintWalker
⑯	PC(Linux)	ー	PrintWalker/LXE	TCP/IP	⇨	PrintWalker

(注 1)BSNPS は以下の 2 種類のソフトウェアの総称です．

1)PrintWalker/BPC(装置添付):PRIMEPOWER/S series または GP7000S 上で動作するソフト

2)PrintWalker/BSNPS(装置のオプション):GP7000D 上で動作するソフト

3.4.2　LAN 接続環境ごとの設定内容

本装置をLAN 接続するには本装置側の設定と上位装置側（サーバ装置側）の設定が必要です．

本装置側の設定は，セットアップモードの「通信」で行います．サポートサーバの設定では運用するサーバを選択して，そのサーバに関するネットワークアドレスなどの設定を行います．

上位装置側の設定は，上位装置に組み込むソフトウェア（HOST　PRINT，NMC-LAN ゲートウェイ，Netcompo NMC サーバ，PrintWalker/BPC，PrintWalker/BSNPS，LAN プリンタ制御オプション，PrintWalker/PM）の設定を行う必要があります．

(1) グローバルサーバをホストとして運用する場合：表の項番①～⑦のケース

(1)-1　本装置側の設定（サポートサーバの設定）

セットアップモードの「通信」の設定項目で，「サポートサーバ」を選択をします．運用するサーバを選択して，そのサーバに関するネットワークアドレス等の設定を行います．

a)　サポートサーバの選択

運用するサーバの選択をします．

・プロトコルを TCP/IP（HOST　PRINT，NMC-LAN ゲートウェイまたは Netcompo NMC サーバ使用）で運用する場合：「HOST　PRINT」

・プロトコルを TCP/IP（PrintWalker/PM 使用）で運用する場合 ：「PrintWalker」

・プロトコルを TCP/IP（PrintWalker/BPC，PrintWalker/BSNPS 使用）で運用する場合 ：「PrintWalker」

・プロトコルを DS-LINK で運用する場合 ：「6680-NMC」

をそれぞれ選択します．

「HOST　PRINT」を選択した場合，TCP/IP 通信を行うために以下の必要な設定を行います．

b)　MAC アドレスの設定
c)　IP アドレスの設定
d)　ネットマスクの設定
e)　ゲートウェイの設定
f)　デフォルトルータの設定
g)　サーバ IP アドレスの設定
h)　セッションリトライの設定

「PrintWalker」を選択した場合，TCP/IP 通信を行うために以下の必要な設定を行います．

b)　MAC アドレスの設定
c)　IP アドレスの設定
d)　ネットマスクの設定
e)　ゲートウェイの設定
f)　デフォルトルータの設定

「6680-NMC」を選択した場合，DS-LINK 通信を行うために以下の必要な設定を行います．

i)　アドレスの設定 j)　相手先アドレスの設定 k)　タイムアウト値の設定 l)　再送数の設定

b)　MAC アドレスの設定
本装置のグローバルアドレスが表示されます．

c)　IP アドレスの設定
本装置の IP アドレスを設定します．

d)　ネットマスクの設定
ネットマスクを設定します．

e)　ゲートウェイの設定
ゲートウェイを介した通信を行う場合に，そのゲートウェイアドレスを設定します．
本設定では，本装置の接続されているネットワークに存在するゲートウェイを４つまで設定でき，次項のデフォルトルータの設定を合わせると最大５つまで設定できます．
ゲートウェイアドレスの設定項目には以下の設定があります．
・宛て先アドレス
・ゲートウェイアドレス
設定およびその意味については，「3.4.3　ゲートウェイについての補足」を参照願います．

f)　デフォルトルータの設定
デフォルトとするゲートウェイのアドレスを設定します．同じゲートウェイの設定でも，前項のゲートウェイアドレスの設定とは意味が異なります．
設定およびその意味については，「3.4.3　ゲートウェイについての補足」を参照願います．

g)　サーバ IP アドレスの設定
サポートサーバの IP アドレスを設定します．

h)　セッションリトライの設定
上位装置とのセッション確立時に行う接続確認のリトライ回数を設定します．

i)　アドレスの設定
グローバルアドレスを使用するか，ローカルアドレスを使用するかを設定します（デフォルトはグローバルアドレス）．グローバルアドレス選択時はグローバルアドレスを表示し，ローカルアドレス選択時はローカルアドレスを表示します．

j)　相手先アドレスの設定
DS-LINK 通信をする場合には，NMC または NMC 代替として動作する NMC のアドレスを設定します．

k)　タイムアウト値の設定

DS-LINK 通信をする場合に，タイムアウト値を設定します．デフォルト値のままでも特に問題はありませんが，もし設定する場合には，NMC または NMC 代替サーバ側でのタイムアウト値も合わせる必要があります．

l) 再送数の設定

DS-LINK 通信をする場合に，再送数を設定します．デフォルト値のままでも特に問題はありせんが，もし設定する場合には，NMC または NMC 代替サーバ側での再送数も合わせる必要があります．

(1)-2 上位装置側の設定

上位装置には，従来の NMC または NMC 代替として動作する WindowsNT4.0/2000/Server2003 サーバと PRIMEPOWER, 富士通 S series，GP7000D がそれぞれ接続できます．
従来の NMC 接続では，プロトコルは「DS-LINK」のみが設定可能です．
WindowsNT4.0/2000/Server2003 サーバと PRIMEPOWER, 富士通 S series，GP7000D 接続では，プロトコルは「TCP/IP」または「DS-LINK」のどちらかが設定可能です．
HOST PRINT の帳票管理サービスを使用する場合は，WindowsNT4.0/2000/Server2003 サーバに本装置添付のソフトウェア（VSP リクエスタ）をインストールする必要があります．
上位装置側の設定は，上位装置に組み込むソフトウェア（HOST PRINT，NMC-LAN ゲートウェイ，Netcompo NMC サーバ，PrintWalker/PM，PrintWalker/BPC，PrintWalker/BSNPS）の設定を行う必要があります．
これらソフトウェアの設定については，以下のマニュアルを参照願います．

・WindowsNT4.0/2000/Server2003 サーバ（HOST PRINT）
：HOST PRINT 説明書
・WindowsNT4.0/2000/Server2003 サーバ(PrintWalker/PM)
：添付の CD-ROM の README.TXT
・GP7000D（NMC-LAN ゲートウェイ）
：NMC-LAN ゲートウェイ説明書
・PRIMEPOWER, 富士通 S series（Netcompo NMC サーバ）
：Netcompo NMC サーバ説明書

・PRIMEPOWER, 富士通 S series (PrintWalker/BPC)
：添付の CD-ROM の README.TXT
・GP7000D(PrintWalker/BSNPS) ：VSPPWBS(オプション)の CD-ROM の README.TXT

(2) PRIMEPOWER, 富士通 S series，GP7000D をホストとして運用する場合：項番⑧のケース（項番⑥と同じケースであり，同様に設定します．）

(2)-1 本装置側の設定（サポートサーバの設定）

セットアップモードの「通信」の設定項目で，「サポートサーバ」を選択します．運用するサーバを選択して，そのサーバに関するネットワークアドレスなどの設定を行います．

a) サポートサーバの選択

運用するサーバの選択をします．
プロトコルを TCP/IP（PrintWalker/BPC，PrintWalker/BSNPS）で運用するので，「PrintWalker」を選択します．
「PrintWalker」を選択した場合，TCP/IP 通信を行うために以下の必要な設定を行います．

b)　MAC アドレスの設定 c)　IP アドレスの設定 d)　ネットマスクの設定 e)　ゲートウェイの設定 f)　デフォルトルータの設定

b)　MAC アドレスの設定
本装置のグローバルアドレスが表示されます.

c)　IP アドレスの設定
本装置の IP アドレスを設定します.

d)　ネットマスクの設定
ネットマスクを設定します.

e)　ゲートウェイの設定
ゲートウェイを介した通信を行う場合に,そのゲートウェイアドレスを設定します.
本設定では，本装置の接続されているネットワークに存在するゲートウェイを４つまで設定でき，次項のデフォルトルータの設定を合わせると最大５つまで設定できます.
ゲートウェイアドレスの設定項目には以下の設定があります.
・宛先アドレス
・ゲートウェイアドレス
設定およびその意味については,「3.4.3　ゲートウェイについての補足」を参照願います.

f)　デフォルトルータの設定
デフォルトとするゲートウェイのアドレスを設定します．同じゲートウェイの設定でも，前項のゲートウェイアドレスの設定とは意味が異なります.
設定およびその意味については,「3.4.3　ゲートウェイについての補足」を参照願います.

(2)-2　上位装置側の設定
上位装置は，PRIMEPOWER, 富士通 S series，GP7000D となります.
PRIMEPOWER, 富士通 S series，GP7000D 接続では，プロトコルは「TCP/IP」のみが設定可能です.
上位装置側の設定は，上位装置に組み込むソフトウェア（PrintWalker/BPC，PrintWalker/BSNPS）の設定を行う必要があります.
これらソフトウェアの設定については，以下のマニュアルを参照願います.
・PRIMEPOWER, 富士通 S series (PrintWalker/BPC)
：添付の CD-ROM の README.TXT
・GP7000D(PrintWalker/BSNPS)　：VSPPWBS(オプション)の CD-ROM の README.TXT

⑶ PRIMERGY6000 をホストとして運用する場合：項番⑨のケース

⑶-1　本装置側の設定（サポートサーバの設定）

セットアップモードの「通信」の設定項目で，「サポートサーバ」を選択します．運用するサーバを選択して，そのサーバに関するネットワークアドレスなどの設定を行います．

a)　サポートサーバの選択

運用するサーバの選択をします．

プロトコルを TCP/IP（LAN プリンタ制御オプション使用）で運用するので，「PrintWalker」を選択します．

「PrintWalker」を選択した場合，TCP/IP 通信を行うために以下の必要な設定を行います．

b)　MAC アドレスの設定 c)　IP アドレスの設定 d)　ネットマスクの設定 e)　ゲートウェイの設定 f)　デフォルトルータの設定

b)　MAC アドレスの設定

本装置のグローバルアドレスが表示されます．

c)　IP アドレスの設定

本装置の IP アドレスを設定します．

d)　ネットマスクの設定

ネットマスクを設定します．

e)　ゲートウェイの設定

ゲートウェイを介した通信を行う場合に，そのゲートウェイアドレスを設定します．本設定では，本装置の接続されているネットワークに存在するゲートウェイを４つまで設定でき，次項のデフォルトルータの設定を合わせると最大５つまで設定できます．

ゲートウェイアドレスの設定項目には以下の設定があります．

・宛先アドレス

・ゲートウェイアドレス

設定およびその意味については，「3.4.3　ゲートウェイについての補足」を参照願います．

f)　デフォルトルータの設定

デフォルトとするゲートウェイのアドレスを設定します．同じゲートウェイの設定でも，前項のゲートウェイアドレスの設定とは意味が異なります．

設定およびその意味については，「3.4.3　ゲートウェイについての補足」を参照願います．

⑶-2　上位装置側の設定

上位装置は，PRIMERGY6000 となります．

PRIMERGY6000 接続では，プロトコルは「TCP/IP」のみが設定可能です．

上位装置側の設定は，上位装置に組み込むソフトウェア（LAN プリンタ制御オプション）の設定を行う必要があります．

これらソフトウェアの設定については，以下のマニュアルを参照願います．

・PRIMERGY6000（LAN プリンタ制御オプション）：ASP　システム導入手引書
　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　ASP　システム説明書

⑷ WindowsNT4.0/2000/Server2003 をホストとして運用する場合：項番⑩～⑪のケース
（項番⑪は，⑥と⑧と同様であり，同じように設定します）

⑷-1　本装置側の設定（サポートサーバの設定）

セットアップモードの「通信」の設定項目で，「サポートサーバ」を選択をします．運用するサーバを選択して，そのサーバに関するネットワークアドレスなどの設定を行います．

a)　サポートサーバの選択

運用するサーバの選択をします．

・プロトコルを TCP/IP（PrintWalker/PM 使用）で運用する場合，「PrintWalker」

・プロトコルを TCP/IP（PrintWalker/BPC，PrintWalker/BSNPS）で運用する場合，「PrintWalker」をそれぞれ選択します．「PrintWalker」を選択した場合，TCP/IP 通信を行うために以下の必要な設定を行います．

b)　MAC アドレスの設定
c)　IP アドレスの設定
d)　ネットマスクの設定
e)　ゲートウェイの設定
f)　デフォルトルータの設定

b)　MAC アドレスの設定

本装置のグローバルアドレスを表示します．

c)　IP アドレスの設定

本装置の IP アドレスを設定します．

d)　ネットマスクの設定

ネットマスクを設定します．

e)　ゲートウェイの設定

ゲートウェイを介した通信を行う場合に，そのゲートウェイアドレスを設定します．

本設定では，本装置の接続されているネットワークに存在するゲートウェイを４つまで設定でき，次項のデフォルトルータの設定を合わせると最大５つまで設定できます．

ゲートウェイアドレスの設定項目には以下の設定があります．

・宛先アドレス

・ゲートウェイアドレス

設定およびその意味については，「3.4.3　ゲートウェイについての補足」を参照願います．

f)　デフォルトルータの設定

デフォルトとするゲートウェイのアドレスを設定します．同じゲートウェイの設定でも，前項のゲートウェイアドレスの設定とは意味が異なります．
設定およびその意味については，「3.4.3　ゲートウェイについての補足」を参照願います．

(4)-2　上位装置側の設定
上位装置には，WindowsNT4.0/2000/Server2003 サーバと PRIMEPOWER，富士通 S series，GP7000D がそれぞれ接続できます．
WindowsNT4.0/2000/Server2003 サーバと PRIMEPOWER，富士通 S series，GP7000D 接続では，プロトコルは「TCP/IP」のみが設定可能です．
上位装置側の設定は，上位装置に組み込むソフトウェア（PrintWalker/PM，PrintWalker/BPC，PrintWalker/BSNPS）の設定を行う必要があります．
これらソフトウェアの設定については，以下のマニュアルを参照願います．
・WindowsNT4.0/2000/Server2003 サーバ（PrintWalker/PM）
：添付の CD-ROM の README.TXT
・PRIMEPOWER，富士通 S series (PrintWalker/BPC)
：添付の CD-ROM の README.TXT
・GP7000D(PrintWalker/BSNPS)　：VSPPWBS(オプション)の CD-ROM の README.TXT

(5) Windows95/98/Me/XP をホストとして運用する場合：項番⑫～⑭のケース
（項番⑫は⑩と同様であり，項番⑬は⑥，⑧，⑪と同様であり，同じように設定します）

(5)-1　本装置側の設定（サポートサーバの設定）
(4)-1 の設定と同様です．

(5)-2　上位装置側の設定
上位装置には，WindowsNT4.0/2000/Server2003 サーバと PRIMEPOWER，富士通 S series，GP7000D および Windows95/98/Me/XP がそれぞれ接続できます．
WindowsNT4.0/2000 サーバと PRIMEPOWER，富士通 S series，GP7000D および Windows95/ 98/Me/XP 接続では，プロトコルは「TCP/IP」のみが設定可能です．
上位装置側の設定は，上位装置に組み込むソフトウェア（PrintWalker/PM，PrintWalker/BPC，PrintWalker/BSNPS）の設定を行う必要があります．
これらソフトウェアの設定については，以下のマニュアルを参照願います．
・WindowsNT4.0/2000/Server2003 サーバ（PrintWalker/PM）
：添付の CD-ROM の README.TXT
・PRIMEPOWER，富士通 S series (PrintWalker/BPC)
：添付の CD-ROM の README.TXT
・GP7000D(PrintWalker/BSNPS)　：VSPPWBS(オプション)の CD-ROM の README.TXT
・Windows95/98/Me/XP（PrintWalker/PM）：添付の CD-ROM の README.TXT

(6) WindowsNT4.0/2000/Server2003 サーバからダイレクトに運用する場合：項番⑮のケース
（項番⑮は⑩，⑫と同様であり，同じように設定します）

(6)-1　本装置側の設定（サポートサーバの設定）
(4)-1 の設定と同様です．

(6)-2　上位装置側の設定
上位装置には，WindowsNT4.0/2000/Server2003 サーバが接続できます．
WindowsNT4.0/2000/Server2003 サーバ接続では，プロトコルは「TCP/IP」の

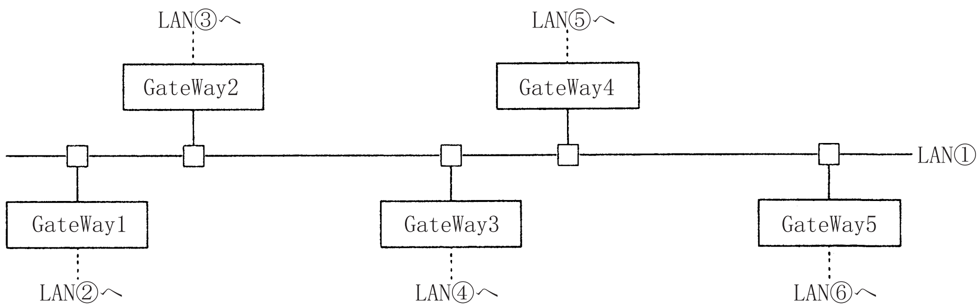
みが設定可能です．
上位装置側の設定は，上位装置に組み込むソフトウェア（PrintWalker/PM）の設定を行う必要があります．
これらソフトウェアの設定については，以下のマニュアルを参照願います．
・WindowsNT4.0/2000/Server2003 サーバ（PrintWalker/PM）
：添付の CD-ROM の README.TXT

⑺ Linux をホストとして運用する場合：項番⑯のケース

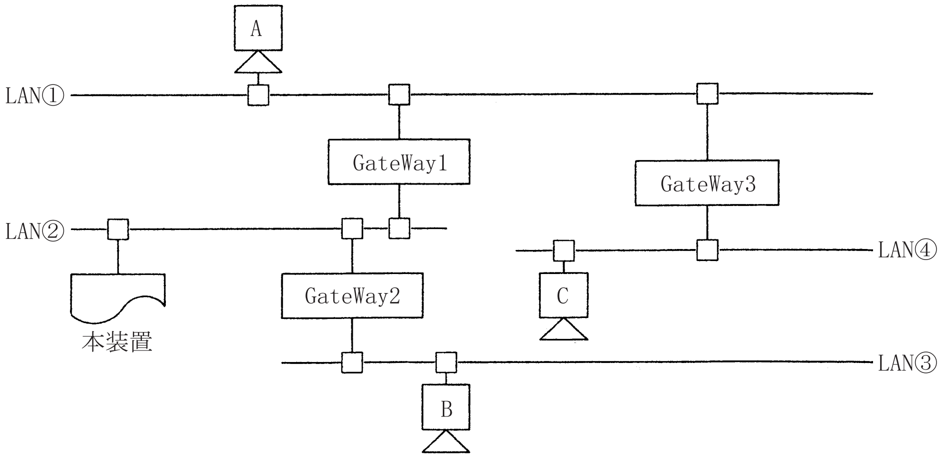
⑺-1　本装置側の設定（サポートサーバの設定）
⑷-1 の設定と同様です．

⑺-2　上位装置側の設定
上位装置には，Linux が接続できます．
Linux 接続では，プロトコルは「TCP/IP」のみが設定可能です．
上位装置側の設定は，上位装置に組み込むソフトウェア（PrintWalker/LXE）の設定を行う必要があります．
これらソフトウェアの設定については，以下のマニュアルを参照願います．
・Linux サーバ（PrintWalker/LXE）
：添付の CD-ROM の README.TXT

3.4.3　ゲートウェイについての補足



LAN①に接続されている装置が，LAN①に接続されている（同一 LAN 上）その他の装置と，LAN 通信を行う場合は，ゲートウェイは必要ありませんが，他の LAN（LAN②～⑥）の装置と通信を行う場合には，ゲートウェイが必要となります．
本装置では，最大５つまでのゲートウェイをサポートしています．
本装置のセットアップでは，ゲートウェイの設定と，デフォルトルータの設定があり，ゲートウェイ設定は４つまで，デフォルトルータ設定は１つとなります．
また，ゲートウェイ設定には，宛先アドレスとゲートウェイアドレスの設定があります．
“ゲートウェイアドレス 1～4”と“デフォルトルータ設定”について説明します．



(1) 本装置がLAN②上の装置と通信を行う場合には，ゲートウェイの設定は必要ありません.

(2) 本装置がホストＡと通信を行う場合，本装置のゲートウェイアドレスの設定は以下のようになります.
・宛先アドレス　　　　：ホストＡの接続されているネットワークアドレスを設定します.
・ゲートウェイアドレス：GateWay1 のアドレス（IP アドレス）を設定します.

(3) 本装置がホストＢと通信を行う場合，本装置のゲートウェイアドレスの設定は以下のようになります.
・宛先アドレス　　　　：ホストＢの接続されているネットワークアドレスを設定します.
・ゲートウェイアドレス：GateWay2 のアドレス（IP アドレス）を設定します.

⑷ 本装置がホスト C と通信を行う場合，本装置のゲートウェイアドレスの設定は以下のようになります．

・宛先アドレス　　　　：ホスト C の接続されているネットワークアドレスを設定します．
・ゲートウェイアドレス：GateWay1 のアドレス（IP アドレス）を設定します．

⑸ デフォルトルータは，仮に装置に上記⑴～⑷のような設定がなされていた場合に，設定してあるゲートウェイ先ネットワークアドレスのどれにもあてはまらないようなデータを処理する場合に使用されるゲートウェイのことです．そのようなデータは，デフォルトルータに設定されているゲートウェイとデータ通信を行うこととなります．
ただ，ここに設定できるアドレスは，本装置の接続されている LAN②に接続されているゲートウェイアドレス（GateWay1 または GateWay2）だけであり，GateWay3 などのアドレスは指定できません．

※ゲートウェイアドレス 1～4 の設定は，本装置と通信を行う相手が接続されているネットワークアドレスと，そのネットワークへの経路となるゲートウェイアドレスが明確になっている場合に設定します．

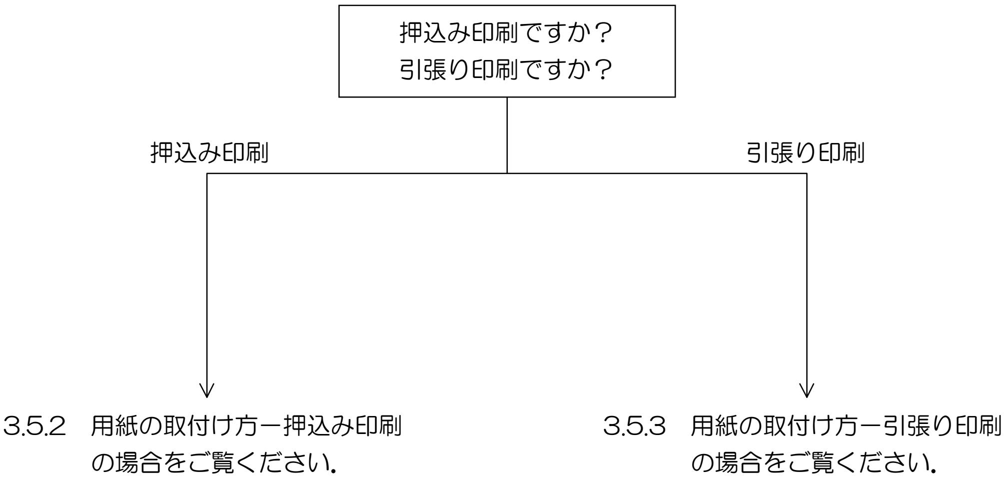
※デフォルトルータは，ゲートウェイアドレス 1～4 に設定されているネットワークアドレスのどれにも該当しないデータを処理する場合に使用されます．
該当なしデータはデフォルトルータに設定されているゲートウェイに対してデータ通信が行われ，そこから対象となるネットワークが発見できればデータ通信を行い，発見できなければ，そのデータは破棄されます．
また，本装置の接続されているネットワークに，ゲートウェイが 1 つしか接続されていなかった場合，デフォルトルータにそのゲートウェイアドレスを設定しておくことで，特にゲートウェイアドレス 1～4 を設定しなくても，他の複数ネットワークと通信を行うことができます．
（例：前ページの接続にて，本装置の接続されているLAN②にGateWay1 しかなかった場合，デフォルトルータに GateWay1 のアドレスを設定することによって，ゲートウェイアドレス 1～4 を設定しなくてもホスト A やホスト C と通信を行うことができます．）

3.5　印刷時の操作

3.5.1　用紙の取付け方の前に

押込み印刷をする場合と引張り印刷をする場合では，用紙の取付け方や，取外し方が異なります．

⇨　1.2 プリンタの特長



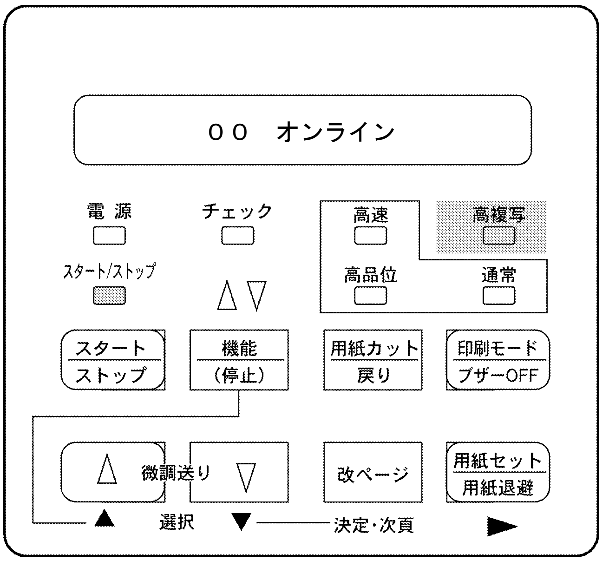
押込み印刷と引張り印刷の切替えについては「3.5.8，3.5.9 押込み印刷・引張り印刷の切替え」を参照してください．

用紙セットにでてくる用語集

「用紙の取付け方」と「用紙の取外し方」にでてくる用語を簡単に説明します．

“スタート／ストップ”ランプ

操作パネルにあるランプです.このランプが点灯しているときは，プリンタ装置は本体からのデータを受信し，印刷することができます．この状態を「オンライン状態」といいます．用紙の取付けなど，プリンタ装置だけを操作したいときは，【スタート／ストップ】スイッチを操作し，必ず消しておきます．この状態を「オフライン状態」といいます．

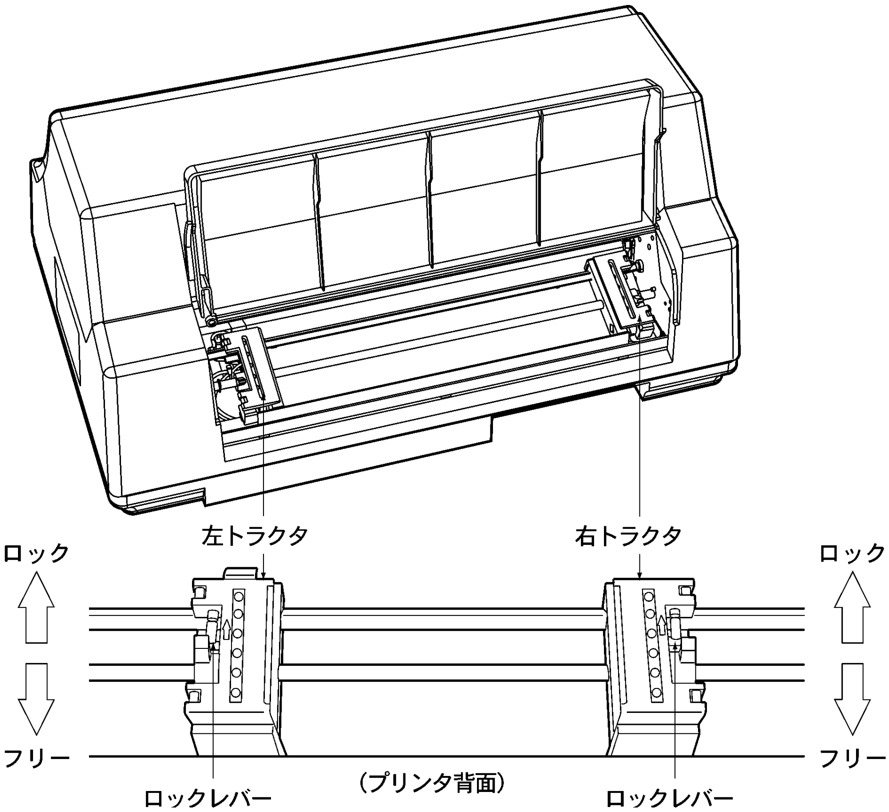


トラクタ

プリンタ背面にあり，連帳用紙の左右端をはさみ，正しい紙送りをするための部品です．

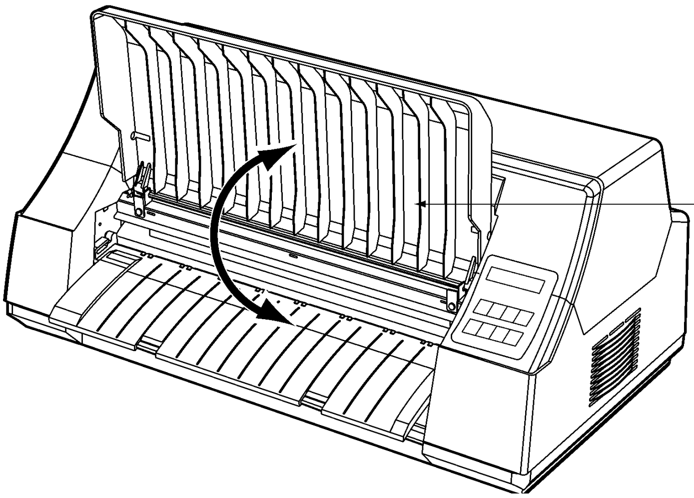
ロックレバー

トラクタについている小さなレバーです．プリンタ背面側に倒すと「フリー状態」になり，トラクタを左右に動かすことができます．プリンタ前面側に倒すと「ロック状態」になり，トラクタが固定されます．印刷するときは必ず「ロック状態」にしておきます。



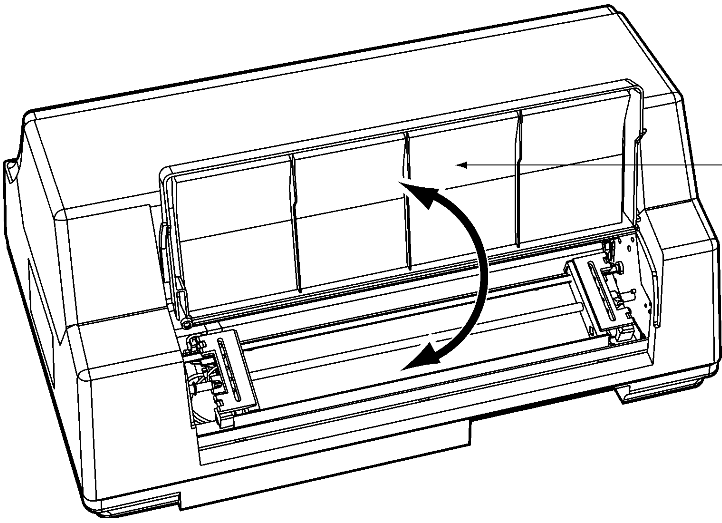
フロントカバー

プリンタ前面にあり，プリンタ前面の印字音を遮断するためのカバーです．用紙のミシン目カットができるように，上方に回転できるようになっています．



トラクタカバー

プリンタ背面にあり，プリンタ背面の印字音を遮断するためのカバーです．用紙が取付けやすいように上方に回転できるようになっています．

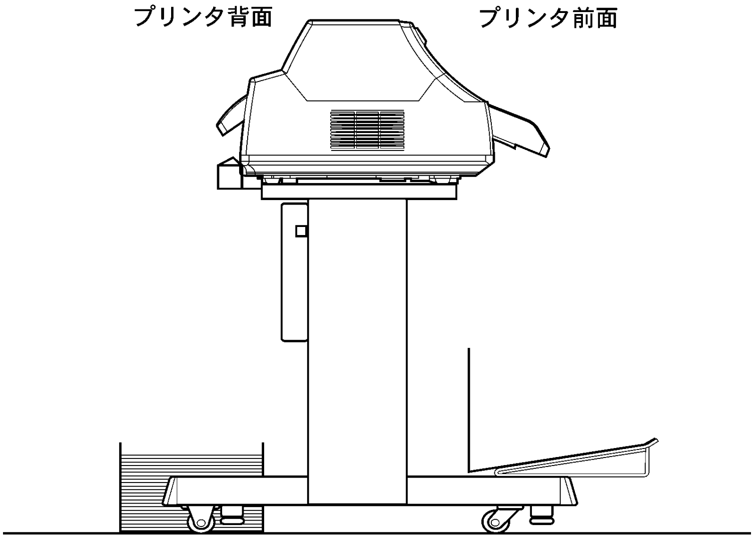


印刷位置

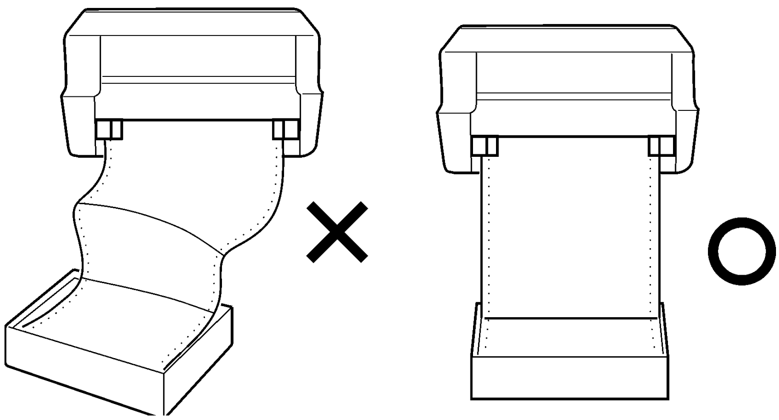
用紙を取付けた後，第 1 文字目が印刷される位置をいいます．印刷位置が正しく設定されない場合，ページをはみ出したり，用紙幅を越えて印刷されることがあります．

3.5.2　用紙の取付け方－押込み印刷の場合

1)　用紙箱をプリンタ背面に置きます．

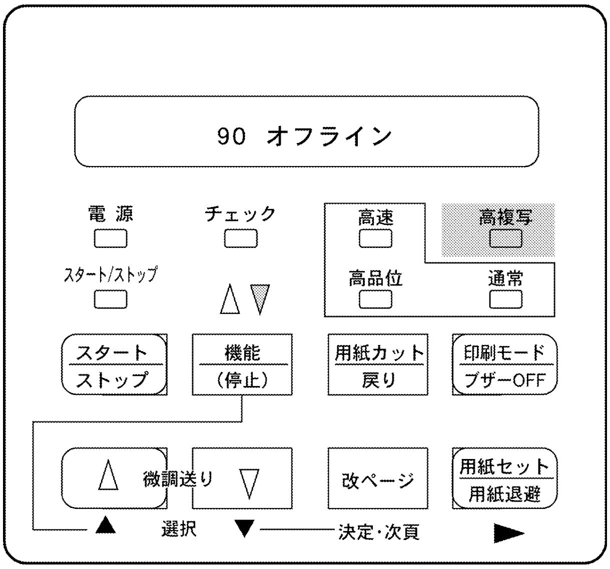


（注意）印刷用紙は用紙取付け位置に対しまっすぐに置いてください．

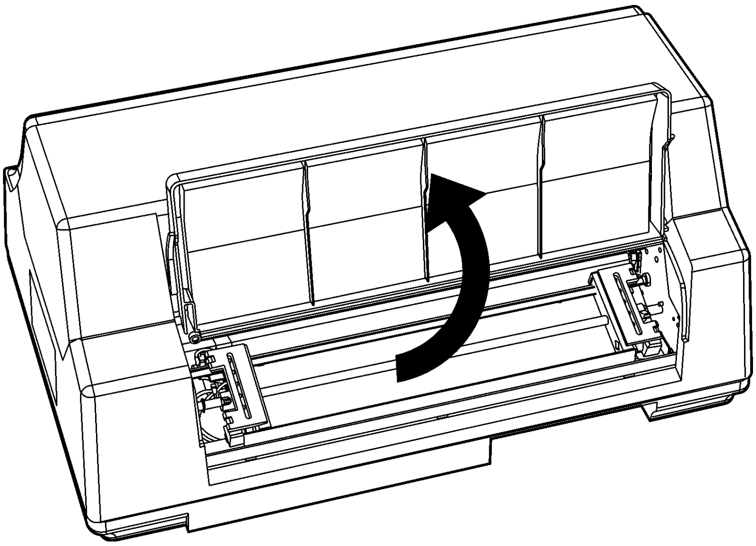


2) 操作パネルの“スタート／ストップ”ランプが消灯していることを，確認します.
（点灯しているときは，【スタート／ストップ】スイッチを押して消してください.）

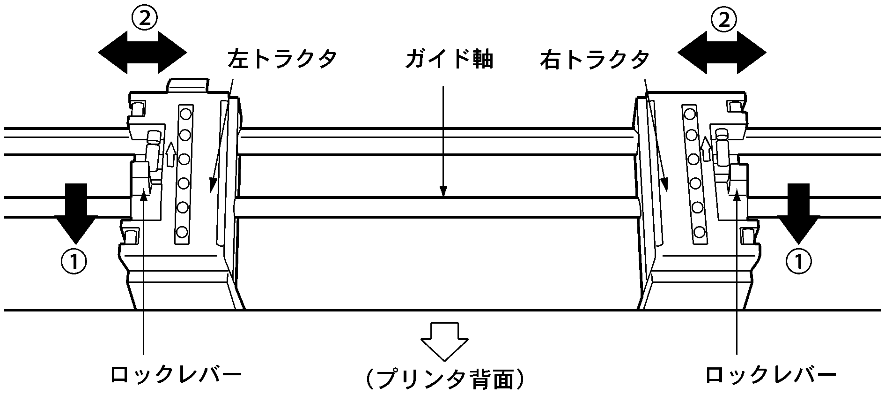
3) 操作パネルの“△”ランプが消灯し，“▽”ランプが点灯していることを確認します.
“△”ランプが点灯している時は，引張り印刷モードになっているため，印刷設定で押込み印刷モードに変更してください.
⇨　3.5.9 押込み印刷・引張り印刷の切替え



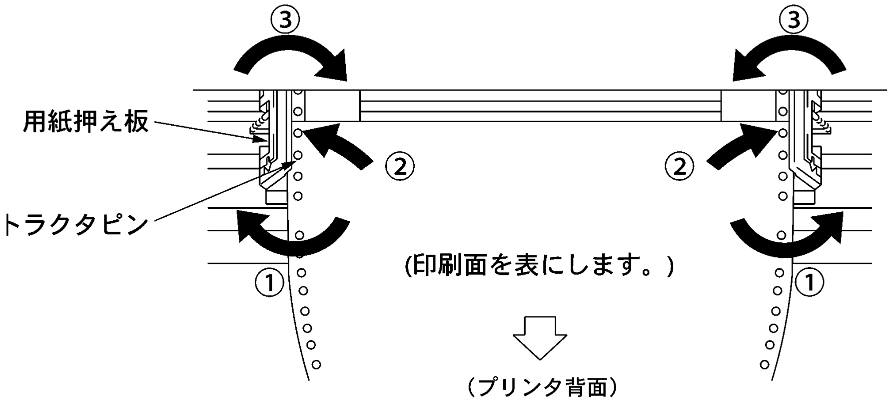
4) トラクタカバーを上方に回転させます.



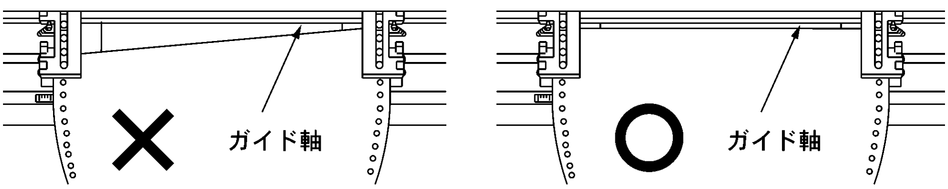
5) 左右のトラクタのロックレバーを手前に倒してフリーにし（①），トラクタを用紙の幅に合うように移動します（②）．（本説明はプリンタ背面から見たときを基準として記載されています．）



6) 左右のトラクタの用紙押え板を開き（①），トラクタピンと用紙の穴を合わせ（②），用紙押え板を閉じます（③）．

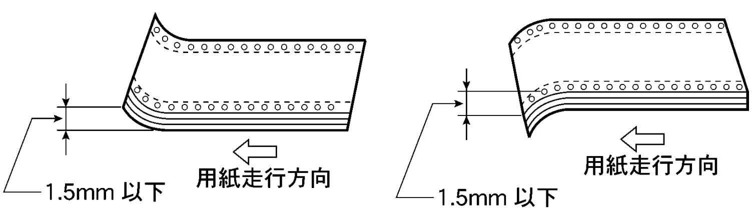


（注意）　・用紙はガイド軸に対し，平行に取り付けてください．

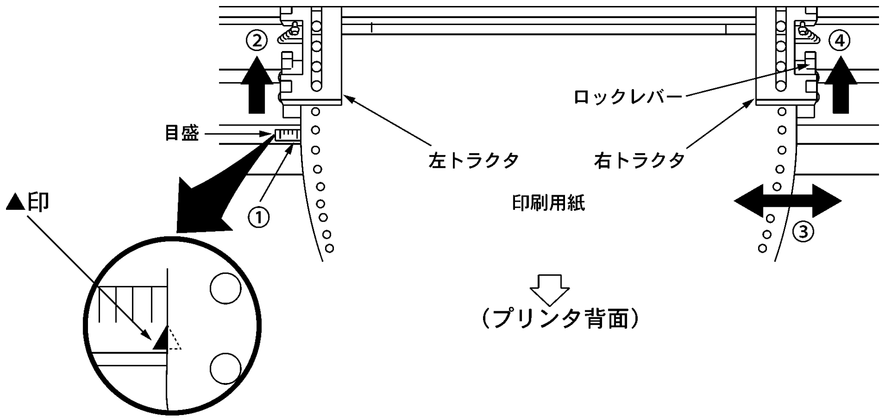


・用紙押え板はバネになっているので手をはさまないようにしてください．

・用紙先端にカールや折れ曲がりがある場合は，用紙がうまく送り込まれない場合がありますので，用紙をまっすぐにしてから使用してください．



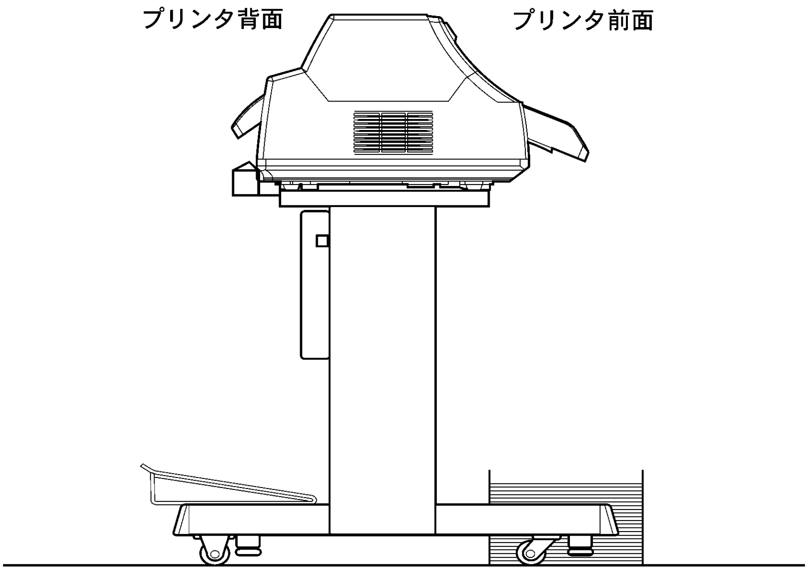
7) 左トラクタは用紙左端を目盛りの▲印に合わせ（①），ロックレバーを奥に倒し，トラクタを固定します（②）．右トラクタは用紙が軽く張るような位置に合わせ（③），ロックレバーを奥に倒し，トラクタを固定します（④）．（本説明はプリンタ背面から見たときを基準として記載されています．）



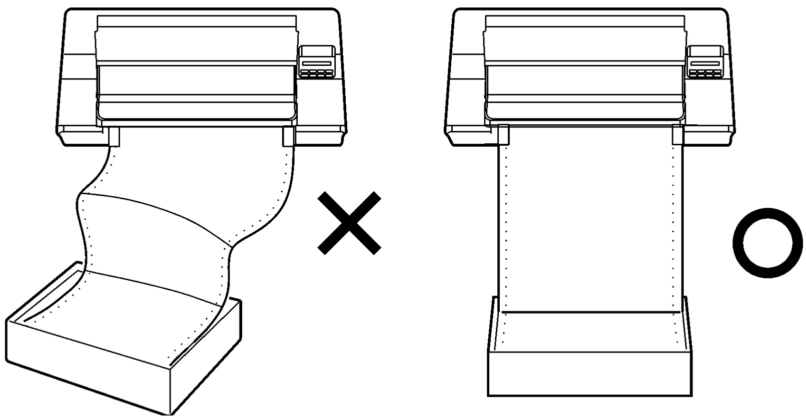
8) トラクタカバーを元に戻します．
9) 【用紙セット／用紙退避】スイッチを押します．
用紙が自動的に装置内に送りこまれストップ状態となります．
10) 【スタート／ストップ】スイッチを押します．
操作パネルの“スタート／ストップ”ランプが点灯したら用紙セット完了です．

3.5.3　用紙の取付け方－引張り印刷の場合

1） 用紙箱をプリンタ前面に置きます．

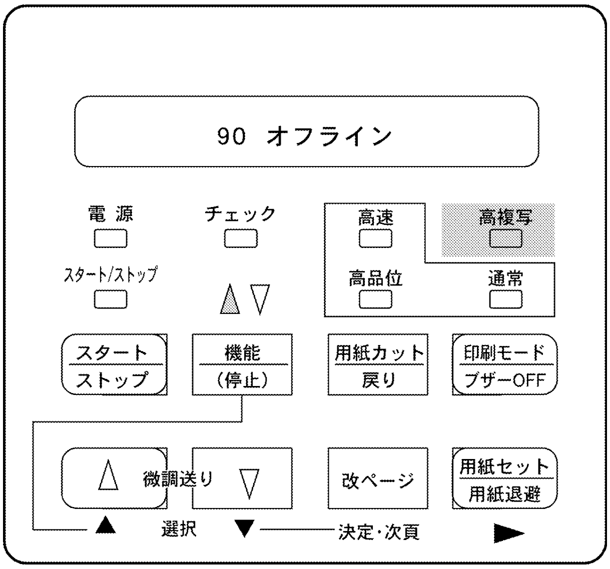


（注意）印刷用紙は用紙取付け位置に対しまっすぐに置いてください．

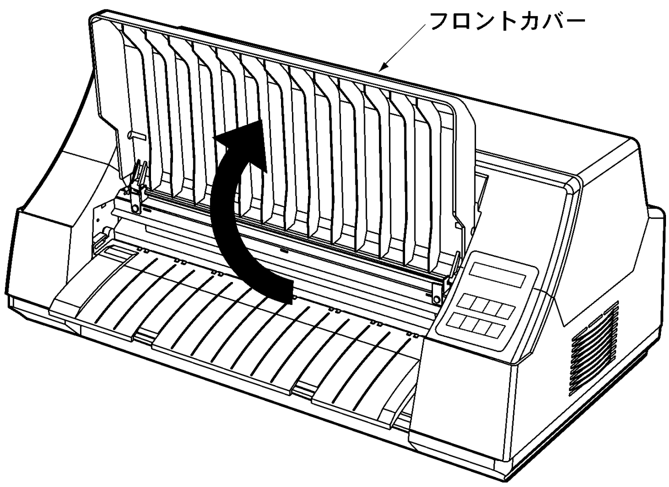


2) 操作パネルの“スタート／ストップ”ランプが消灯していることを，確認します．
（点灯しているときは，【スタート／ストップ】スイッチを押して消します．）

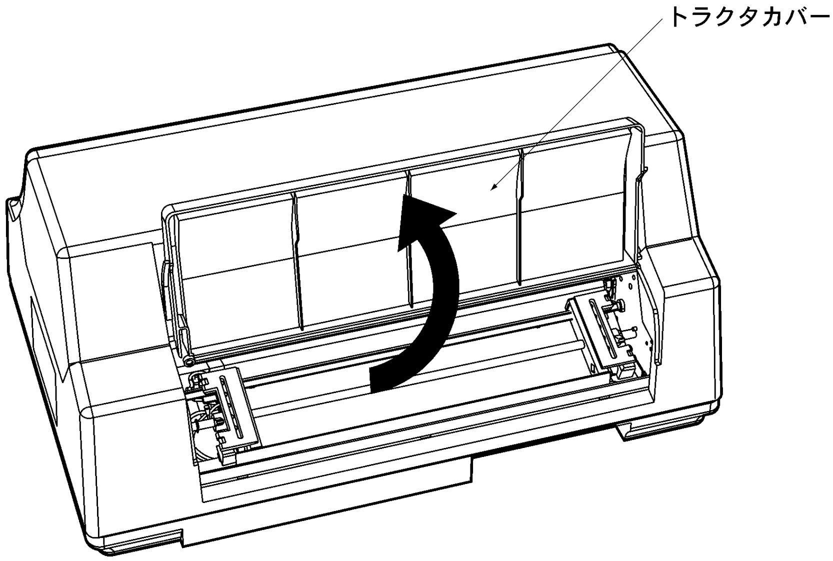
3) 操作パネルの“▽”ランプが消灯し，“△”ランプが点灯していることを確認します．
“▽”ランプが点灯している時は，押込み印刷モードになっているため，印刷設定にて引張り印刷モードに変更してください．
⇨　3.5.8 押込み印刷・引張り印刷の切替え



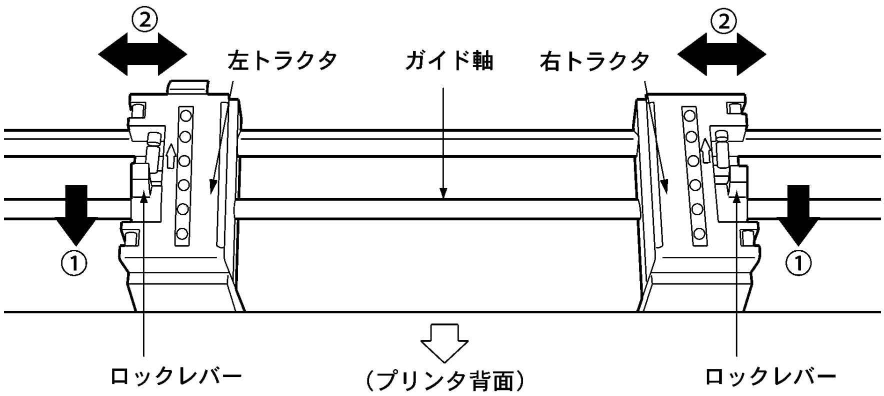
4) フロントカバーを上方に回転させます．



5)　トラクタカバーを上方に回転させます.

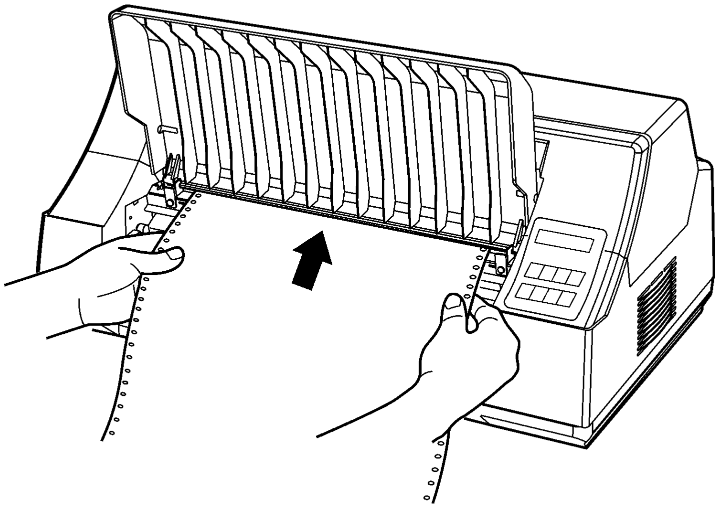


6)　左右のトラクタのロックレバーを手前に倒してフリーにし(①),トラクタを用紙の幅に合うように移動します(②).(本説明はプリンタ背面から見たときを基準として記載されています.)

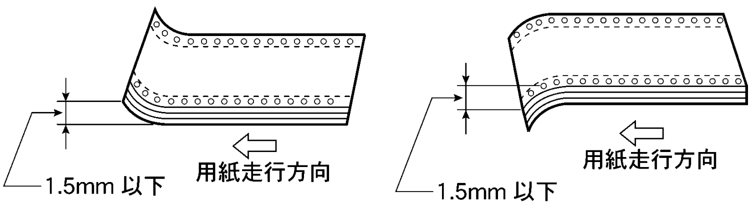


7)　【用紙セット／用紙退避】スイッチを押します.
(プリンタ装置内の用紙通路が開きます.】

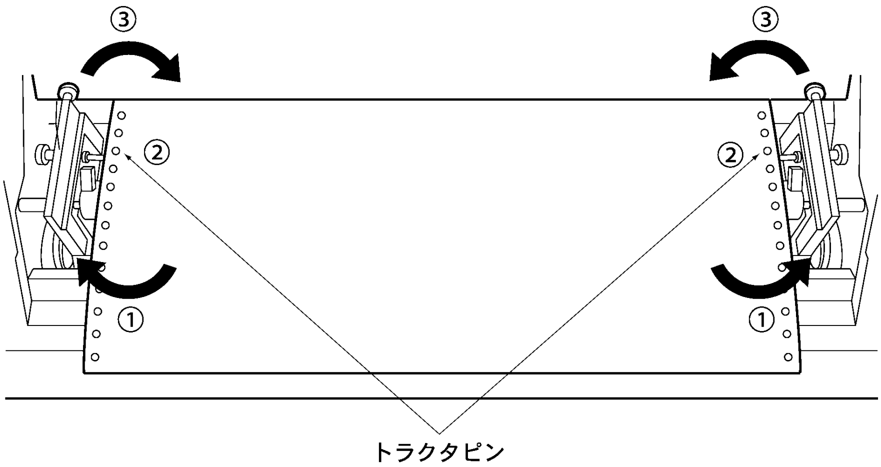
8) 用紙を下のガイドの上から水平に奥へ押し込みます．



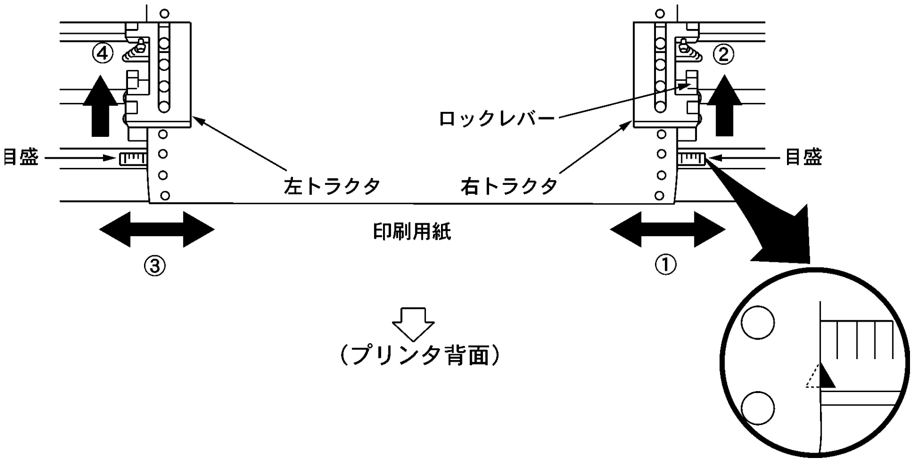
（注意）用紙先端にカールや折れ曲がりがある場合，または用紙を下のガイドになぞらせて挿入した場合は，用紙がうまく挿入されない場合があります．
用紙先端にカールや折れ曲がりがある場合は用紙をまっすぐにしてから使用してください．



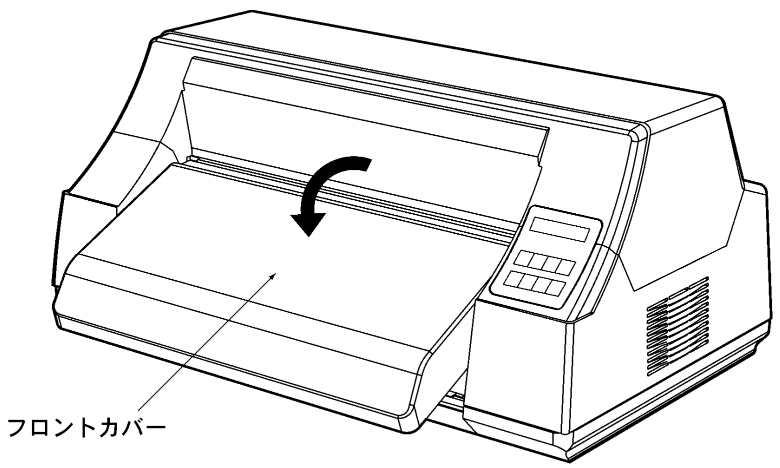
9) 左右のトラクタの用紙押え板を開き（①），用紙先端をつまんで引き出しトラクタピンと用紙の穴を合わせて（②），用紙押え板を閉じます．（③）．



10) 右トラクタは用紙右端を目盛りの▲印に合わせ（①），ロックレバーを奥に倒し，トラクタを固定します（②）．左トラクタは用紙が軽く張るような位置に合わせ（③），ロックレバーを奥に倒し，トラクタを固定します（④）．（本説明はプリンタ背面から見たときを基準として記載されています．）



11) 用紙の印字位置を合わせます．
⇨ 3.5.5 用紙の印刷位置合わせ－引張り印刷の場合
12) フロントカバーおよびトラクタカバーを元に戻します．

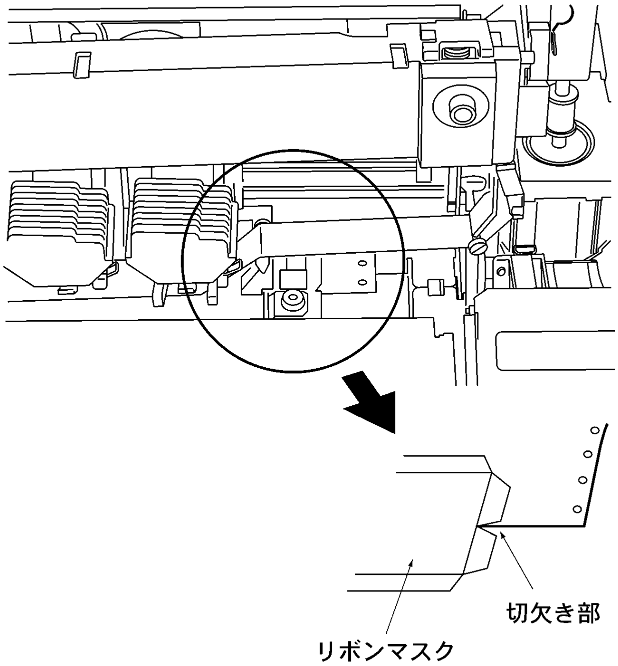


13) 【スタート／ストップ】スイッチを押します．
操作パネルの“スタート／ストップ”ランプが点灯したら用紙セット完了です．

3.5.4　用紙の印刷位置合わせー押込み印刷の場合

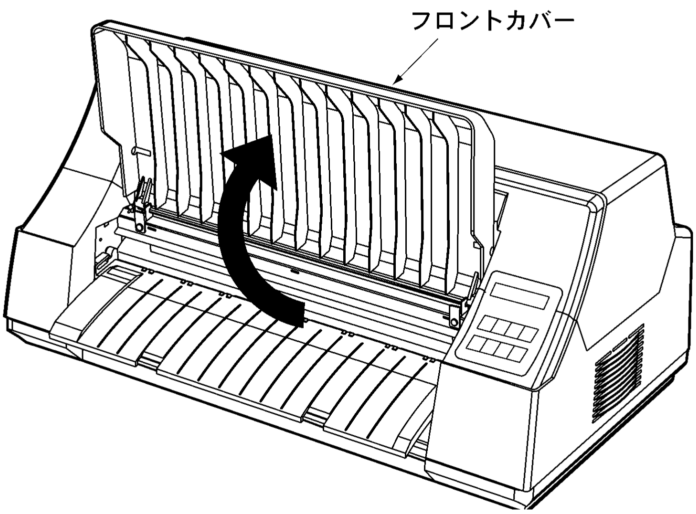
用紙セットしたときに自動的に位置合わせを行いますが，印刷位置を変更する場合は，セットアップモード「ロードイチ」を変更してください．（「ロードイチ」は用紙上端から第一印字行の文字中心までの距離です．）

印刷位置はトップカバーを開け，リボンマスクの右側の切欠き部を目安にしてください．

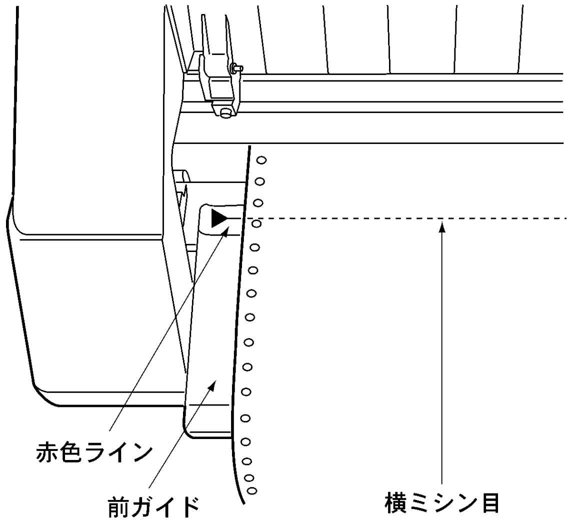


3.5.5　用紙の印刷位置合わせー引張り印刷の場合

1）フロントカバーを開けます．



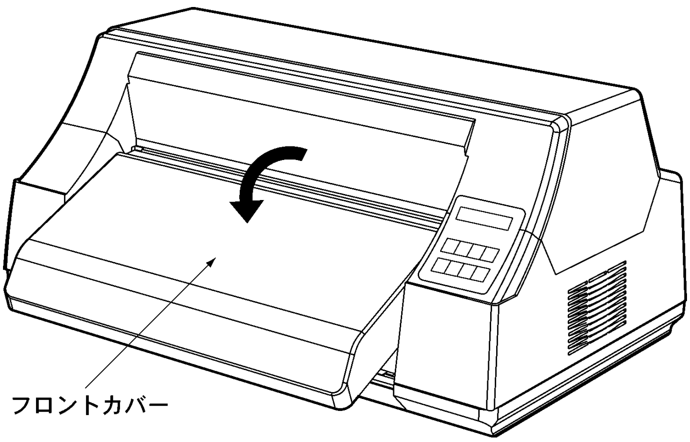
2) 操作パネルの“スタート／ストップ”ランプが消えていることを確認します．【▽微調送り】，【△微調送り】スイッチを押して，用紙の横ミシン目を前ガイド左側の赤色ラインに合わせます．



（注意）
・【▽微調送り】を押すと用紙を 1／120 インチ前面方向（手前）へ，【△微調送り】を押すと用紙を 1／120 インチ背面方向へ微調整ができます．それぞれ押し続けると，連続して進みます．
・行合わせのときは，用紙を多めに前面方向（手前）へ戻してから，少しずつ背面方向に送りながら合わせてください．前面方向へ戻しながら合わせると用紙がたるみ，正しく位置合わせできない場合があります．

3) 【用紙セット／用紙退避】スイッチを押します．
用紙は自動的に印字開始位置まで送られます．

4) フロントカバーを閉じます．

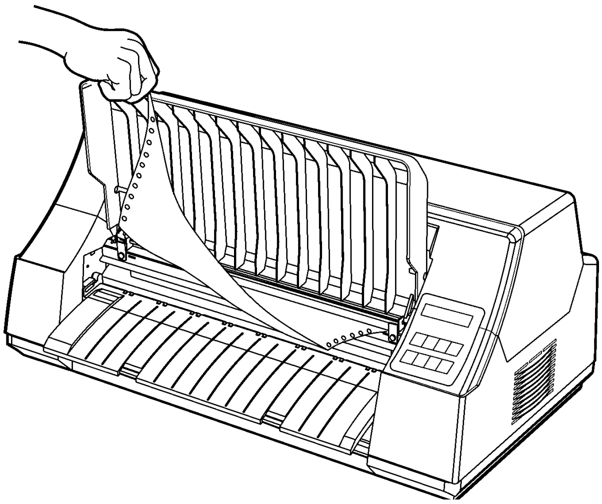


3.5.6　用紙の取外し方ー押込み印刷の場合

〈用紙カット方法〉（“スタート／ストップ”ランプが消えているときに使用できます．）

用紙を切るとき，「用紙カット機能」を使うことができます．「用紙カット機能」を使うと用紙を切り取ったあと，スイッチ１つで自動的に用紙が印刷位置まで戻り，用紙がムダになりません．

1）操作パネルの“スタート／ストップ”ランプが消えていることを確認します．
　点灯しているときは【スタート／ストップ】スイッチを押して消してください．
2）【用紙カット】スイッチを押します．
　用紙カット位置まで送られます．
3）フロントカバーを上方に回転させ，ミシン目で用紙をめくるようにカットします．

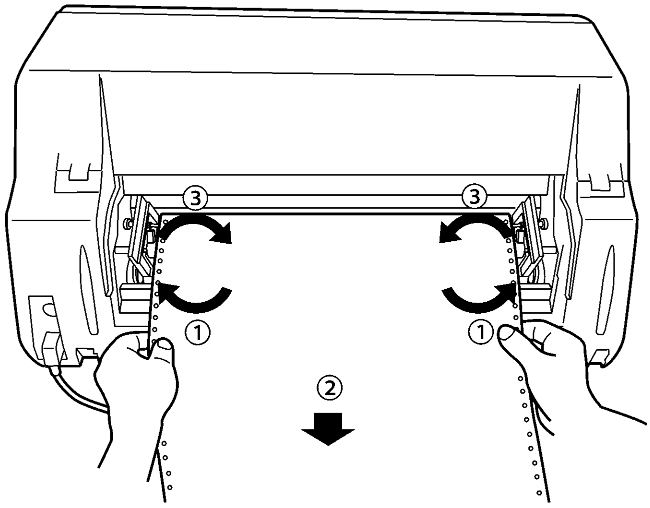


4）【用紙セット】スイッチを押します．
　用紙が用紙セット位置に戻ります．

用紙を取り外すには，用紙カットを行ったあとで次の5)～9)の操作を行ってください．

5）操作パネルの“スタート／ストップ”ランプが消灯していることを確認します．
　点灯しているときは，【スタート／ストップ】スイッチを押して消してください．
6）【用紙セット／用紙退避】スイッチを押します．
　用紙が後退します．
7）トラクタカバーを上方に回転させます．

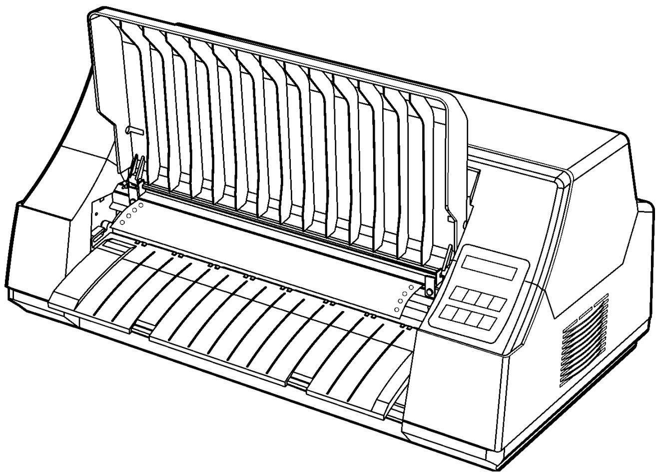
8) 左右のトラクタの用紙押え板を開き（①），用紙を取り外し（②），用紙押え板を閉じます（③）．



9) トラクタカバーを元に戻します．

3.5.7　用紙の取外し方－引張り印刷の場合

1) 操作パネルの“スタート／ストップ”ランプが消灯していることを確認します．
   点灯しているときは【スタート／ストップ】スイッチを押して消してください．
2) フロントカバーを上方に回転させます．
3) 用紙を手前のミシン目で切ります．



4) 【改ページ】スイッチを押して用紙をプリンタ背面へ送り，トラクタより取外します．
5) フロントカバーを元に戻します．

3.5.8　押込み印刷・引張り印刷の切替えー押込み→引張り

1)　操作パネルの“スタート／ストップ”ランプが消灯していることを確認します．
　　点灯しているときは，【スタート／ストップ】スイッチを押して消してください．
2)　用紙カットを行った後，【用紙セット／用紙退避】スイッチを押して，用紙を退避させます．
3)　【機能】スイッチにより用紙搬送方向を“ヒッパリ”に切り替えます．
　　“▽”ランプが消灯して，“△”ランプが点灯します．

90　オフライン

↓　【機能】スイッチを押して下さい．

ヒダリマージン：01

↓　【改ページ】スイッチを 7 回押して下さい．

ヨウシオクリ：オシコミ

↓　【微調送り△／▽】スイッチで“ヒッパリ”に切り替えます．
　（搬送方向を切り替えます）

ヨウシオクリ：ヒッパリ

↓　【機能】スイッチを押して下さい．

90　オフライン

3.5.9　押込み印刷・引張り印刷の切替えー引張り→押込み

1) 操作パネルの“スタート／ストップ”ランプが消灯していることを確認します．
点灯しているときは，【スタート／ストップ】スイッチを押して消してください．

2) 引張り印刷していた用紙を取り外します．
⇨　3.5.7 用紙の取外し方

3) 印刷設定により用紙搬送方向を“オシコミ”に変更します．
“△”ランプが消灯して，“▽”ランプが点灯します．

90　オフライン

↓　【機能】スイッチを押して下さい．

ヒダリマージン：01

↓　【改ページ】スイッチを 7 回押して下さい．

ヨウシオクリ：ヒッパリ

↓　【微調送り△／▽】スイッチで“オシコミ”に切り替えます．

ヨウシオクリ：オシコミ

↓　【機能】スイッチを押して下さい．

90　オフライン

第 4 章　消耗品の交換

本章では，リボンカセットおよびサブカセットの交換について説明します．

4.1　リボンカセットとインクリボンについて

印刷がうすくなったら，インクリボンの取り替え時期です．インクリボンを取り替えるには，二つの方法があります．

1）リボンカセットの交換
⇨4.2 リボンカセットの交換

2）インクリボンの交換
⇨4.3 インクリボン（サブカセット）の交換

（注意）リボンカセットおよびサブカセットは必ず純正品をご使用ください．純正品以外のものをご使用になりますと，リボンがうまく動かなかったり，印字品質不良，印字ヘッドの寿命が短くなるなどの障害となります．
リボンカセットは富士通コワーコ株式会社で扱っている下表のものをご使用ください．

品　名	商品番号	備　考
リボンカセット EX1（L）	0325850	インクリボン寿命
サブカセット EX1（L）	0325860	1200 万文字（英数カナドラフト文字換算）

4.2　リボンカセットの交換

1）電源を切ります.

2）トップカバーを開きます.

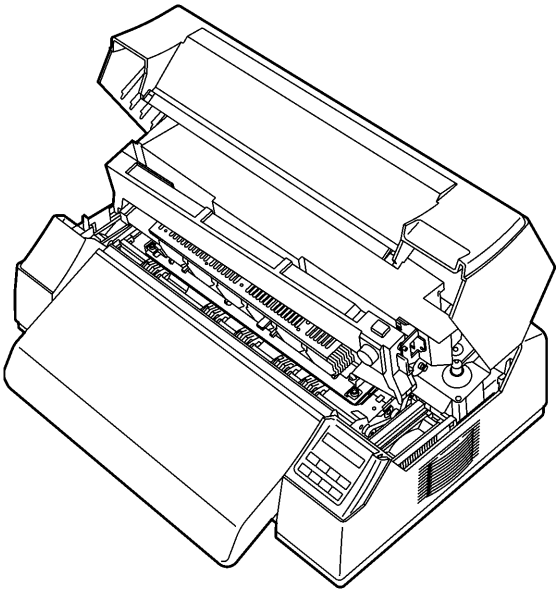
▲ 注意

一般的注意

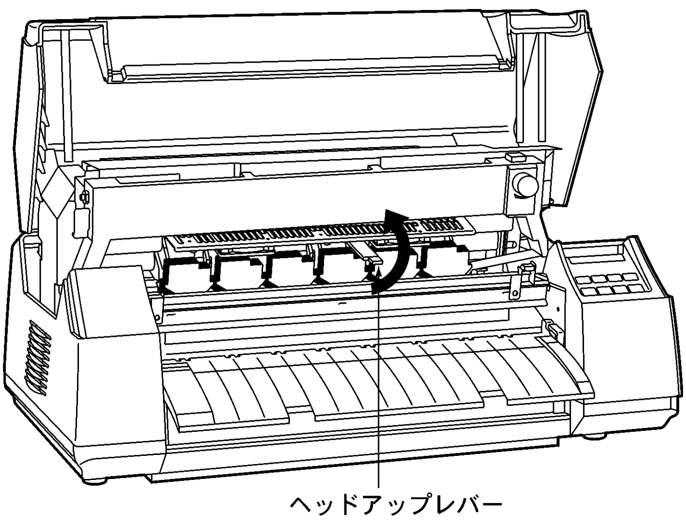
・使用中にトップカバーを開けて指などを入れないでください.
また，手指を挟むとけがをするおそれがあります.

高温注意

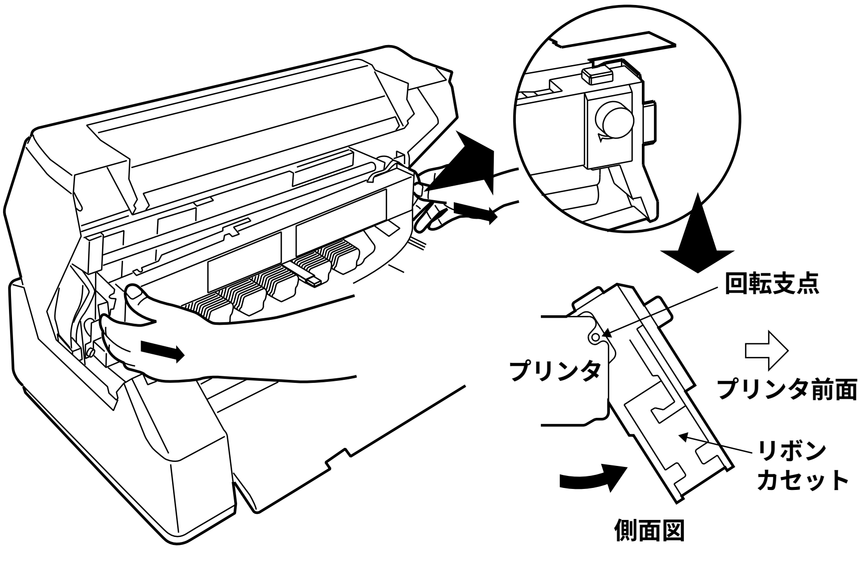
・印字ヘッドや金属部に触れないでください. 高温になっていて火傷のおそれがあります.



3)　ヘッドアップレバーを持ち上げます．



4)　リボンカセットの左右端を手前に回転するように引いて，カセットを取り外します．

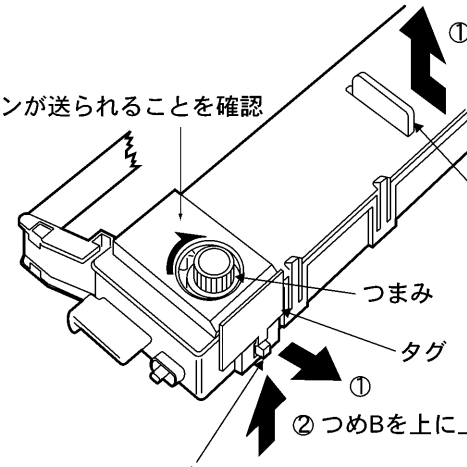


5)　新しいリボンカセットを準備します.

①　新しいリボンカセットの中には，輸送時にリボンが乱れないよう，輸送用タブとタグが入っています．使用する前に，輸送用タブとタグを矢印方向に抜き取ります.

②　つめ B を矢印方向に動かしてロックを外します.

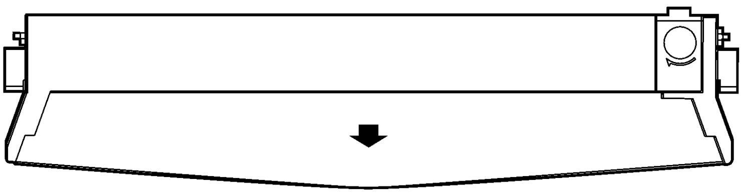
③　リボンカセットのつまみを矢印方向に回して，リボンが送られることを確認してください.



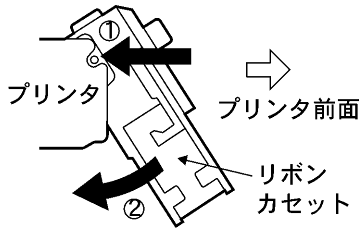
（注意）・輸送用タブを取り外した後は，リボンが乱れないよう丁寧に取り扱ってください.

・リボンカセットのつまみを矢印と反対方向に回さないでください.

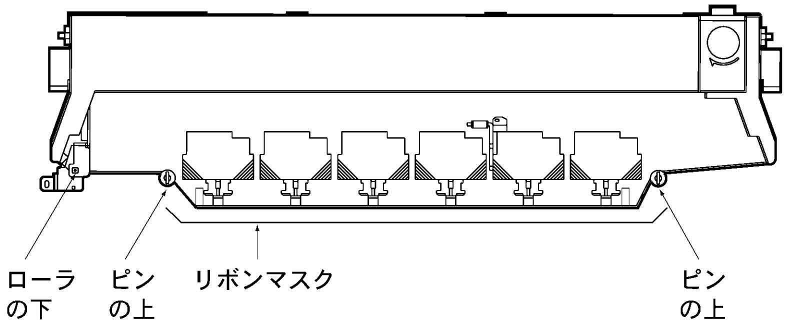
6)　リボンカセットを取り付けやすくするためにリボンを少したるませます.



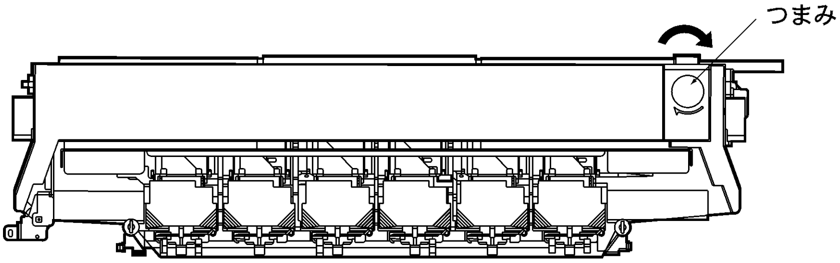
7) リボンカセットの両側の突起をフレームの溝に入れ（1），そこを支点にしてカチッと音がするまで後方へ押し込んで取り付けます（2）．



8) リボンを図のルートのように通します．

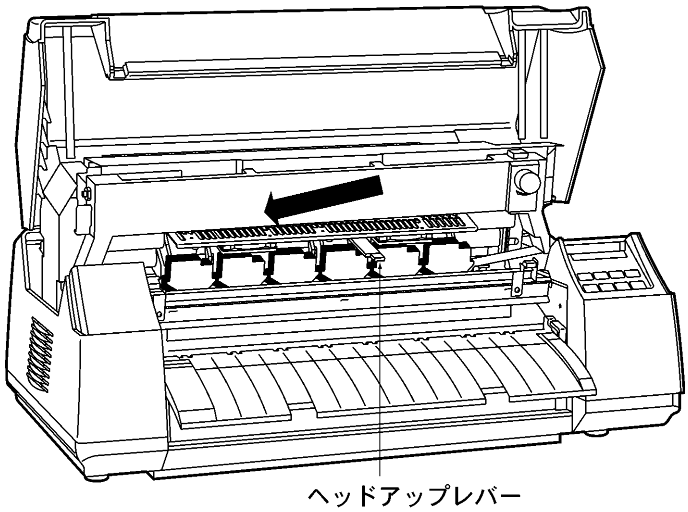


9) リボンカセットのつまみを矢印（時計）方向に回してリボンのたるみをとってください．



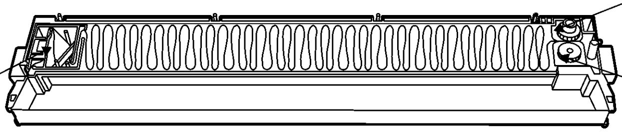
（注意）リボンカセットのつまみを矢印と反対方向に回さないでください．
リボンカセットおよびプリンタの故障の原因になります．

10) ヘッドアップレバーを左下へ動かすと，印字ヘッドのアップ状態が解除されます.



11) トップカバーを閉じます.

4.3 インクリボン（サブカセット）の交換

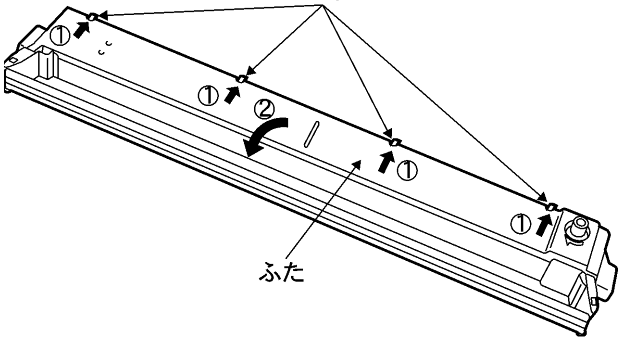


（リボンカセットのふたを外した状態）

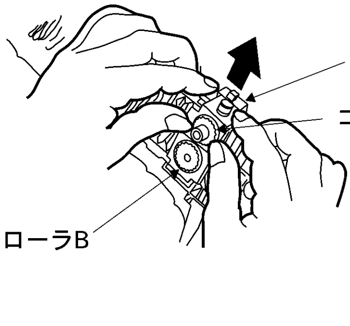
1) 電源を切ります.

2) リボンカセットを取り外します.
⇨4.2 リボンカセットの交換（操作 2～4）

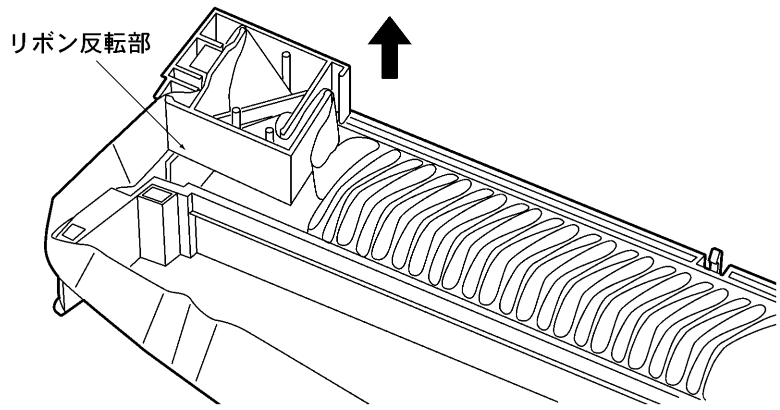
3) リボンカセットのふたを外します.
リボンカセットのつめ A（4 ヶ所）のロックを外し（1），カセットのふたの左右をもって，矢印の方向に引き（2），カセットケースからふたを外します.



4) リボンカセット内のゴムローラ A を「カチッ」というまで押し上げてつめ B をロックさせます.
（ゴムローラ A とゴムローラ B の間に隙間ができます.）

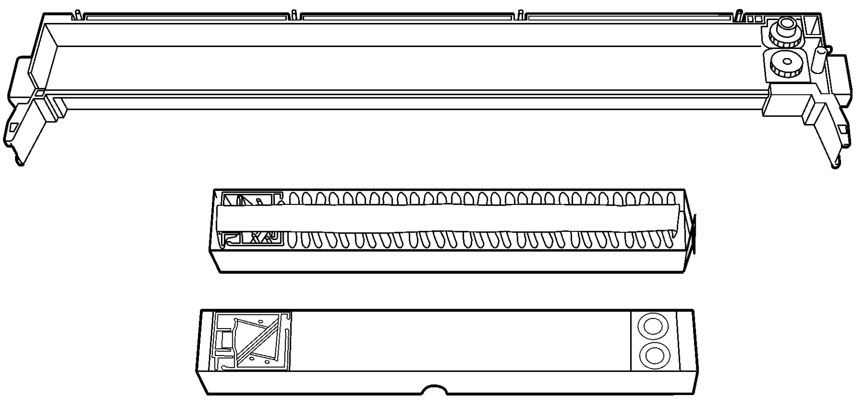


5） リボン反転部を上方に引き抜き，古いインクリボンといっしょに取り出します.



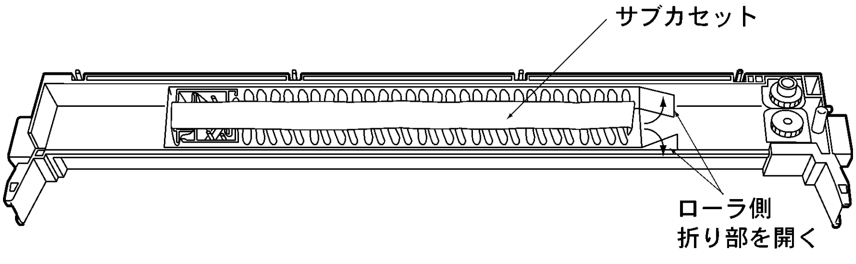
（注意）リボンを取り出すとき，手が汚れますので手袋をご利用ください.

6） サブカセットの上箱を取ります.

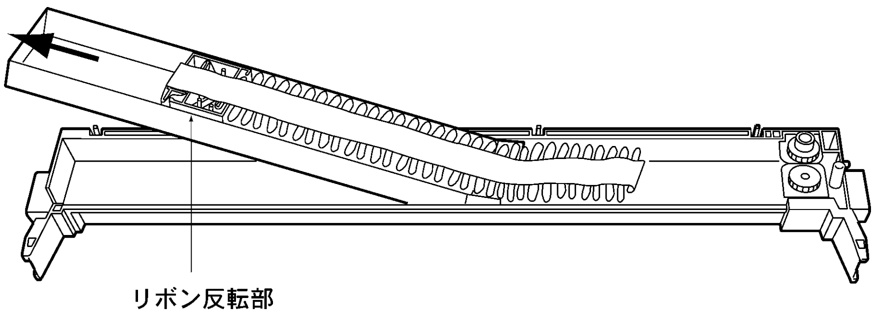


（注意）リボンが飛び出さないように上箱を取った後，下箱を傾けないでください.

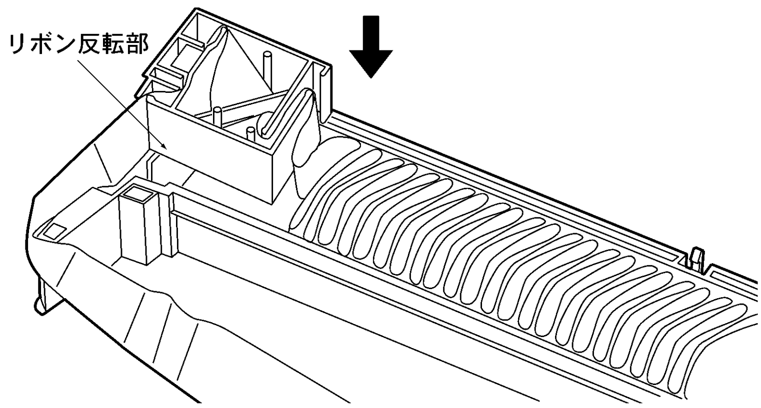
7)　サブカセットをリボンカセット中央に置き，サブカセットのローラ側折り部を開きます．



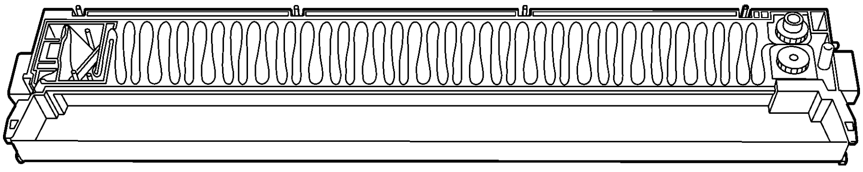
8)　サブカセットのリボン反転部側を持ち上げて，リボンをカセットケース内に流し込みます．
リボンを少し流し込んだ後は，サブカセット下箱をゆっくりと引いて抜き取ります．



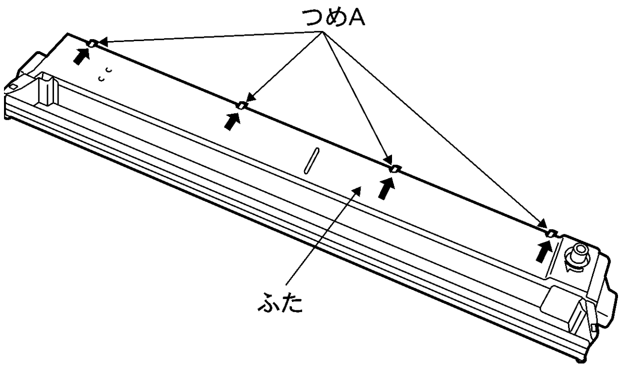
9)　リボン反転部をカセットケース左側収納部にはめ込みます．



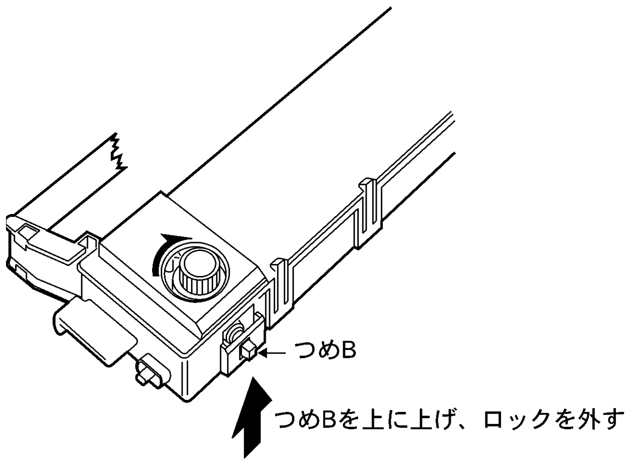
10) リボンカセットにインクリボンを下図のように通します．



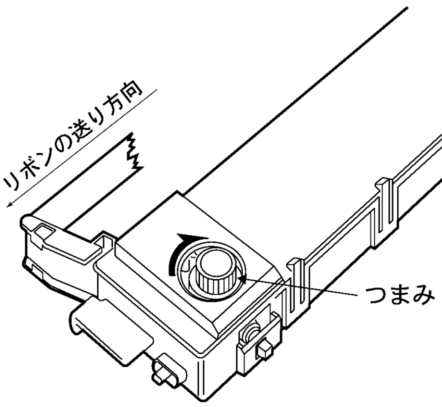
11) リボンカセットのふたをカセットケースに取り付けます．
手前側（リボン側）をはめ込んだ後，つめ A にひっかけます．
（4 つのつめ A がきちんと合っているか確認してください．）



12) つめ B を上に上げ，ロックを外します．

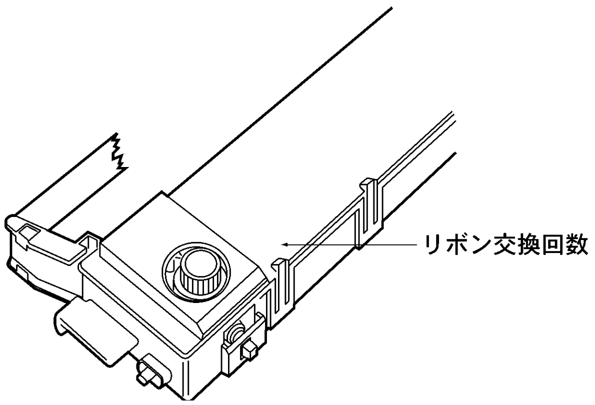


13) カセットのつまみを矢印方向（時計方向）に 2～3 回回転させ，リボンがスムーズに動くことを確認してください．



14) リボンカセットを取り付けます．
⇨4.2 リボンカセットの交換（操作 6～9）

（注意）・サブカセットのセット方向にご注意ください．
・サブカセットは 5 回まで交換できます．それ以上はリボンカセットごと交換してください．
・サブカセットを交換したら，リボンカセットケースの交換回数のところへ「○」を付けてください．



・インクリボンは 2 つ折れにならないように取り扱ってください．
・リボンカセットのつまみを矢印と反対方向に回さないでください．
リボンカセットおよびプリンタの故障の原因となります．

第５章　日常の点検とお手入れ

日常の点検

毎日，使い始めと終わりに，次のことをチェックしてください．

始めの点検

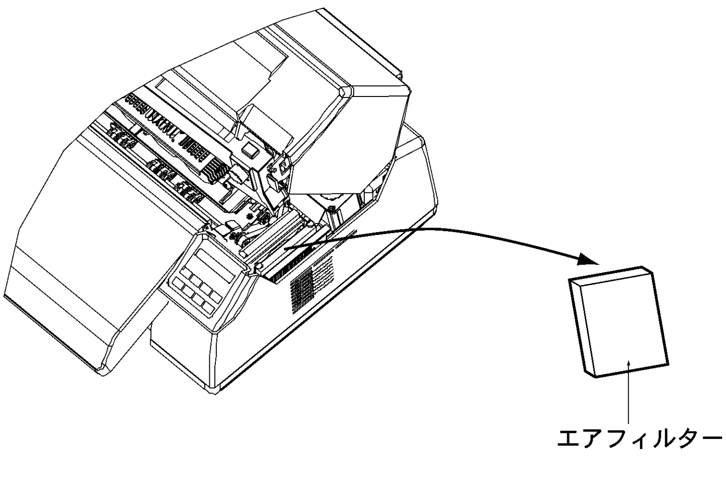
・プリンタの回りは，ちらかっていませんか？
　特に，クリップ，紙くずなどを確かめて，整頓しましょう．

終わりの点検

・プリンタの電源は切りましたか？
　安全のため，できるだけ電源ケーブルのプラグをコンセントから抜いてください．

日常のお手入れ

・トップカバーなどの汚れは，かたくしぼったぞうきんなどをお使いください．
・洗剤は中性洗剤をお使いください．
・シンナーなどは，ご使用にならないでください．
・エアフィルターは，１回／月を目安に掃除機でほこりを吸い取ってください．



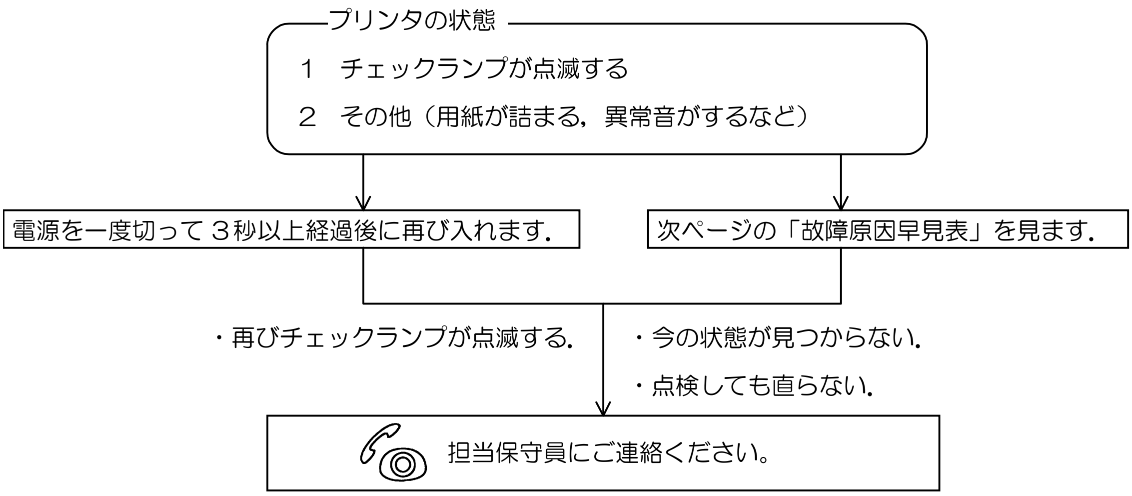
第 6 章　異常発生時の操作

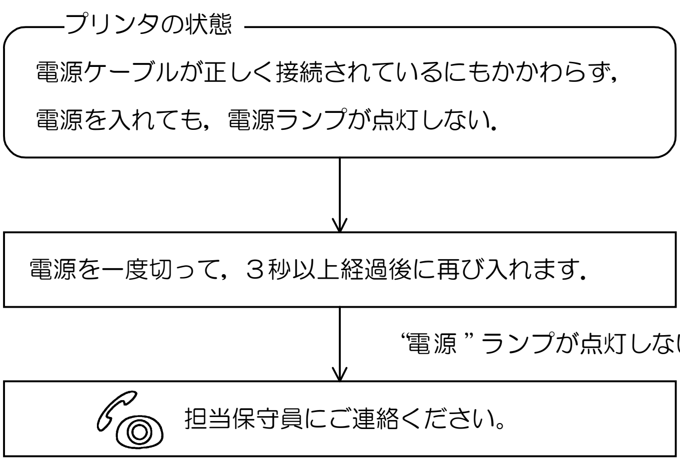
本章では，本装置が故障かなと思ったときの処置および異常メッセージが表示されたときの操作について説明します．

（注意）装置に異常が発生し，操作パネルの液晶ディスプレイに異常メッセージが表示されると，用紙の位置がずれている可能性があります．
異常発生後，オンライン状態にする前に（“オフライン　ヨウシイチ”と表示），必ず印字開始位置の確認をしてください．

6.1　故障かなと思ったときの処置

「プリンタの状態・音・印刷結果がいつもと違っている」というときがあります．
そんなときの対処方法をご説明します．





故障原因早見表

こんなときは ＼ ここをお調べください	電源プラグが抜けている	メインブレーカが落ちている、停電	リボンカセットが正しくセットされていない	用紙が送り穴に正しくセットされていない	用紙の置き場所が正しくない	プリンタの内部にゴミなどの異物が入っている	用紙がつまっている	用紙が規格外である	用紙切れである	用紙が後退している	インクリボンが古い	トップカバーが開いている	印字ヘッドが持ち上がっている	故障
電源が入らない	○	○												
印字がおかしい			○								○			
用紙が汚れる			○					○						
用紙送りがおかしい			○	○	○			○						
異常音がする						○								
“チェック”ランプが点滅する							○		○	○		○	○	○
対策	電源プラグを入れます	メインブレーカを上げます	正しくセットします	正しくセットします	正しくセットします	ゴミを取り出します	用紙を取り除きます	規格内の用紙を使用してください	用紙をセットします	【用紙セット】スイッチを押します	リボンカセットを交換します	トップカバーを閉じます	ヘッドアップレバーを下げます	故障連絡を行います

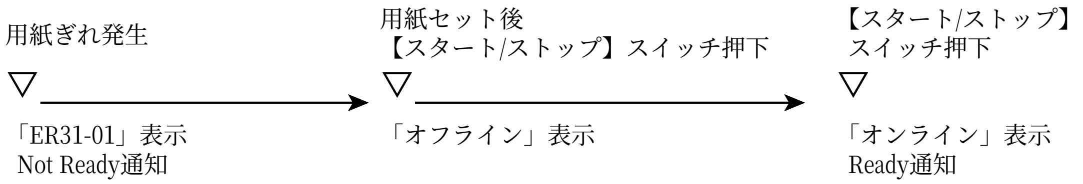
6.2　用紙ぎれ

(1) 表示内容
下記メッセージを表示し，ブザー音を鳴動します．

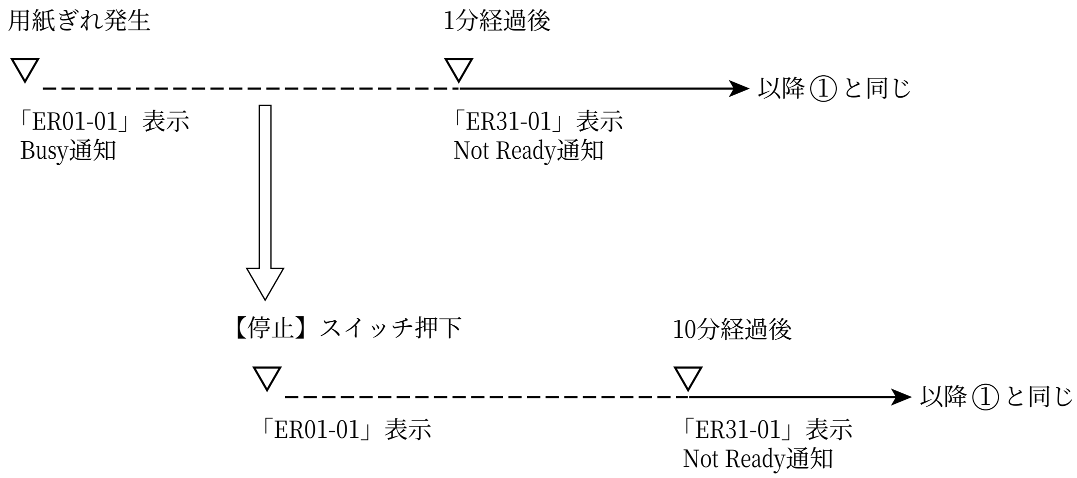
ER01－01：ヨウシギレ	ER31－01：ヨウシギレ

(2) 復旧操作
a)　ブザー音を停止する場合は，【ブザーOFF】スイッチを押下します．
b)　“ER01-01 の場合
　①　【停止】スイッチを押下して，停止状態にします．
　②　新しい用紙を正しくセットします．
　③　【停止】スイッチを押下して，停止状態を解除します．
c)　“ER31-01 の場合
　①　新しい用紙を正しくセットします．
　②　【スタート／ストップ】スイッチを押下して，オフライン状態にします．
　③　【スタート／ストップ】スイッチを押下して，オンライン状態にします．

注）セットアップの「用紙終了時」の設定内容によって，液晶ディスプレイの表示が下記のように変わります．
ただし，“継続”設定が有効なのはサポートサーバ設定が 6680-NMC で LU3 の時です．
①　“中断”設定時



②　“継続”設定時



-------- の時間内に用紙をセットすれば継続印刷が可能です．

6.3　用紙つまり

⑴ 表示内容
用紙づまりが発生すると，下記メッセージを表示し，“チェック”ランプが点滅してブザー音を鳴動します．

ER10−01：ヨウシヅマリ

ER12−06：オートロード

⑵ 復旧操作
a) ブザー音を停止する場合は，【ブザーOFF】スイッチを押下します．
b) 6.3.1〜2 項を参照して，装置内からつまった用紙を取り除きます．
c) 用紙の位置を確認します．
d) 【スタート／ストップ】スイッチを押下して，オンライン状態にします．

つまった用紙の取り除き方について説明します．

6.3.1　印字ヘッドの前側で用紙がつまった場合

1) 電源を切断します．

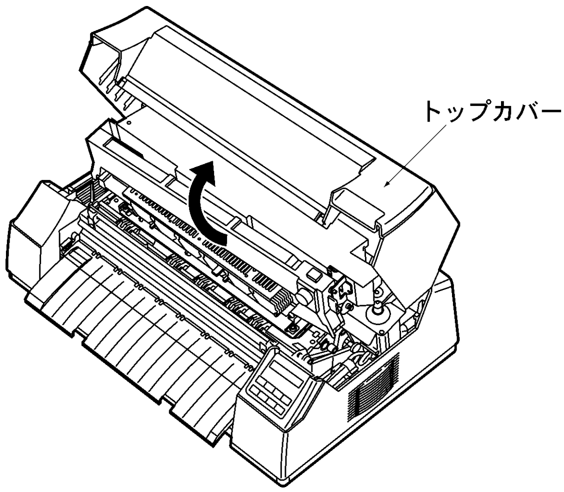
2) フロントカバーを外します．
⇨2.3 フロントカバーの取付け方・取外し方

3) トップカバーを開きます．

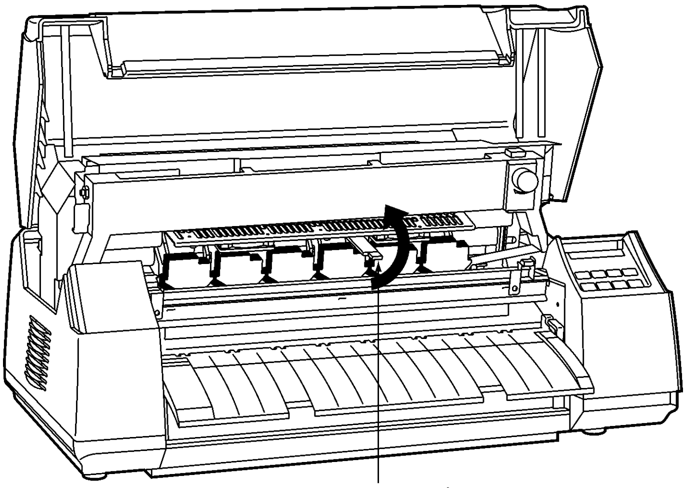
▲ 注意


高温注意

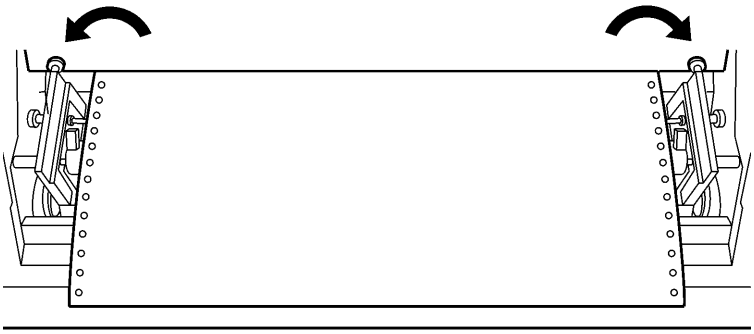
印字ヘッドや金属部には触れないでください．高温になっていて火傷のおそれがあります．



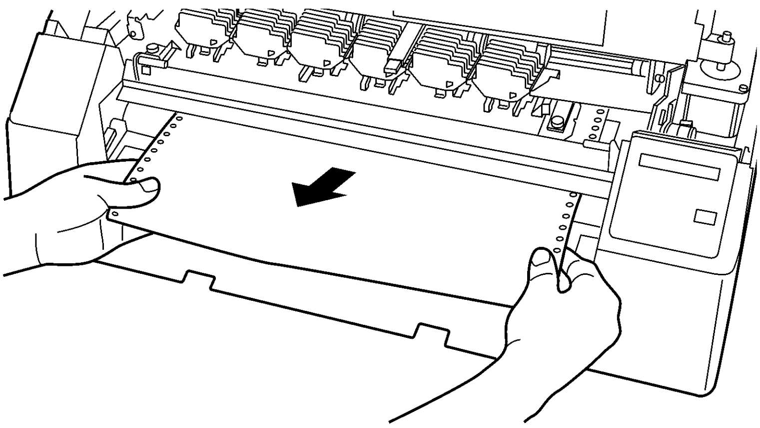
4)　ヘッドアップレバーを持ち上げて，印字ヘッドをアップさせます．



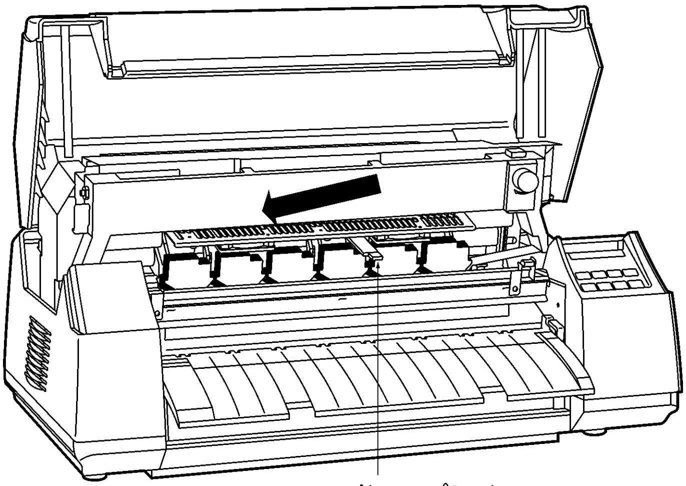
5)　トラクタカバーを上方に回転させ，トラクタの左右の用紙押さえ板を開いて用紙を切り取ります．



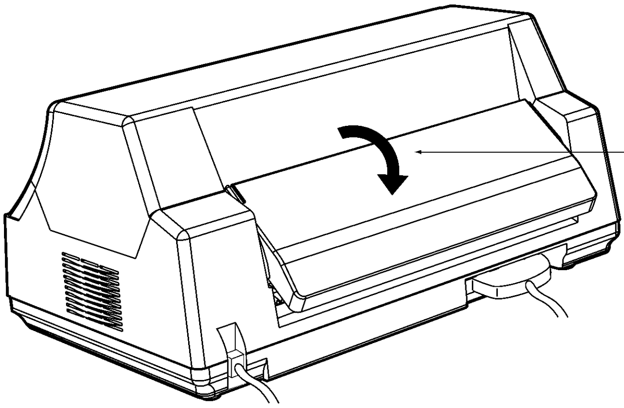
6)　詰まっている用紙をゆっくりと手前に抜き取ります．
抜き取った後，用紙通路内に紙片が残っていないことを確認してください．



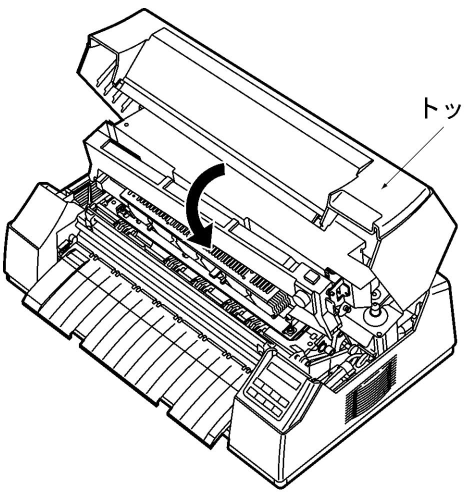
7) ヘッドアップレバーを持って左下へ動かし，印字ヘッドのアップ状態を解除します．



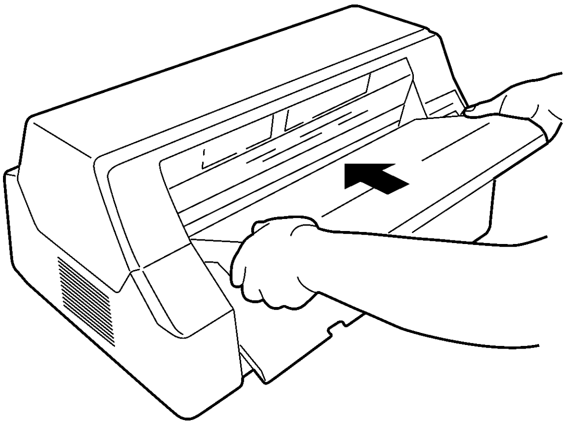
8) トラクタの左右の用紙押え板を閉じ，トラクタカバーを元に戻します．



9) トップカバーを閉じます．



10) フロントカバーを付けます.
⇨2.3 フロントカバーの取付け方・取外し方



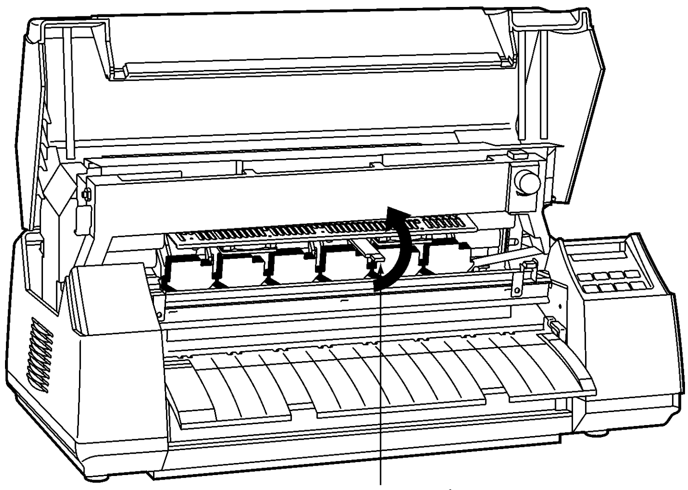
11) 電源を入れます.

6.3.2　印字ヘッドの後側で用紙がつまった場合

1) 電源を切断します.

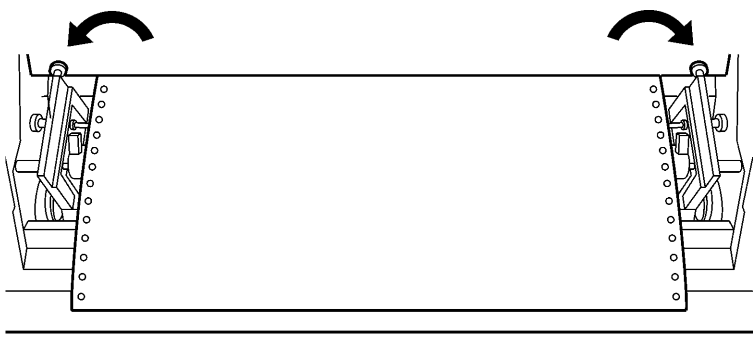
2) トラクタカバーを外します.
⇨2.4 トラクタカバーの取付け方・取外し方

3) トップカバーを開けた後，ヘッドアップレバーを上げて，印字ヘッドをアップさせます.

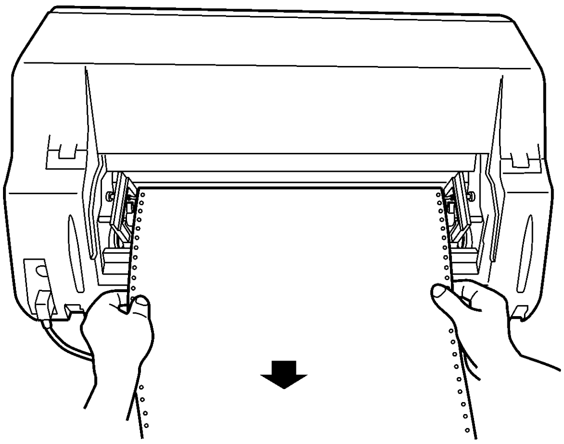


4) 装置前面で用紙を切り取ります.

5) トラクタの左右の用紙押さえ板を開きます.



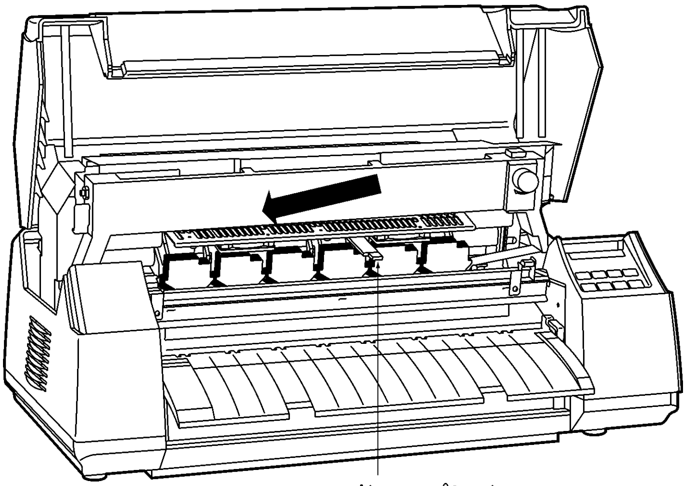
6) 詰まっている用紙をゆっくりと抜き取ります．



抜き取った後，用紙通路内に紙片が残っていないことを確認してください．

7) トラクタの左右の用紙押え板を閉じます．

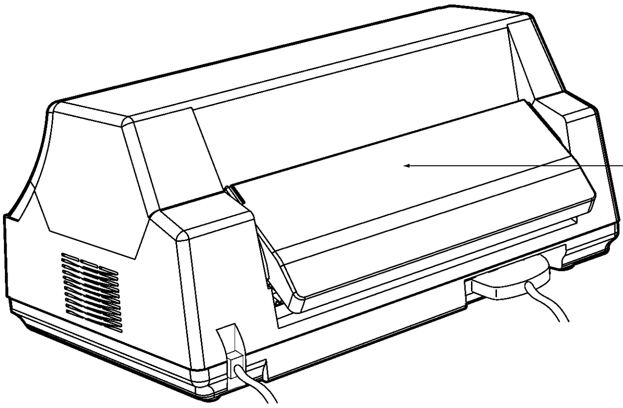
8) ヘッドアップレバーを持って左下へ動かし，印字ヘッドのアップ状態を解除します．



9) トップカバーを閉じます．

10) トラクタカバーを付けます．

⇨2.4 トラクタカバーの取付け，取外し方



11) 電源を入れます．

6.4　カバーオープン

(1) 表示内容
トップカバーが閉まっていないと，下記メッセージを表示し，ブザー音を鳴動します．

ER09－01：カバー

(2) 復旧操作
a)　ブザー音を停止する場合は，【ブザーOFF】スイッチを押下します．
b)　トップカバーを正しく閉めます．
c)　【スタート／ストップ】スイッチを押下し，オンラインに戻します．

6.5　ヘッドアップエラー

(1) 表示内容
ヘッドがアップ状態であると，下記メッセージを表示し，ブザー音を鳴動します．

ER09－03：ヘッドアップ

(2) 復旧操作
a)　ブザー音を停止する場合は，【ブザーOFF】スイッチを押下します．
b)　ヘッドアップレバーを持って左へ動かし，ヘッドを下げます．
c)　【スタート／ストップ】スイッチを押下し，オンライン状態に戻します．

6.6　リボンエラー

(1) 表示内容
リボン送りジャムが発生すると，下記メッセージを表示し，ブザー音を鳴動します．

ER11－01：リボンエラー

(2) 復旧操作
a)　ブザー音を停止する場合は，【ブザーOFF】スイッチを押下します．
b)　リボンカセットを再セットし，インクリボンのルートを確認します．
c)　【スタート／ストップ】スイッチを押下し，オンライン状態に戻します．

6.7　キリカエエラー

⑴　表示内容

用紙送りモードを切り換えた時に用紙づまりが発生すると，下記メッセージを表示し，ブザー音を鳴動します．

ER13−01：キリカエエラー	押込み→引張り
ER13−02：キリカエエラー	引張り→押込み

⑵　復旧操作

a)　ブザー音を停止する場合は，【ブザーOFF】スイッチを押下します．
b)　つまった用紙を取り除き，用紙を正しくセットします．
c)　【スタート／ストップ】スイッチを押下し，オンライン状態に戻します．

6.8　プログラムエラー

⑴　表示内容

下記メッセージを表示し，“チェック”ランプが点灯します．
この異常が発生すると，印刷は中断されます．

ER07−01：プログラム

⑵　復旧操作

a)　プログラムの管理者とご相談の上，エラー要因を除去してください．
b)　【機能】スイッチを押し，オンライン表示に戻します．

6.9　POCエラー

(1) 表示内容

Windows から印刷する場合，プリンタドライバで指定する用紙サイズ（用紙長，用紙幅）がプリンタでサポートしている用紙サイズ外であると，本エラーが発生することがあります．

POC エラーが発生すると，下記メッセージを表示し，“チェック”ランプが点滅し，ブザーが鳴動します．

ER32－01：POC イジョウ

(2) 復旧操作

a) 【スタート／ストップ】スイッチを押し，オフライン状態に戻します．

b) プリンタドライバで指定している用紙サイズを確認してください．

6.10　パターンタイムアウト

(1) 表示内容

ディスプレイ制御装置に要求したパターンの応答がタイムアウトすると，下記メッセージを表示し，“チェック”ランプが点滅して，ブザーが鳴動します．

ER89－01：パターン

(2) 復旧操作

a) ブザー音を停止する場合は，【ブザーOFF】スイッチを押下します．

b) 電源を切断後，再投入してください．

c) ディスプレイ制御装置の管理者とご相談の上，エラー要因を取り除いてください．

6.11 上位装置電源断

(1) 表示内容
上位装置との接続が切断されると，下記メッセージを表示します．
この異常が発生すると，印刷は中断されます．

ER27−01：ジョウイソウチ

(2) 復旧操作
a) 上位装置の電源を投入してください．
b) データ送信を再開すると，復旧します．

6.12 LAN二重アドレスエラー

(1) 表示内容
ネットワーク上に同一のMACアドレスまたはIPアドレスが存在すると，本エラーが発生します．
LAN二重アドレスエラーが発生すると，下記メッセージを表示し，“チェック”ランプが点滅し，ブザーが鳴動します．

ER43−01：LAN××××

(2) 復旧操作
a) 電源を切断します．
b) プリンタの設定ミスが考えられますので，セットアップの情報を確認してください．

6.13 メカ系の異常

⑴ 表示内容

メカ系に異常が発生すると，下記メッセージを表示し，ブザー音を鳴動します．

```
ER8X－0X：XXXXXXXX
```

表 示 内 容	意 味
ER81－01：EEPROM	メカ EEPROM 異常
ER82－01：モータエラー	LF モータ異常
ER82－02：モータエラー	カムモータ異常
ER82－06：モータエラー	リボンモータ異常
ER83－09：ファンテイシ　X	冷却ファン停止（X：R または L）
ER84－01：デンゲン	電源異常
ER85－01：スペースエラー	印字ヘッド動作異常
ER85－0B：ヘッドイチ	印字ヘッド位置異常
ER87－01：メカ　ムオウトウ	メカから応答がない
ER87－02：メカ　ムオウトウ	〃　（電源投入時）
ER88－01：ヘッドエラー　X	印字ヘッド異常（X：ヘッド番号）
ER88－09：ミセツゾク　X	印字ヘッド未接続（X：ヘッド番号）
ER88－0A：ヘッドピン	ヘッドピン異常
ER8B－01：カムエラー	カム異常
ER8E－01：センスエラー	メカからの応答が未定義
ER8E－02：センスエラー	〃

⑵ 復旧操作

a) ブザー音を停止する場合は，【ブザーOFF】スイッチを押下します．

b) メッセージを記録の上，電源を切断し，装置内の用紙をすべて取り除いてから，電源を再投入します．

c) 電源を再投入しても同じメッセージが表示される場合には，担当保守員にご連絡ください．

6.14 ハードウェアの異常

(1) 表示内容

ハードウェアに異常が発生すると，下記メッセージを表示し，“チェック”ランプが点滅してブザー音を鳴動します．

ER4X－XX：XXXXXXXX

(2) 復旧操作

a) ブザー音を停止する場合は，【ブザーOFF】スイッチを押下します．

b) 表示されたメッセージを記録の上，電源を切断し，装置内の用紙をすべて取り除いてから，電源を再投入します．

c) 電源を再投入しても同じメッセージが表示される場合には，担当保守員にご連絡ください．

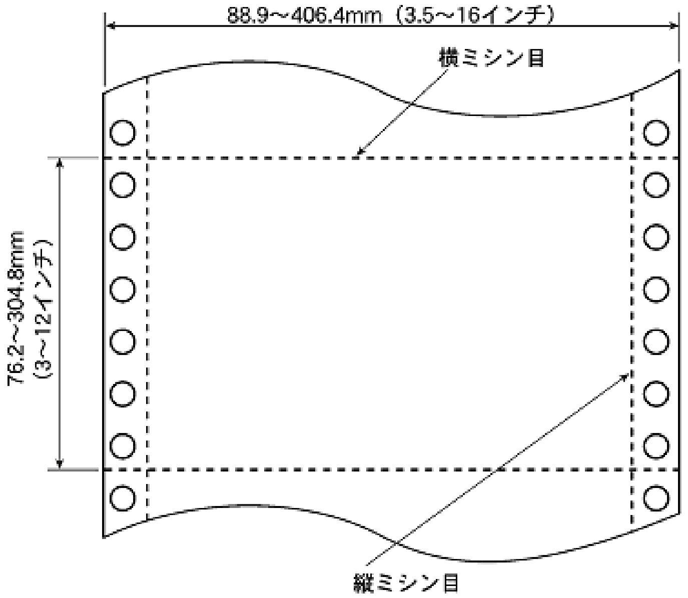
第 7 章　用紙仕様および帳票設計

本章では，各種用紙の規格および用紙の取り扱い上の注意について説明します．

7.1　連帳用紙

⑴ 寸法

● 仕様・規格



（注意）・縦ミシン目を入れる場合は，左側のみ，右側のみ，または左右両側のいずれでも構いません．

・用紙にとじ穴等を設けることは禁止します．

⑵ 紙質

● 仕様・規格

a) 原紙：情報処理用プリンタに用いる原紙として市販の上質紙

b) 複写用紙：感圧紙，裏カーボン紙

（注意）・市販されている上質紙は JISC6283 に準拠します．

・中カーボン紙は使用しないでください．

・裏面は白色（反射率 60%以上）のものをご使用ください．

・印刷済み用紙の裏面への印刷は，行わないでください．印刷位置のずれや汚れが出たり，用紙の折畳み不良が発生したり，また，用紙つまりが発生しやすいため，装置破損に至る場合があります．

⑶ 用紙連量

● 仕様・規格

連量／枚数／構成内容	（kg／連）					高複写モード時		
	1P	2P	3P	4P	5P	6P	7P	8P
１枚目	45～110	34～55	34～43	34	34	34	34	34
２枚目		34～55	34～43	34	34	34	34	34
３枚目			34～43	34	34	34	34	34
４枚目				34～43	34	34	34	34
５枚目					34～43	34	34	34
６枚目						34～43	34	34
７枚目							34～43	34
８枚目								34～43
用紙厚合計	0.4mm 以下					0.6mm 以下		

＜参考＞感圧紙の用紙連量規格とメーカーのＮ番規格の相関

連量規格	34kg／連	43kg／連	55kg／連
Ｎ番規格	N40	N50	N60

（注意）・構成用紙枚数，用紙の厚みの増加に伴い，全体的に複写濃度が薄くなります．例えば，３枚複写の３枚目と５枚複写の３枚目では濃度が違います．３枚複写の３枚目の方が濃くなります．

・複写枚数が多くなると感圧紙より裏カーボン紙の方が複写濃度が濃くなりますので，6P 以上は裏カーボン紙でのご使用をお薦めします．

・裏カーボン紙の場合，塗布するインクの質や量によって複写濃度が変わります．更に温度の低下に伴い，複写濃度が著しく低下する性質があります．裏カーボン紙の場合は常温（18℃～30℃）での使用をお薦めします．

以上のように，複写濃度は様々の要因に影響されるので，帳票作成に当たっては，印刷メーカと使用条件・環境についてご相談のうえ，決定してください．

（注意）連量とは，四六判（788mm×1091mm）の用紙 1,000 枚の重量を kg で示したものです．

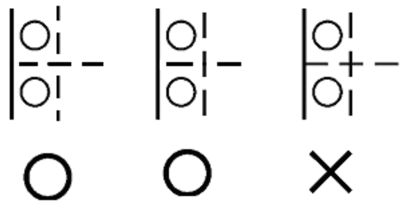
4) ミシン目加工

● 仕様・規格

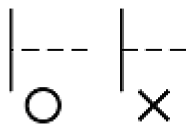
ミシン目の種類		規格値
横ミシン目	タイ／カット比率	1／1～1／4
	タイ寸法	0.7～1.5mm
	カット寸法	1.0～4.0mm
縦ミシン目	タイ／カット比率	1／1～1／5
	タイ寸法	0.7～1.5mm
	カット寸法	1.0～5.0mm

タイ：非切断部カット：切断部

（注意）・ミシン目を折りたたんだ時，簡単に用紙が切れないような寸法を選んでください．
・タイ／カット比率および寸法によって連帳用紙の折りたたみ特性，および切断性が異なるため，適切な値を選択してください．
・上記基準以外のタイ／カット比率および寸法を使用するときは，事前に十分な確認評価を行ってください．
・縦ミシン目と横ミシン目のカット部が重ならないようにしてください．
リボンマスクへ引掛かり，用紙詰まりや用紙破れが発生することがあります．



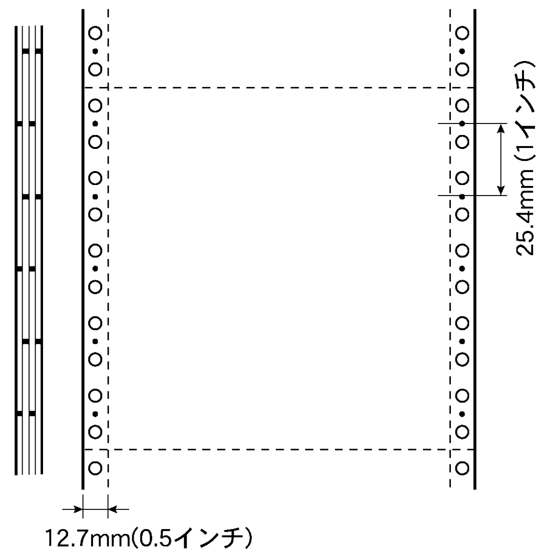
・横ミシン目は用紙の端にタイ部がくるようにしてください．
用紙の端にカット部があると，リボンマスクへ引掛かり，用紙詰まりや用紙破れが発生することがあります．



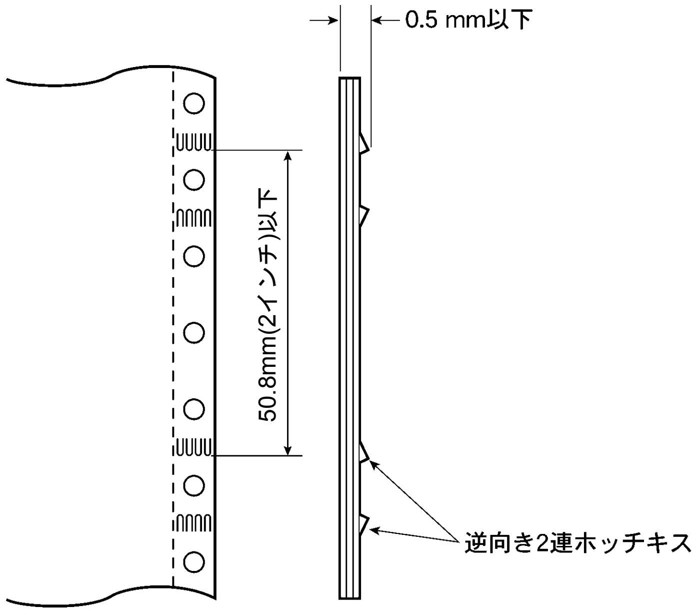
5) 複写用紙のとじ方

● 仕様・規格

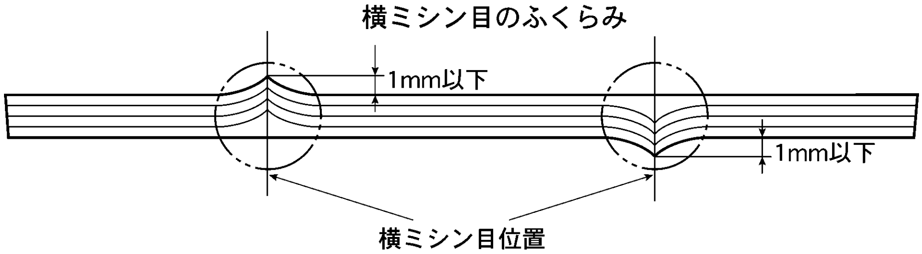
a) 点のり（千鳥）



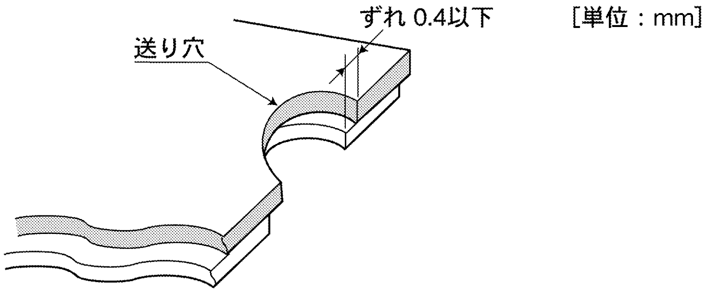
b) 紙ホッチキス



横ミシン目のふくらみ

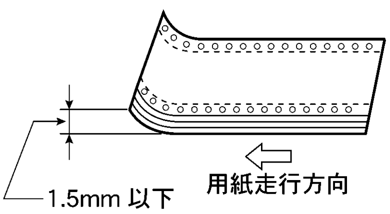


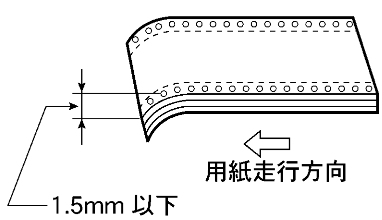
（注意）・用紙のとじ方は，点のり，紙ホッチキス（2 連）が使用できます．印刷品質の面からみて，点のりを使用することをお薦めします．
・金属ホッチキスの使用は，装置の損傷を招くため，厳禁とします．
・用紙のとじ方は，用紙の端と縦ミシン目の間で左右両側をとじてください．
・紙ホッチキスを使用する場合は，以下のように使用してください．
　・必ず逆向き 2 連のホッチキスにしてください．
　・紙ホッチキスはとじ部が厚くなるため，複写枚数は 3 枚以下にしてください．
　・ホッチキス部が厚くなると，印字ヘッドが浮き上がり，印刷が不鮮明になったり，印刷が乱れたりすることがあります．したがって，印刷可能領域と紙ホッチキスの間の余白は 1／2 インチ（12.7mm）以上余白をあけてください．
・複写連帳用紙において，横ミシン目などのふくらみがあると，用紙ずれや改行乱れが発生することがあります．1mm 以下におさえてください．
・複写紙の重ね合わせ時のずれによる送り穴の層間ずれは，0.4mm 以下のものを使用してください．



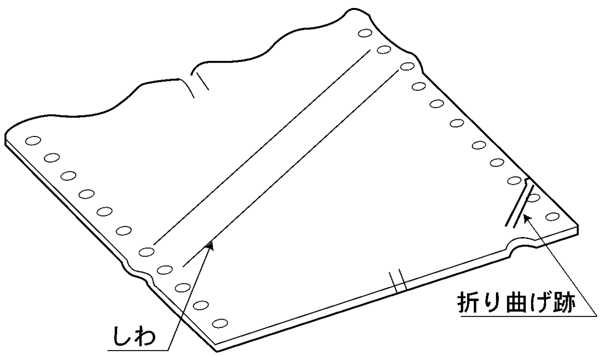
帳票送り穴部の断面図

・用紙の先端にカールや折れ曲げがある場合，用紙給入時のジャム発生の原因となりますので矯正して使用してください．

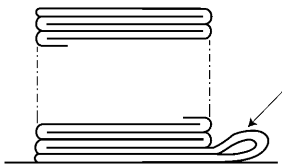




・用紙は横ミシン目を用いてジグザクに折りたたみ，しわや折り曲げ跡のないものを使用してください．特に，新しく箱から取り出した用紙は最初と最後の数ページにしわや折り曲げ跡が発生しやすいので，しわや折り曲げ跡のある用紙は使用しないでください．

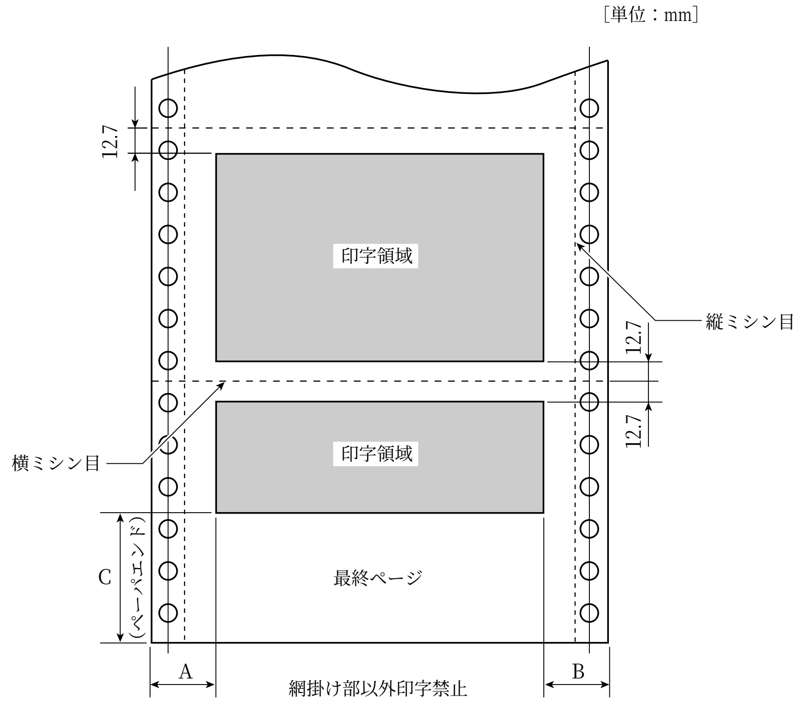


・用紙折りたたみ部が下図のようにふくらんでいるものは，用紙送りに悪影響を与えるので使用しないでください．



6) 印刷可能領域

● 仕様・規格



用紙幅	A 寸法	B 寸法	備　　考
3.5～15 インチ	0.7 インチ（17.8mm）	0.7 インチ（17.8mm）	
15～15.5 インチ	0.7 インチ（17.8mm）	0.7～1.2 インチ（17.8mm～30.5mm）	連帳幅が 15.5 インチの場合に 15～15.5 インチ B 寸法が 30.5mm となる
15.5～16 インチ	0.7～1.2 インチ（17.8mm～30.5mm）	1.2 インチ（30.5mm）	連帳幅が 16 インチの場合に 15.5～16 インチ A 寸法が 30.5mm となる

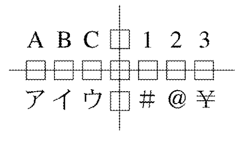
C 寸法：約 130mm（押込み），約 65mm（引張り）

（注意）・横ミシン目の上下 0.5 インチ（12.7mm）以内，および用紙の左端より A 寸法，右端より B 寸法は，印刷禁止領域です．
印刷禁止領域に印刷すると，リボンマスクへ引掛かり，用紙詰まりや用紙破れが発生することがあります．
・用紙をセットするときは，プリンタの目盛を目安にトラクタを動かしてから，用紙に対する印刷の位置を決めてください．
・押込み印刷の場合，用紙終端より約 130mm の位置で用紙がトラクタより外れ，印字品質や改行精度が保証できなくなります．この範囲での印刷は避けてください．又，引張り印刷の場合，用紙は用紙終端より約 65mm の位置で用紙押さえから外れます．よって印字品質や改行精度が保証できなくなるので，この範囲での印刷は避けてください．

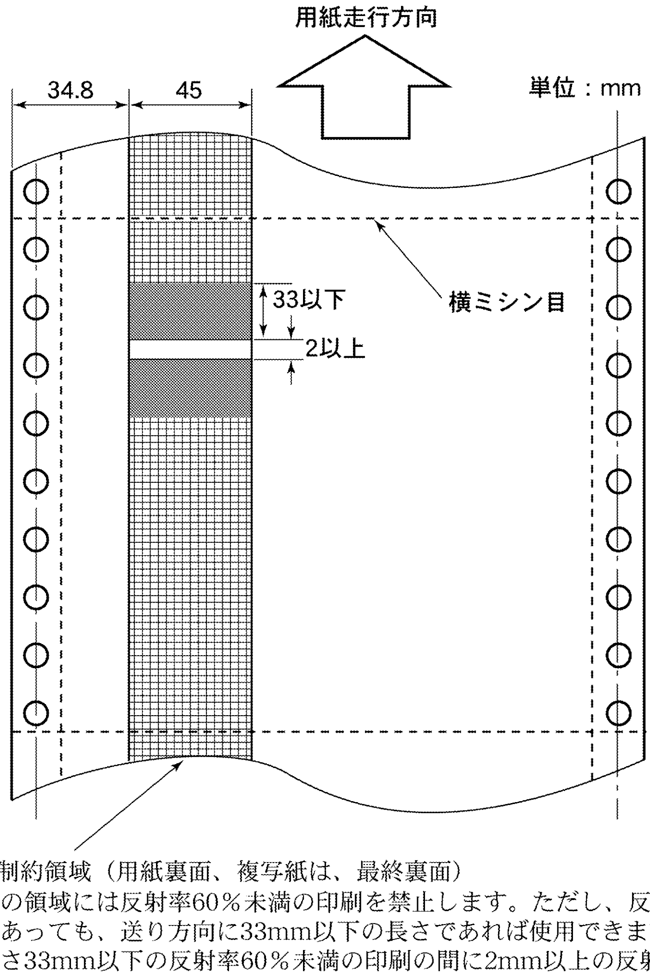
7) 印刷および印字制約

本プリンタ装置の用紙検出には光反射センサを使用しているため，プレ印刷用紙に安定に印字を行うためには，以下の点に注意してください.

1) プレ印刷用紙に印字する場合は下記の制約条件を遵守し，事前に十分テストを行い問題のないことを確認してください.
2) プレ印刷用紙に印刷インクのべとつきがあったり，インクの乾燥不完全なために，用紙どうしが付着していてはいけません.
3) 縦罫線及び横罫線をプレ印刷する場合は，装置に対する用紙位置のセットの容易化および用紙のズレに対する許容のために，次の文字または行のセンタに罫線が位置するような余白をとってください.



□は1文字分の余白を示す。



印刷制約領域（用紙裏面、複写紙は、最終裏面）

・この領域には反射率60％未満の印刷を禁止します。ただし、反射率60％未満であっても、送り方向に33mm以下の長さであれば使用できます。さらに、長さ33mm以下の反射率60％未満の印刷の間に2mm以上の反射率60％以上の領域があれば、そのような印刷が繰り返しあっても使用できます。
・反射率はプリントコントラストメータ「マクベスPCM-IIフィルタD」での値です。

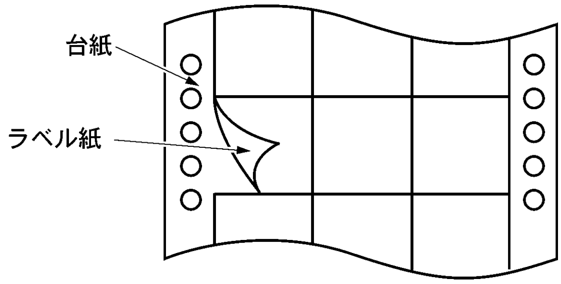
7.2　ラベル帳票

(1) 紙質および用紙連量

- 仕様・規格

台紙に関しては，用紙裏面の反射率が 60%以上の用紙を使用してください.

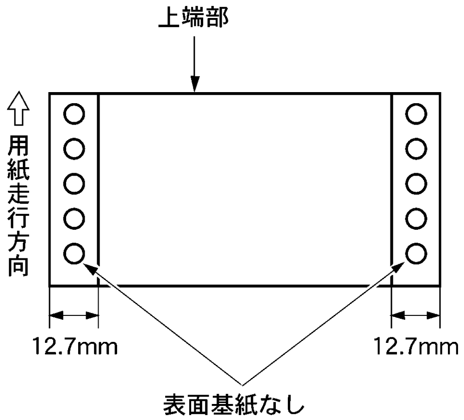
項目 / 用紙	紙　質	用紙連量 [kg／連]	備　　考
ラベル紙	上質紙	43～70	横寸法：50mm 以上 縦寸法：25mm 以上
台紙	グラシンペーパ， クラフト紙	45～80	ラベル紙との接着面にシリコンコーティングを施すこと. 裏面の反射率が 60%以上の用紙を使用すること.



（注意）・ラベル紙と台紙の用紙連量組合せ：ラベル紙≦台紙
　　　　・台紙の片面（ラベル紙との接着面）にシリコンコーティングを施してください.

(2) かす取り

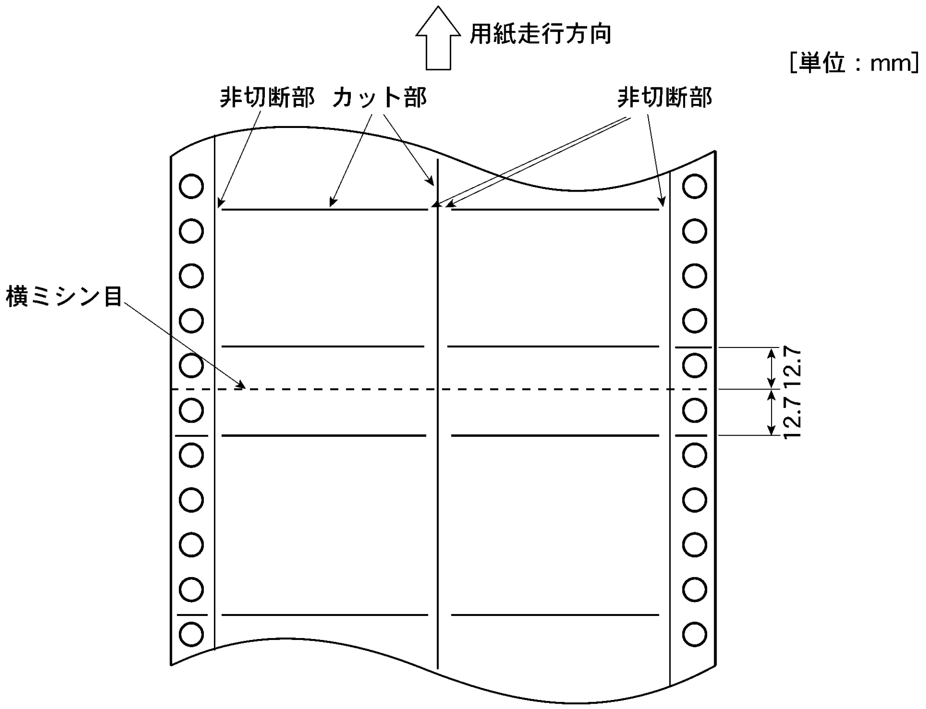
- 仕様・規格

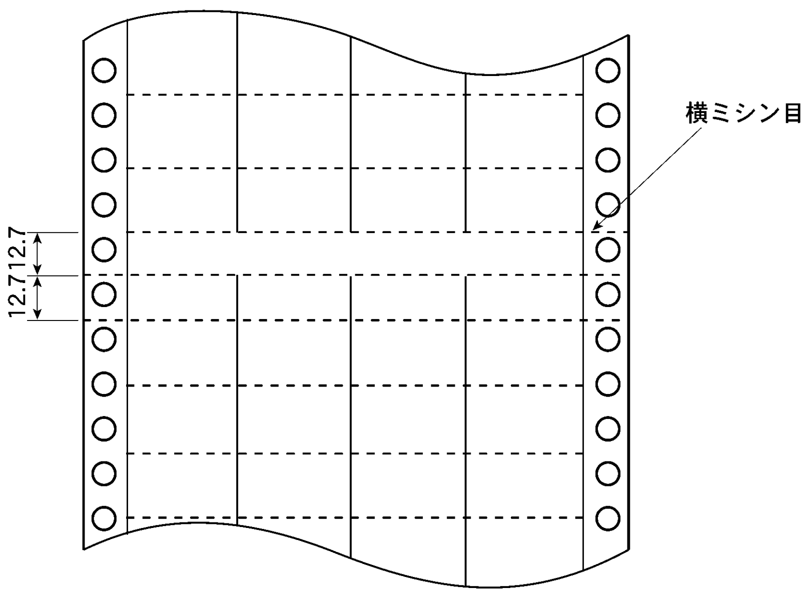


（注意）・送り精度を保証するために，かす取り（用紙左右端より 12.7mm 以内のラベル紙を取り去る処理）の行われたタック紙を使用してください.

⑶ ラベル・フォーマット

● 仕様・規格





（注意）・カットはラベル紙のみに入れ，用紙搬送中のめくれを防ぐため，ラベルのカット部はミシン目とするか，またはラベルの左右 0.5mm 程度の非切断部を設けてください．

⑷ 印刷可能領域

● 仕様・規格

印刷可能領域は，連続用紙規格にあわせます．

7.3　用紙の取扱い上の注意

⑴ 用紙の保管および取扱いについて
用紙を保管したり，取り扱ったりするときは，変形，破損が生じないように注意してください．湿気の多い所での保管は，絶対に避けてください．

⑵ 特殊用紙について
- この章に記述した仕様と異なる特殊用紙を使用するときは，用紙づまりなどのトラブルを予防するため，サンプルを作成して十分なためし印字を行い，使えることを確認してから使用してください．
- 再生紙の種類によっては，インクリボンの寿命が短くなったり，用紙づまりが起きたりすることがあります．このときは，使用を中止し，紙質の良いものに変更してください．

⑶ 使用できない用紙
次のような用紙は使用しないでください．次のような用紙を使用すると，用紙送りが不安定になり，つまり，折れ，および印字ずれの原因となります．最悪の場合には，ワイヤドットピンが折れる可能性もあります．
- 極端に薄い紙または厚い紙（用紙規格を満たさないもの）
- 小さすぎる紙または大きすぎる紙（用紙規格を満たさないもの）
- 切り抜き部分や窓のある紙
- ピン，クリップ，ホッチキスの針など金属の付いている紙
- のり付け面が露出している紙，波打っている紙，はがれている紙
- 浮き彫りのある紙
- 連続帳票用紙の横ミシン目以外で折りたたんだ紙
- 複写紙において，オリジナルと複写紙で大きさの異なる紙，または部分的に複写枚数が異なる紙
- 端または角が破れていたり，折れている紙

第 8 章　設置諸元

本章では，本装置の設置仕様，外形寸法および保守スペースについて説明します．

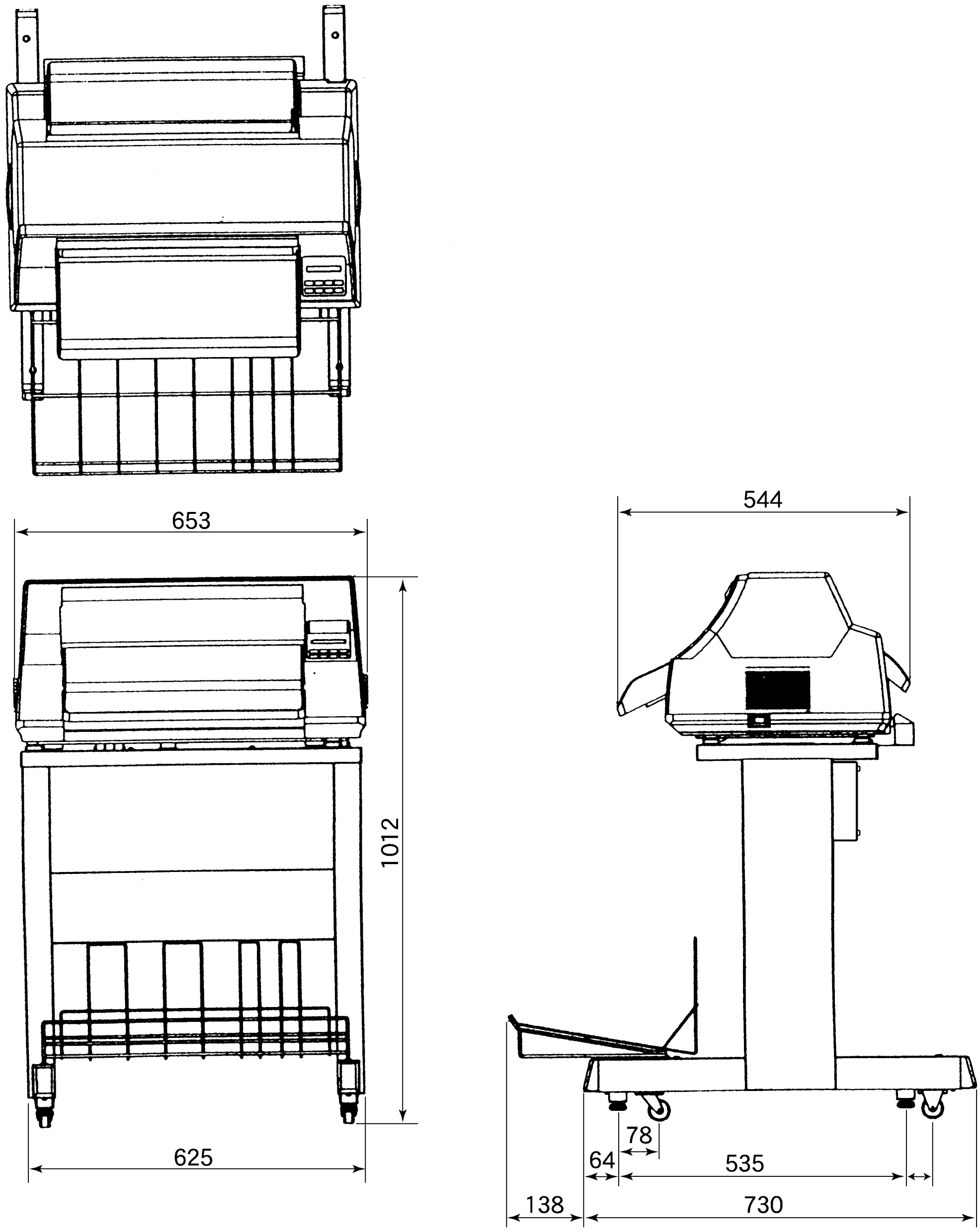
8.1 設置仕様

本装置の設置仕様を表 8.1 に示します．

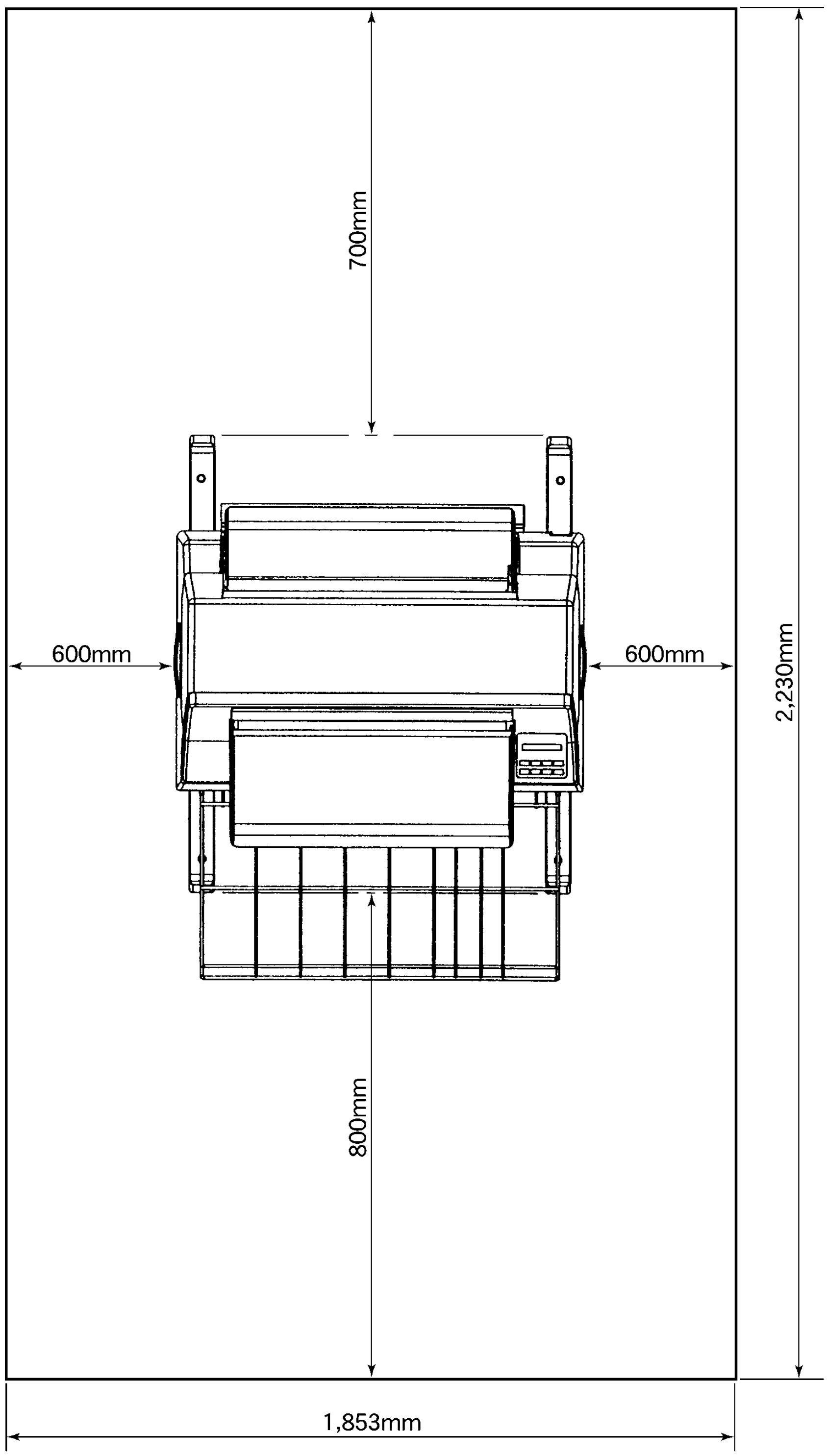
表 8.1　設置仕様

<table>
<tr><th colspan="2">項　　目</th><th colspan="3">仕　　様</th><th>備　考</th></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="2">外形寸法（mm）</td><td>幅</td><td>奥行</td><td>高さ</td><td rowspan="2"></td></tr>
<tr><td>653</td><td>868</td><td>1012</td></tr>
<tr><td colspan="2">質　量（kg）</td><td colspan="3">約 62</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="3">入力電源</td><td>電　圧</td><td colspan="3">AC100V±10%</td><td rowspan="3"></td></tr>
<tr><td>相　数</td><td colspan="3">単　相</td></tr>
<tr><td>周波数</td><td colspan="3">50／60Hz　+2%，−4%</td></tr>
<tr><td colspan="2">所要電力量</td><td colspan="3">最大　：1.2kVA
平均　：0.4kVA
待機時：約 90VA 以下</td><td rowspan="2">最大は 50%duty 印字時を，平均は 15%duty 印字時を示す．</td></tr>
<tr><td colspan="2">発熱量</td><td colspan="3">最大　：3.3MJ/h
平均　：1.2MJ/h</td></tr>
<tr><td rowspan="4">温度，湿度
許容範囲</td><td>装置状態</td><td>稼働中</td><td colspan="2">休止中</td><td rowspan="4">ただし，結露のないこと．</td></tr>
<tr><td>温度（℃）</td><td>5～35</td><td colspan="2">0～50</td></tr>
<tr><td>湿度（%RH）</td><td>20～80</td><td colspan="2">10～80</td></tr>
<tr><td>高温湿球
温度（℃）</td><td colspan="3">29</td></tr>
<tr><td colspan="2">騒　音</td><td colspan="3">57dB（A）</td><td>ISO 7779 準拠</td></tr>
<tr><td colspan="2">コンセント（工事側）</td><td colspan="3">125V／15A
2 極接地型</td><td>神保　1136/1132
松下　WF3002
アメリカン　20/120 など</td></tr>
</table>

8.2　外形寸法



8.3　保守スペース



第 9 章　付　録

本章では，本装置の液晶ディスプレイに表示されるメッセージの一覧および文字コードについて示します．

9.1　ﾒｯｾｰｼﾞｰ覧

9.1.1　オフライン系

オフライン系のメッセージ一覧を表 9.1 に示します．

表 9.1　オフライン系（続く）

	状態	ｽﾀｰﾄ	ﾁｪｯｸ	ﾌﾞｻﾞｰ	LCD メッセージ	内　　容	復旧方法
	00	点灯	消灯	鳴らない	00　オンライン	オンライン状態 ・動作可能	（不要）
※	08	消灯	消灯	鳴らない	08　テイシタイムアウト	停止タイムアウト （約 10 分間）	任意の SW 押下
※		点灯	消灯	鳴らない	PA キー　　1／2	機能 SW 選択	再度機能 SW 押下
※		点灯	消灯	鳴らない	ナシ	機能 SW 選択無し	再度機能 SW 押下
※		点灯	消灯	鳴らない	キャンセル	機能 SW キャンセル機能選択	再度機能 SW 押下
※		点灯	消灯	鳴らない	PA1	機能 SW PA1 キー機能選択	再度機能 SW 押下
※		点灯	消灯	鳴らない	PA2	機能 SW PA2 キー機能選択	再度機能 SW 押下
※		点灯	消灯	鳴らない	ペーパーアジャスト　　2／2	機能 SW　用紙調整機能	再度機能 SW 押下
※		点灯	消灯	鳴らない	ペーパーアジャスト	機能 SW　用紙調整機能	再度機能 SW 押下
	90	消灯	消灯	鳴らない	90　オフライン　ヨウシイチ	オフライン画面 ・電源立ち上げ時 ・エラーからの戻り画面 ・N-Ready	スタート SW 押下
	90	消灯	消灯	鳴らない	90　オフライン　データアリ	オフライン画面 ・N-Ready ・未印刷データ有り	スタート SW 押下 PrintWalker 設定
	90	消灯	消灯	鳴らない	90　オフライン	オフライン画面	スタート SW 押下
	98	消灯	消灯	鳴らない	98　→　→　→　→	ローディング中（制御プログラムを RAM 上に読込中）	（不要）
	99	消灯	消灯	鳴らない	99　→　→	初期診断中（内部ハードウェアのチェック中）	（不要）
		消灯	消灯	鳴らない	ツウロオープンチュウ	用紙搬送通路開放中 （引張り・用紙無時に用紙セット SW 押下）	（不要）

※　サポートサーバ設定が PrintWalker の場合，無効．

表 9.1　オフライン系（続き）

状態	ｽﾀｰﾄ	ﾁｪｯｸ	ﾌﾞｻﾞｰ	LCD メッセージ	内　　容	復旧方法
	消灯	消灯	鳴らない	ヨウシ　ハンソウチュウ	用紙搬送中	（不要）
	点灯	消灯	鳴らない	パターンカキコミチュウ	SEND CG 実行中	（不要）
	消灯	消灯	鳴らない	ヒダリマージン　　　：XX	左端設定	再度機能 SW 押下
	消灯	消灯	鳴らない	ページチョウ　　　　：XX	ページ長	同上
	消灯	消灯	鳴らない	ロードイチ　　　　　：XX.X	上端余白	同上
	消灯	消灯	鳴らない	カンジピッチ　　　　：XX	漢字ピッチ	同上
	消灯	消灯	鳴らない	AN ピッチ　　　　　：XX	AN ピッチ	同上
	消灯	消灯	鳴らない	カイギョウピッチ　　：XLPI	改行ピッチ	同上
	消灯	消灯	鳴らない	カイギョウカンカク　：XLF	改行間隔	同上
	消灯	消灯	鳴らない	ヨウシオクリ：XXXXX	用紙送り	同上
	消灯	消灯	鳴らない	テストインジ	テスト印字	同上
	消灯	消灯	鳴らない	ジッコウチュウ	テスト印字中	（不要）

9.1.2　セットアップ系

セットアップ系のメッセージ一覧を表 9.2 に示します．

表 9.2　セットアップ系メッセージ一覧

状態	ｽﾀｰﾄ	ﾁｪｯｸ	ﾌﾞｻﾞｰ	LCD メッセージ	内　　容	復旧方法
98	消灯	消灯	鳴らない	98　→　→　→　→　→　・	電源投入時，6 番目の→が表示されるまで，セットアップ遷移用 SW を押下し続けるとセットアップ初期化処理画面に遷移する．	（不要）
97	消灯	消灯	鳴らない	97　→　→　→　→　→　・	セットアップ受付後の初期化処理画面．	（不要）

1)　セットアップメニュー遷移

状態	ｽﾀｰﾄ	ﾁｪｯｸ	ﾌﾞｻﾞｰ	LCD メッセージ	内　　容	復旧方法
消灯	消灯	鳴らない		セットアップツウシン　1／5	セットアップメニュー（1／5）	用紙カット SW 押下でセットアップ情報書込み確認画面へ遷移
消灯	消灯	鳴らない		セットアップソウサ　2／5	セットアップメニュー（2／5）	同上
消灯	消灯	鳴らない		セットアップヨウシ　3／5	セットアップメニュー（3／5）	同上
消灯	消灯	鳴らない		セットアップインサツ　4／5	セットアップメニュー（4／5）	同上
消灯	消灯	鳴らない		ペーパーアジャスト　5／5	セットアップメニュー（5／5）	同上

2）IPL 確認

状態	ｽﾀｰﾄ	ﾁｪｯｸ	ﾌﾞｻﾞｰ	LCD メッセージ	内　　容	復旧方法
	消灯	消灯	鳴らない	セットアップカキコミ	セットアップ情報 書込み確認画面	改ページ SW 押下で書込み処理へ遷移 用紙カット SW 押下でローディング画面へ
	消灯	消灯	鳴らない	ローディング　1／2	初期診断確認画面（1／2）	改ページ SW 押下で初期診断へ遷移
	消灯	消灯	鳴らない	セットアップメニュー　2／2	初期診断確認画面（2／2）	改ページSW押下でセットアップメニューへ遷移

3）通信設定セットアップ

状態	ｽﾀｰﾄ	ﾁｪｯｸ	ﾌﾞｻﾞｰ	LCD メッセージ	内　　容	復旧方法
	消灯	消灯	鳴らない	サポートサーバ　1／3	通信関連セットアップ（1/3）△▽で選択	用紙カット SW 押下で通信セットアップ画面に戻る.
	消灯	消灯	鳴らない	LAN インターフェース　2／3	通信関連セットアップ（2/3）△▽で選択	同上
	消灯	消灯	鳴らない	ソウチメイ　セッテイ　3／3	通信関連セットアップ（3/3）△▽で選択	同上
	消灯	消灯	鳴らない	XXXXXXXXXXXXXXXX	装置名設定	用紙カット SW 押下で装置名設定へ戻る
	消灯	消灯	鳴らない	LAN インターフェース：XXXX	LAN インターフェース設定	用紙カット SW 押下で LAN インターフェース画面へ戻る
	消灯	消灯	鳴らない	PrintWalker　1／3	サポートサーバ設定（1／3）	用紙カットSW押下でサポートサーバ画面に戻る.
	消灯	消灯	鳴らない	6680－NMC　2／3	サポートサーバ設定（2／3）	同上
	消灯	消灯	鳴らない	HOST　PRINT　3／3	サポートサーバ設定（3／3）	同上
PrintWalker 選択時						
※	消灯	消灯	鳴らない	MAC　アドレス　1／8	通信設定　（1／8）	用紙カット SW 押下でサポートサーバ設定へ戻る.
※	消灯	消灯	鳴らない	IP アドレス　2／8	通信設定　（2／8）	同上
※	消灯	消灯	鳴らない	ネットマスク　3／8	通信設定　（3／8）	同上
※	消灯	消灯	鳴らない	ゲートウェイ　1　4／8	通信設定　（4／8）	同上
※	消灯	消灯	鳴らない	ゲートウェイ　2　5／8	通信設定　（5／8）	同上
※	消灯	消灯	鳴らない	ゲートウェイ　3　6／8	通信設定　（6／8）	同上
※	消灯	消灯	鳴らない	ゲートウェイ　4　7／8	通信設定　（7／8）	同上
※	消灯	消灯	鳴らない	デフォルトルータ　8／8	通信設定　（8／8）	同上
※	消灯	消灯	鳴らない	×××，×××．×××．×××	アドレス設定	同上
※	消灯	消灯	鳴らない	MAC　グローバル	グローバルアドレス表示	同上

※　HOST　PRINT 時も有効

状態	ｽﾀｰﾄ	ﾁｪｯｸ	ﾌﾞｻﾞｰ	LCD メッセージ	内　　容	復旧方法
※	消灯	消灯	鳴らない	アテサキアドレス　1／2	ゲートウェイ設定（1／2）	用紙カット SW 押下でサポートサーバ設定へ戻る.
※	消灯	消灯	鳴らない	ゲートウェイアドレス　2／2	ゲートウェイ設定（2／2）	同上
6680－NMC 選択時						
	消灯	消灯	鳴らない	LAN　アドレス　1／5	LAN アドレス設定	用紙カット SW 押下でサポートサーバ設定へ戻る.
	消灯	消灯	鳴らない	グローバルアドレス　2／5	LAN グローバルアドレス表示	同上
	消灯	消灯	鳴らない	ローカルアドレス　2／5	LAN ローカルアドレス設定	同上
	消灯	消灯	鳴らない	アイテサキアドレス　3／5	LAN 相手先アドレス設定	同上
	消灯	消灯	鳴らない	タイムアウト：××．×S　4／5	LAN タイムアウト値設定	用紙カット SW 押下でサポートサーバ設定へ戻る.
	消灯	消灯	鳴らない	サイソウスウ：××カイ　5／5	LAN 再送数設定	同上
HOST　PRINT 選択時						
	消灯	消灯	鳴らない	サーバ IP アドレス　9／10	サーバアドレス設定	用紙カット SW 押下でサポートサーバ設定へ戻る.
	消灯	消灯	鳴らない	セッションリトライ　10／10	セッションリトライ設定	同上
	消灯	消灯	鳴らない	セッションリトライ：XX　カイ	セッションリトライ回数設定	用紙カット SW 押下で通信設定へ戻る.

※　HOST　PRINT 時も有効

4）　装置設定セットアップ

状態	ｽﾀｰﾄ	ﾁｪｯｸ	ﾌﾞｻﾞｰ	LCD メッセージ	内　　容	復旧方法
PrintWalker 選択時						
	消灯	消灯	鳴らない	EBCDIC　：×××××××	EBCDIC 設定	用紙カット SW 押下でセットアップ画面へ戻る.
	消灯	消灯	鳴らない	インサツドウサ：XXXXXXX	印刷動作設定	同上
	消灯	消灯	鳴らない	インサツモード	印刷モード設定	同上
	消灯	消灯	鳴らない	コウヒンイ ツウジョウ コウソク コウヒンイ＋コウフクシャ ツウジョウ＋コウフクシャ コウソク＋コウフクシャ	▲▼で印刷モード選択	同上
	消灯	消灯	鳴らない	AN コード　：××××××	AN コード設定	同上
	消灯	消灯	鳴らない	インジケタスウ　：×××　ケタ	印字桁数設定	同上
	消灯	消灯	鳴らない	ヘッドドウサ　：××××××	両方向印刷設定	同上

状態	ｽﾀｰﾄ	ﾁｪｯｸ	ﾌﾞｻﾞｰ	LCD メッセージ	内　容	復旧方法
6680－NMC・HOST　PRINT 選択時						
	消灯	消灯	鳴らない	EBCDIC　：×××××××	EBCDIC 設定	用紙カット SW 押下でセットアップ画面へ戻る.
	消灯	消灯	鳴らない	インサツドウサ：XXXXXXX	印刷動作設定	同上
	消灯	消灯	鳴らない	インサツモード	印刷モード設定	同上
	消灯	消灯	鳴らない	コウヒンイ	▲▼で印刷モード選択	同上
				ツウジョウ		
				コウソク		
				コウヒンイ＋コウフクシャ		
				ツウジョウ＋コウフクシャ		
				コウソク＋コウフクシャ		
	消灯	消灯	鳴らない	FF ユウコウイチ　：×××××	FF（Form Feed）オーダ設定	同上
	消灯	消灯	鳴らない	ミギハシ+NL　：　×　LF	右端＋NL 設定	同上
	消灯	消灯	鳴らない	ミバハシ+CR　：　×　LF	右端＋CR 設定	同上
	消灯	消灯	鳴らない	ミテイギモジ　：××××	未定義文字設定 注 1）	同上
	消灯	消灯	鳴らない	AN コード　：×××××	AN コード設定	同上
	消灯	消灯	鳴らない	インジケタスウ　：×××　ケタ	印字桁数設定	同上
	消灯	消灯	鳴らない	ヨウシシュウリョウ：××××××	用紙終了時 （中断／継続）	同上
	消灯	消灯	鳴らない	ヘッドドウサ　：××××××	両方向印刷設定	同上

注 1）サポートサーバ設定が HOST　PRINT 時は未定義文字は無効で表示しない.

5)　用紙設定セットアップメニュー

状態	ｽﾀｰﾄ	ﾁｪｯｸ	ﾌﾞｻﾞｰ	LCD メッセージ	内　容	復旧方法
	消灯	消灯	鳴らない	ヒダリマージン　：××	左端設定	用紙カット SW 押下でセットアップ画面へ戻る.
	消灯	消灯	鳴らない	ページチョウ　：××	ページ長	同上
	消灯	消灯	鳴らない	ロードイチ　：××××	上端余白	同上
	消灯	消灯	鳴らない	カンジピッチ　：××	漢字ピッチ	同上
	消灯	消灯	鳴らない	AN ピッチ　：××××	AN ピッチ	同上
	消灯	消灯	鳴らない	カイギョウピッチ　：×LPI	改行ピッチ	同上
	消灯	消灯	鳴らない	カイギョウカンカク　：×LF	改行間隔	同上

6) 書き込み処理

状態	ｽﾀｰﾄ	ﾁｪｯｸ	ﾌﾞｻﾞｰ	LCD メッセージ	内　　容	復旧方法
	消灯	消灯	鳴らない	シテイチ　カキコミ　1／2	書込み処理選択 （指定値書込み）	用紙カット SW 押下でセットアップ情報書込み画面へ戻る.
	消灯	消灯	鳴らない	デフォルト　カキコミ　2／2	書込み処理選択 （デフォルト書込み）	同上
	消灯	消灯	鳴らない	スタートSW　ヲ　オス	・実行前 ・スタートSW 押下で実行	同上
	消灯	消灯	鳴らない	ジッコウチュウ	・実行中	正常終了で初期診断確認画面へ遷移.

7) セットアップ印刷

状態	ｽﾀｰﾄ	ﾁｪｯｸ	ﾌﾞｻﾞｰ	LCD メッセージ	内　　容	復旧方法
	消灯	消灯	鳴らない	スタート　SW　ヲ　オス	・実行前 ・スタートSW 押下で実行	用紙カット SW 押下でセットアップ画面へ戻る.
	消灯	消灯	鳴らない	ジッコウチュウ	・実行中	正常終了またはスタート SW 押下で開始画面へ遷移.

8) ペーパーアジャスト

状態	ｽﾀｰﾄ	ﾁｪｯｸ	ﾌﾞｻﾞｰ	LCD メッセージ	内　　容	復旧方法
	消灯	消灯	鳴らない	ペーパー　アジャスト	用紙微調開始画面	用紙カット SW 押下でセットアップ画面へ戻る.

9.1.3　コントローラ系エラー

コントローラ系のエラーメッセージ一覧を表 9.3 に示します.

表 9.3　コントローラ系のエラーメッセージ一覧

ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	ｽﾀｰﾄ	ﾁｪｯｸ	ﾌﾞｻﾞｰ	LCD メッセージ	内　　容	復旧方法
40-01	消灯	点滅	間欠鳴動	ER40－01：メモリエラー	ROM SUM チェックエラー	電源 OFF →再投入
40-02	消灯	点滅	間欠鳴動	ER40－02：メモリエラー	LAN グローバルアドレス用 ROM SUM チェックエラー	同上
41-01	消灯	点滅	間欠鳴動	ER41－01：メモリエラー	SDRAM W/R チェックエラー	同上
41-02	消灯	点滅	間欠鳴動	ER41－02：メモリエラー	ブート部のコンペアチェック	同上
41-03	消灯	点滅	間欠鳴動	ER41－03：メモリエラー	SDRAM W/R チェックエラー	同上
42-09	消灯	点滅	間欠鳴動	ER42－09：PCB　XXXX	LANCE オープンエラー またはシステムエラー	同上
43-01	消灯	点滅	間欠鳴動	ER43－01：LAN　XXXX	LAN 二重アドレス（設定ミス）エラー	同上
43-02	消灯	点滅	間欠鳴動	ER43－02：LAN　XXXX	相手ノードウインド長エラー	同上
43-03	消灯	点滅	間欠鳴動	ER43－03：LAN　XXXX	相手受信情報部長エラー	同上
43-04	消灯	点滅	間欠鳴動	ER43－04：LAN　XXXX	LAN 用 DP－RAM エラー	同上
43-05	消灯	点滅	間欠鳴動	ER43－05：LAN　XXXX	アンダーフローエラー	同上
43-06	消灯	点滅	間欠鳴動	ER43－06：LAN　XXXX	LAN 用 S-RAM においてファームの設定ミス OR アンダーフローエラー	同上
43-07	消灯	点滅	間欠鳴動	ER43－07：LAN　XXXX	伝送路異常 （エラー未検出） （LAN でコネクタ抜け）	同上
43-08	消灯	点滅	間欠鳴動	ER43－08：LAN　XXXX	伝送路異常 （エラー検出） （LAN でコネクタ抜け）	同上
43-09	消灯	点滅	間欠鳴動	ER43－09：LAN　XXXX	LANCE OPEN 不可（ローカルアドレス未設定）	同上
43-10	消灯	点滅	間欠鳴動	ER43－10：LAN　XXXX	LANCE OPEN 不可（他ノードアドレス未設定）	同上
45-01	消灯	点滅	間欠鳴動	ER45－01：FLASH エラー	FLASH アクセスエラー	同上
47-0X	消灯	点滅	間欠鳴動	ER47－0X：ソケットエラー	ファーム（ソケット）内部矛盾 X=1～9	同上

ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	ｽﾀｰﾄ	ﾁｪｯｸ	ﾌﾞｻﾞｰ	LCD メッセージ	内　　容	復旧方法
49-01	消灯	点滅	間欠鳴動	ER49－01：PCF XXXX	ファーム処理内部矛盾	電源 OFF→再投入
49-02	消灯	点滅	間欠鳴動	ER49－02：PCF XXXX	TLB 変更例外	同上
49-03	消灯	点滅	間欠鳴動	ER49－03：PCF XXXX	TLB 不一致例外（ロード命令又は命令フェッチ）	同上
49-04	消灯	点滅	間欠鳴動	ER49－04：PCF XXXX	TLB 不一致例外（ストア命令）	同上
49-05	消灯	点滅	間欠鳴動	ER49－05：PCF XXXX	アドレスエラー（ロード命令又は命令フェッチ）	同上
49-06	消灯	点滅	間欠鳴動	ER49－06：PCF XXXX	アドレスエラー（ストア命令）	同上
49-07	消灯	点滅	間欠鳴動	ER49－07：PCF XXXX	バスエラー（命令フェッチ）	同上
49-08	消灯	点滅	間欠鳴動	ER49－08：PCF XXXX	バスエラー（データロード命令又はストア命令）	同上
49-09	消灯	点滅	間欠鳴動	ER49－09：PCF XXXX	システムコール例外	同上
49-10	消灯	点滅	間欠鳴動	ER49－10：PCF XXXX	ブレイクポイント例外	同上
49-11	消灯	点滅	間欠	ER49－11：PCF XXXX	予約命令例外	同上
49-12	消灯	点滅	間欠鳴動	ER49－12：PCF XXXX	コプロセッサ使用不可例外	同上
49-13	消灯	点滅	間欠	ER49－13：PCF XXXX	算術オーバーフロー例外	同上
49-14	消灯	点滅	間欠	ER49－14：PCF ‥‥	NMI 例外 Write バスエラー	同上
49-15	消灯	点滅	間欠鳴動	ER49－15：PCF ‥‥	ULTB 不一致	同上
49-16	消灯	点滅	間欠鳴動	ER49－16：PCF ‥‥	ベクタアドレス（0xBFC00180）への割り込み	同上
49-17	消灯	点滅	間欠鳴動	ER49－17：PCF ‥‥	デバック例外	同上
49-18	消灯	点滅	間欠鳴動	ER49－18：PCF XXXX	DMA エラー（MPU）	同上
89-01	消灯	点滅	間欠鳴動	ER89－01：パターン	ディスプレイ制御装置に要求する非常駐文字に対する応答がない．	同上
32-01	消灯	点滅	間欠鳴動	ER32－01：POC イジョウ	POC エラー	スタート SW 押下でオフライン遷移 用紙サイズ確認後，再実行
27-01	消灯	消灯	鳴らない	ER27－01：ジョウイソウチ	上位装置との接続が切断された	通信再開で復旧
07-01	点灯	点灯	鳴らない	ER07－01：プログラム	プログラムエラー（OP－CHK）	機能 SW 押下 プログラムエラー要因除去後，再実行

9.1.4　メカ系エラー

メカ系のエラーメッセージ一覧を表 9.4 に示します.

表 9.4　メカ系のエラーメッセージ一覧

1）オペレータコール

ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	ｽﾀｰﾄ	ﾁｪｯｸ	ﾌﾞｻﾞｰ	LCD メッセージ	内　容	復旧方法
01-01	点灯	消灯	間欠鳴動	ER01－01：ヨウシギレ	用紙切れ ・Busy（停止） ・発生後，1 分時間監視でタイムアウト時は ER31-01 に遷移. ・サポートサーバが PrintWalker の場合 ER31-01 となる.	機能SW押下後，用紙セットし，機能 SW 押下で停止解除し，継続印刷
09-01	消灯	点滅	間欠鳴動	ER09－01：カバー	カバーが開けられた	カバー閉後，スタート SW 押下
09-03	消灯	点滅	間欠鳴動	ER09－03：ヘッドアップ	ヘッドがアップ状態である.	ヘッド降下後，スタート SW 押下
10-01	消灯	点滅	間欠鳴動	ER10－01：ヨウシ　ヅマリ	改行用紙ジャム	用紙交換後，スタート SW 押下
11-01	消灯	点滅	間欠鳴動	ER11－01：リボンエラー	リボンジャム	リボン調整後，スタート SW 押下
12-06	消灯	点滅	間欠鳴動	ER12－06：オートロード	吸入ジャム	用紙交換後，スタート SW 押下
13-01	消灯	点滅	間欠鳴動	ER13－01：キリカエエラー	押込み→引張り切り替えジャム	同上
13-02	消灯	点滅	間欠鳴動	ER13－02：キリカエエラー	引張り→押込み切り替えジャム	同上
31-01	消灯	点滅	間欠鳴動	ER31－01：ヨウシギレ	用紙切れ	用紙セット後， ⑴ 用紙セット SW 押下で用紙吸入後，スタート SW 押下. ⑵ スタート SW 押下で用紙吸入後，オンライン状態.

2) サービスマンコール

ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	ｽﾀｰﾄ	ﾁｪｯｸ	ﾌﾞｻﾞｰ	LCD メッセージ	内　　容	復旧方法
81-01	消灯	点滅	間欠鳴動	ER81－01：EEPROM	メカ EEPROM 異常	電源 OFF→再投入
82-01	消灯	点滅	間欠鳴動	ER82－01：モータエラー	LF モータ異常	スタート SW 押下によりオフライン状態
82-02	消灯	点滅	間欠鳴動	ER82－02：モータエラー	カムモータ異常	同上
82-06	消灯	点滅	間欠鳴動	ER82－06：モータエラー	リボンモータ異常	同上
83-09	消灯	点滅	間欠鳴動	ER83－09：ファンテイシ　X	冷却ファン停止 X：R，L	同上
84-01	消灯	点滅	間欠鳴動	ER84－01：デンゲン	電源異常	同上
85-01	消灯	点滅	間欠鳴動	ER85－01：スペースエラー	印字ヘッド動作異常	同上
85-0B	消灯	点滅	間欠鳴動	ER85－0B：ヘッドイチ	印字ヘッド位置異常	同上
87-01	消灯	点滅	間欠鳴動	ER87－01：メカ　ムオウトウ	メカ応答異常 メカ部からの応答が無い．約 30 秒	電源 OFF→再投入
87-02	消灯	点滅	間欠鳴動	ER87－02：メカ　ムオウトウ	メカ応答異常 電源投入時，メカ部からの応答が無い．	同上
88-01	消灯	点滅	間欠鳴動	ER88－01：ヘッドエラー　X	印字ヘッド異常． （X：ヘッド番号）	スタート SW 押下によりオフライン状態
88-09	消灯	点滅	間欠鳴動	ER88－09：ミセツゾク　X	印字ヘッド未接続 X はヘッド番号（1～6）同時発生時は番号の若い順	同上
88-0A	消灯	点滅	間欠鳴動	ER88－0A：ヘッドピン	印字ヘッドピン異常	同上
8B-01	消灯	点滅	間欠鳴動	ER8B－01：カムエラー	カム異常	同上
8E-01	消灯	点滅	間欠鳴動	ER8E－01：センスエラー	メカからの応答が未定義 テストコマンド応答時	電源 OFF→再投入
8E-02	消灯	点滅	間欠鳴動	ER8E－02：センスエラー	メカからの応答が未定義 コマンド応答時	同上

9.2　文字コード

本装置で扱う文字コードは，表 9.5，表 9.6，表 9.7，表 9.8，および表 9.9 に示す 1 バイトの EBCDIC 系コード（いずれか 1 つ）と，2 バイトの JEF 漢字コードです．

表 9.5　国内一般カナ付コード表（Japanese KANA）

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0	NUL				SP	&	−			ソ					$	0
1		SBA			．	ェ	／		ア	タ	￣		A	J		1
2		EUA			「	ォ			イ	チ	ヘ		B	K	S	2
3		IC			」	ャ			ウ	ツ	ホ		C	L	T	3
4	VCS	ENP	INP		，	ュ			エ	テ	マ		D	M	U	4
5	PT/ HT	NL	LF	TRN	・	ョ			オ	ト	ミ		E	N	V	5
6		BS			ヲ	ッ			カ	ナ	ム		F	O	W	6
7					ァ				キ	ニ	メ		G	P	X	7
8			Ks	Kl	ィ	ー			ク	ヌ	モ		H	Q	Y	8
9		EM	As	LDEL	ゥ				ケ	ネ	ヤ		I	R	Z	9
A				LINS	£	!		:	コ	ノ	ユ	レ				
B	VT	SFE /F	FMT		.	¥	,	#				ロ				
C	FF	DUP	MF	RA	<	*	%	@	サ		ヨ	ワ				
D	CR	SF			(	)	_	'	シ	ハ	ラ	ン				
E	SA	FM/ IRS			+	;	>	=	ス	ヒ	リ	゛				
F	SFE		BEL		｜	¬	?	"	セ	フ	ル	゜				

（注 1）未定義コードは［－］ハイフンで印刷し，プログラムに対しては［X‘60’］で通知します．
（注 2）DUP，FM は各々［＊］，［；］で印刷します．
プログラムに対しては，各々［X‘1C’］，［X‘1E’］で通知します．

表 9.6　国内一般カナ無コード表（Japanese English）

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0	NUL				SP	&	−						{	}	$	0
1		SBA					／		a	j	￣		A	J		1
2		EUA							b	k	s		B	K	S	2
3		IC							c	l	t		C	L	T	3
4	VCS	ENP	INP						d	m	u		D	M	U	4
5	PT/HT	NL	LF	TRN					e	n	v		E	N	V	5
6		BS							f	o	w		F	O	W	6
7									g	p	x		G	P	X	7
8			Ks	Kl					h	q	y		H	Q	Y	8
9		EM	As	LDEL				`	i	r	z		I	R	Z	9
A				LINS	£	!	¦	:								
B	VT	SFE/F	FMT		.	¥	,	#								
C	FF	DUP	MF	RA	<	＊	%	@								
D	CR	SF			(	)	_	'								
E	SA	FM/IRS			＋	;	>	＝				‶				
F	SFE		BEL		|	¬	?	″				°				

（注 1）未定義コードは［−］ハイフンで印刷し，プログラムに対しては［X‘60’］で通知します．
（注 2）DUP，FM は各々［＊］，［；］で印刷します．
プログラムに対しては，各々［X　‘1C’］，［X‘1E’］で通知します．

表 9.7 海外コード表 I（US English）

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0	NUL				SP	&	－						{	}	＼	0
1		SBA					／		a	j	～		A	J		1
2		EUA							b	k	s		B	K	S	2
3		IC							c	l	t		C	L	T	3
4	VCS	ENP	INP						d	m	u		D	M	U	4
5	PT/HT	NL	LF	TRN					e	n	v		E	N	V	5
6		BS							f	o	w		F	O	W	6
7									g	p	x		G	P	X	7
8			Ks	Kl					h	q	y		H	Q	Y	8
9		EM	As	LDEL				`	i	r	z		I	R	Z	9
A				LINS	¢	!	¦	:								
B	VT	SFE/F	FMT		.	$	,	#								
C	FF	DUP	MF	RA	＜	＊	%	@								
D	CR	SF			（	）	_	’								
E	SA	FM/IRS			＋	；	＞	＝				゛				
F	SFE		BEL		｜	¬	？	″				゜				

（注 1）未定義コードは［－］ハイフンで印刷し，プログラムに対しては［X‘60’］で通知します．
（注 2）DUP，FM は各々［＊］，［；］で印刷します．
プログラムに対しては，各々［X‘1C’］，［X‘1E’］で通知します．

表 9.8　海外コード表Ⅱ（EBCDIC-ASCII）

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0	NUL				SP	&	−						{	}	＼	0
1		SBA					／		a	j	～		A	J		1
2		EUA							b	k	s		B	K	S	2
3		IC							c	l	t		C	L	T	3
4	VCS	ENP	INP						d	m	u		D	M	U	4
5	PT/HT	NL	LF	TRN					e	n	v		E	N	V	5
6		BS							f	o	w		F	O	W	6
7									g	p	x		G	P	X	7
8			Ks	Kl					h	q	y		H	Q	Y	8
9		EM	As	LDEL				`	i	r	z		I	R	Z	9
A				LINS	[	]	¦	:								
B	VT	SFE/F	FMT		.	$	,	#								
C	FF	DUP	MF	RA	<	＊	%	@								
D	CR	SF			(	)	_	'								
E	SA	FM/IRS			＋	;	>	＝				゛				
F	SFE		BEL		!	^	?	″				゜				

（注 1）未定義コードは［−］ハイフンで印刷し，プログラムに対しては［X ‘60’］で通知します．
（注 2）DUP，FM は各々［＊］，［；］で印刷します．
プログラムに対しては，各々［X ‘1C’］，［X ‘1E’］で通知します．

表 9.9　ASCII コード（サポートサーバが PrintWalker の場合のみ）

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0	NUL				SP	&	—	ー					{	}	＼	0
1						¥	／	ヤ	a	j	～		A	J		1
2						。	ァ	ユ	b	k	s		B	K	S	2
3						「	ィ	ヨ	c	l	t		C	L	T	3
4	VCS					」	ゥ	ワ	d	m	u		D	M	U	4
5	PT/HT	NL	LF	TRN		、	ェ	ン	e	n	v		E	N	V	5
6		BS				・	ォ	゛	f	o	w		F	O	W	6
7						ヲ	ャ	゜	g	p	x		G	P	X	7
8			Ks	Kl		ッ	ュ		h	q	y		H	Q	Y	8
9			As				ョ	`	i	r	z		I	R	Z	9
A					[	]	¦	:								
B	VT	SFE/F			.	$	,	#	ア	カ	サ	タ	ナ	ハ	マ	ラ
C	FF	DUP			＜	＊	%	@	イ	キ	シ	チ	ニ	ヒ	ミ	リ
D	CR				（	）	_	’	ウ	ク	ス	ツ	ヌ	フ	ム	ル
E	SA	FM/IRS			＋	；	＞	＝	エ	ケ	セ	テ	ネ	ヘ	メ	レ
F			BEL		！	^	？	″	オ	コ	ソ	ト	ノ	ホ	モ	ロ

（注 1）未定義コードは［—］ハイフンで印刷し，プログラムに対しては［X‘60’］で通知します．
（注 2）DUP，FM は各々［＊］，［；］で印刷します．
　　　　プログラムに対しては，各々［X‘1C’］，［X‘1E’］で通知します．
（注 3）実際の出力との対応は，PC 等のコード表を参照してください．

9.3 PrintWalker/RSのご紹介

PrintWalker/RS（Remote Service）は，VSP/VS シリーズネットワークプリンタの運用管理をリモートで行うソフトウェアです．

本ソフトウェアには次の特長があります．

⑴ Windows 2000/NT4.0 上で動作する WWW ベースのクライアント／サーバシステム
⑵ クライアント側は WWW ブラウザ以外に特別なソフトウェアは不要
⑶ ブラウザで自席の PC から遠くのプリンタの状態を参照，遠隔操作
⑷ プリンタ状態をメールで管理者に通知

詳しくは，添付の PrintWalker CD-ROM の導入マニュアル，README をご覧ください．
導入マニュアルの格納場所→CD-ROM ドライブ：¥RemoteSV¥manual.htm
Readme の格納場所→→CD-ROM ドライブ：¥RemoteSV¥Readme.txt

《PrintWalker/RS をご利用のお客様へ》

PrintWalker/RS プロパティ画面表示について

PrintWalker/RS プロパティ画面表示の MAC アドレス，機種名，システムファームウェア総合版数は変更できません．

なお，プリンタの液晶ディスプレイ表示と PrintWalker/RS プロパティ画面表示の現在状態表示は下記対応表のとおりになっております．

［VSP3601A オペパネ-PrintWalker/RS 状態表示　対応表］

エラーコード	液晶ディスプレイ表示	PrintWalker/RS 状態表示
01-01	ヨウシギレ	用紙無し
07-01	プログラム	プリンタ稼動中
09-01	カバー	カバーオープン
09-03	ヘッドアップ	インターロック異常（ヘッドアップエラー）
10-01	ヨウシヅマリ	用紙詰まり（用紙ジャム）
11-01	リボンエラー	リボン異常
12-06	オートロード	用紙詰まり（吸入ジャム）
13-01	キリカエエラー	切り換えエラー（押込み）
13-02	キリカエエラー	切り換えエラー（引張り）
27-01	ジョウイソウチ	プリンタ稼動中
31-01	ヨウシギレ	用紙無し
32-01	POC イジョウ	POC 異常
40-0X	メモリエラー	なし
41-0X	メモリエラー	なし
42-09	PCB XXXX	なし
43-0X	LAN XXXX	なし
45-01	FLASH エラー	なし
47-0X	ソケットエラー	なし
49-XX	PCF XXXX	なし
81-01	EEPROM	CE-CALL（81-01/EEPROM エラー）
82-01	モータエラー	CE-CALL（82-01/LF モータエラー）
82-02	モータエラー	CE-CALL（82-02/カムモータエラー）
82-06	モータエラー	CE-CALL（82-06/リボンモータエラー）
83-09	ファンテイシ　X	CE-CALL（83-09/ファン停止エラー／X）
84-01	デンゲン	CE-CALL（84-01/電源電圧異常）
85-01	スペースエラー	CE-CALL（85-01/スペースエラー）
85-0B	ヘッドイチ	CE-CALL（85-0B/ヘッド位置異常）
87-0X	メカ　ムオウトウ	なし
88-01	ヘッドエラーX	CE-CALL（88-01/印字ヘッド異常　X）
88-09	ミセツゾク　X	CE-CALL（88-09/印字ヘッド未接続　X）
88-0A	ヘッドピン	CE-CALL（88-0A/印字ヘッドピン異常)
8B-01	カムエラー	CE-CALL（8B-01/カムエラー）
8E-0X	センスエラー	なし

※PrintWalker/RS 状態表示で「なし」となっているものは，PrintWalker/RS 側では表示されません．

9.4 PrintWalker/LXEのご紹介

9.4.1 PrintWalker/LXEの概要

(1) 概要

PrintWalker/LXE は,Linux システムから LAN(Ethernet TCP/IP)接続された VSP3601A プリンタ装置の印刷制御を行うソフトウェア製品です.

本ソフトウェアは，装置添付の CD-ROM（PrintWalker）に格納されています.

(2) 機能

①操作性

- 用紙詰まりや用紙無しなどが発生した場合，PrintWalker/LXE は Web アラート機能により，詳細なメッセージを Windows パソコンの Web ブラウザ上に表示し，プリンタ装置側の処置だけで，異常が発生したページから再印刷を行います.（ページリカバリ）
- PrintWalker/LXE の Web アラート機能では,印刷中に異常が発生したジョブの削除を指定することが可能です.
- バナーページの排紙口指定が可能です．バナーページに色紙などを使用することで，仕分けが簡単になります.
- VSP シリーズは，他の弊社サーバ(GS/PRIMEFORCE，PRIMEPOWER，GP7000D，S series，PRIMERGY/GRANPOWER6000，PRIMERGY/GRANPOWER 5000)，またはパソコン(FMV シリーズ)プリンタとして共用が可能です.

②NetCOBOL，PowerCOBOL97 シリーズと Meft との連携

- 本ソフトウェエアは，NetCOBOL，PowerCOBOL97 シリーズと Meft との連携印刷が可能です．フォームオーバレイ印刷，バーコード(カスタマコードを含む)印刷，用紙コードの指定，給紙口指定，用紙サイズ指定等，きめ細やかな印刷制御が可能です.

③サポートデータ形式

PrintWalker/LXE から VSP3601A 装置などのインパクトラインプリンタや多目的プリンタへの印刷で使用できるデータ形式は，以下のとおりです.

- simple 出力
- cobol(UVPI)

また，VSP シリーズのカット紙プリンタや連続紙プリンタでは，以下のデータ形式をサポートしています.

- Meft または FNP 出力可能なアプリケーション
- simple 出力
- cobol(UVPI)

9.4.2　動作環境

PrintWalker/LXE は，以下の動作環境で動作するソフトウェアです．

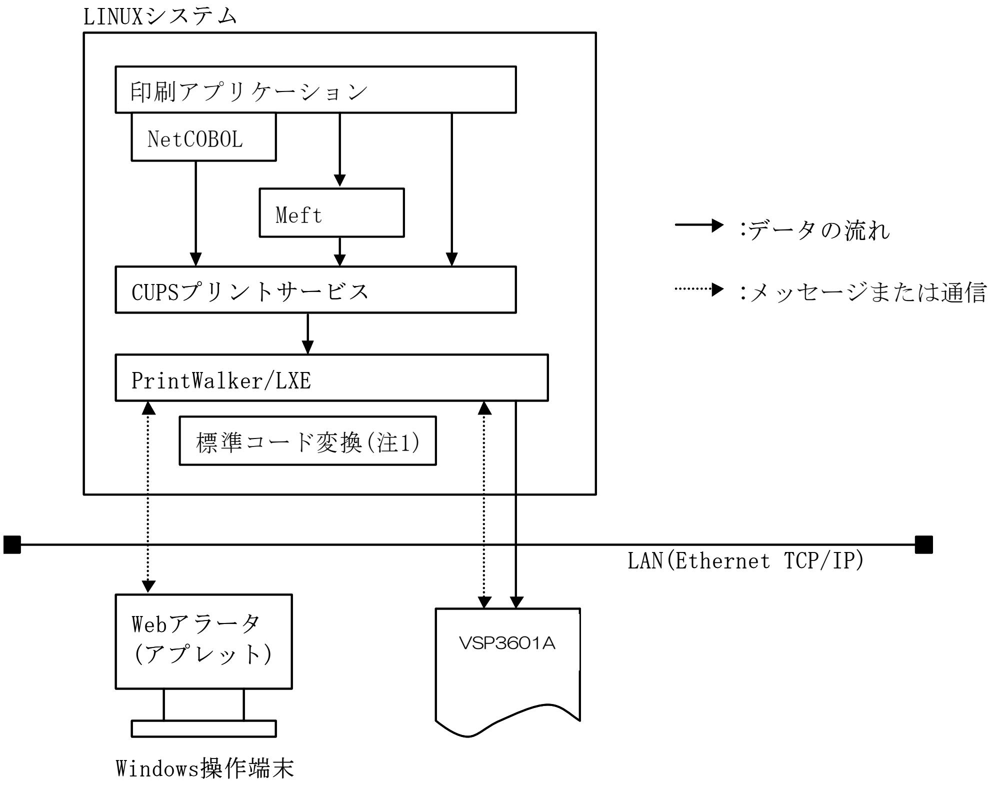
(1) サポート OS
- Red Hat Enterprise Linux AS v.3
- Red Hat Enterprise Linux ES v.3

(2) 対応印刷システム
- CUPS 1.1.17 以降を対象

(3) Web アラータの動作環境
- OS：Windows98，WindowsMe，Windows2000，WindowsXP，
  WindowsServer2003，WindowsNT4.0 (ServicePack 6 以降)
- ブラウザ：Microsoft Internet Explore 5 以降
- JAVA VM：Microsoft Virtual Machine build 番号 2436 以降
  Sun Virtual Machine 1.4.1 以降

(4) 必須ソフトウェア
- Interstage CharasetMGR-A SE V10.0 以上

9.4.3　システム構成



注１）標準コード変換は，Interstage/CharasetMGRに含まれており，別途購入して頂くことが必要です．

9.4.4　留意事項

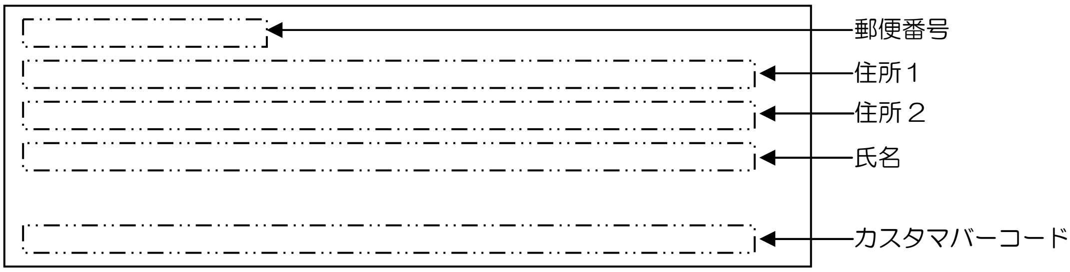
(1) PrintWalker/LXE の Web アラート機能では，印刷中に異常が発生したジョブの保留，ページ指定の印刷再開および出力先の変更ができません．
(2) PrintWalker/LXE では，SystemWalker CharasetMGR-A SE V10.0 以上は必須製品ですので，必ず購入してください．
(3) 本製品には環境ファイルが 1 個ありますが，環境ファイルを変更している時のみメジャーアップ時にその退避/復元が必要です．
(4) KOL6 オーバレイのサポートには，いくつかの制限があります．詳細については，本製品のオンラインマニュアルを参照してください．
(5) 直打ち印刷(イミデート印刷)は，未サポートです．
(6) PrintWalker/LXE は，1 サーバ(プリントサーバ)におけるプリンタ接続台数の制限を設けておりません．ただし，印刷性能など十分考慮し，接続するプリンタ台数など運用システムの構築を行ってください．
(7) PrintWalker/LXE での印刷時，プリンタ装置側の設定は，”サポートサーバ”を PrintWalker に設定してください．
(8) 印刷中にサーバ側のプリンタ定義の変更を行わないでください．印字完了後に設定変更を行ってください．
(9) 本ソフトウェアをご使用になる場合は，「Support Desk Product」の契約をお願いします．

9.5　カスタマバーコードの印刷条件

新品インクリボンを使用した場合の，読み取り可能なカスタマバーコード印刷量の目安は，以下のとおりです．

⑴　印刷条件

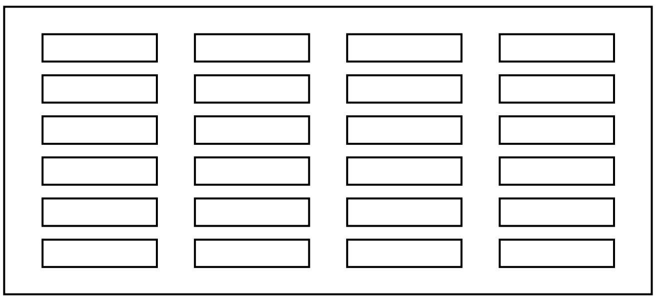
・印刷レイアウト



・印刷サンプル

〒273-0102
千葉県 鎌ヶ谷市 右京塚　東３丁目－２０－５
郵便Ａ＆ｂコーポＢ６０４号
郵政　太郎　様

・１５×１１インチ用紙のレイアウト



１シート当り
縦６個×横４個＝２４個の住所，
カスタマバーコード印刷

⑵　インクリボン１本当りの印刷量（目安）

⑴　項の印刷条件で印刷した場合，インクリボン１本当りの印刷シート数および住所とカスタマバーコードの印刷量の目安は，以下のとおりです．

用紙	印刷シート数	住所／コード印刷数
１Ｐ用紙	1,000	24,000
ラベル紙	1,000	24,000
複写用紙	600	14,400

㈨１Ｐ用紙は，連量５５㎏の上質紙です．

⑶ 注意事項

・カスタマバーコード印刷には，オプションの拡張出力機構が必須です.

・カスタマバーコードの印刷物は，事前に郵便局での読み取りテストを受けてください.

・インクリボンは新しいものを使用してください.

・複写用紙の場合，読み取りは印刷用紙の最上部の１枚目のみ可能です.
２枚目以降の読み取りは保証できません.

・インクリボン継ぎ目で印刷した結果の読み取りは，保証できません.

VSP3601A　プリンタ装置
取扱説明書

2004年10月　1版
2009年 3月　2版
2012年 1月　3版

FUJITSU

このマニュアルは再生紙を使用しています。